

国立大学法人等の中期目標変更原案について

1 法人から中期目標変更の意見があり、変更内容については以下のとおり。

- 福島復興再生特別措置法の一部改正による名称決定に伴う変更 1 法人
(福島)

国立大学法人等の中期目標変更原案について

○福島復興再生特別措置法の一部改正による名称決定に伴う変更 1 法人

番号	法人名	変更内容	
		変更前	変更案
14	福島大学	<p>(前文) 法人の基本的な目標</p> <p>2 研究においては、学類各分野の高度な融合と総合性を実現させるために、異分野間の共同研究を推進する。地域課題・21世紀的課題に対応した基盤研究を強化するとともに、研究の種の発掘・育成を行い、学類・研究科の「強み」を伸ばす。外部機関との連携を強化し、全学のセンター及び研究所を再編して先端研究を推進するとともに、復興庁で設置を検討している「<u>福島浜通り地域の国際教育研究拠点</u>（以下、「<u>国際教育研究拠点</u>」という。）」に参画し、大学の機能を拡張することで、社会変革につながるイノベーションの創出を目指す。</p>	<p>(前文) 法人の基本的な目標</p> <p>2 研究においては、学類各分野の高度な融合と総合性を実現させるために、異分野間の共同研究を推進する。地域課題・21世紀的課題に対応した基盤研究を強化するとともに、研究の種の発掘・育成を行い、学類・研究科の「強み」を伸ばす。外部機関との連携を強化し、全学のセンター及び研究所を再編して先端研究を推進するとともに、福島国際研究教育機構の事業に参画し、大学の機能を拡張することで、社会変革につながるイノベーションの創出を目指す。</p> <p>※<u>福島国際研究教育機構</u>：福島復興再生特別措置法に基づく特別の法人として、原子力災害からの福島の復興及び再生に寄与するため、新産業創出等の研究開発等を目的とし、令和5年4月に福島県双葉郡浪江町に設立。</p>

国立大学法人等の中期計画変更案について

5.2 法人から中期計画変更案の提出があり、変更内容については以下のとおり。

<中期計画本文の変更>

- 重点的に取り組む新たな構想が具体化したこと等に伴う変更 4 法人
(弘前、千葉、和歌山、広島)
- 重要な財産を譲渡し、又は担保に供するための変更 14 法人
(北海道教育、旭川医科、東北、宇都宮、東京、東京医科歯科、横浜国立、静岡、豊橋技術科学、京都、神戸、鳥取、高知、九州)
- 中期目標期間を超える債務負担に関する変更 2 法人
(東北、福島)
- その他の変更
 - ・ 学内組織・制度等の名称決定等に伴う変更 7 法人
(弘前、山形、福島、筑波、横浜国立、熊本、情報システム)
 - ・ 評価指標の基準値の確定等に伴う変更 2 法人
(徳島、香川)
 - ・ 文言の訂正等その他の変更 4 法人
(山梨、三重、宮崎、東海国立)

<中期計画別表の変更>

- 教育研究組織の設置等に伴う変更 42 法人
 - ・ 教育研究組織の設置・改組に伴う変更 39 法人
(東北、山形、福島、筑波、千葉、東京、東京医科歯科、東京農工、電気通信、一橋、新潟、金沢、山梨、静岡、浜松医科、三重、滋賀医科、京都、大阪、神戸、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、九州、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島、琉球、総合研究大学院、北海道国立)
 - ・ 募集停止に伴う学部・研究科名の削除のみ 3 法人
(宇都宮、長岡技術科学、京都教育)
- 教育関係共同利用拠点の認定・改組等に伴う変更 6 法人
(茨城、筑波、千葉、信州、広島、熊本)

国立大学法人等の中期計画変更案について

<中期計画本文の変更>

○ 重点的に取り組む新たな構想が具体化したこと等に伴う変更 4 法人

番号	法人名	変更内容		変更理由
		変更前	変更案	
08	弘前大学	<p>【10】多様な価値観を備えた人材を養成するため、新たな国際化に即した教育環境を整備するとともに、国内における国際交流の活性化を推進する。また、優秀な留学生を獲得するため国際的な教育プログラムを提供する。</p> <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ①海外協定校等が実施するオンラインプログラムの提供件数を令和2年度より1.5倍以上とする。(第4期中期目標期間最終年度) ②令和7年度までに国内の海外教育機関と交流協定を締結する。 ③令和7年度までに国際共同研究指導プログラムを導入する。 	<p>【10】多様な価値観を備えた人材を養成するため、新たな国際化に即した教育環境を整備するとともに、国内における国際交流の活性化を推進する。また、学生の更なる海外派遣や優秀な留学生を獲得するため国際的な教育プログラムを提供する。</p> <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ①海外協定校等が実施するオンラインプログラムの提供件数を令和2年度より1.5倍以上とする。(第4期中期目標期間最終年度) ②令和7年度までに国内の海外教育機関と交流協定を締結する。 ③令和7年度までに国際共同研究指導プログラムを導入する。 	<p>・海外協定校等とコチュテルなどの国際共同研究指導プログラムに関する覚書を締結・導入することにより、優秀な留学生の獲得のみならず、学生の海外派遣の拡大につながる事業を新たに開始するため。</p>
21	千葉大学	<p>(1) 先駆的・先端的な研究分野への積極的な支援を更に進めるため、新たに国際高等研究基幹(仮称)を創設し、新規性・独創性を備えた発展性のある研究群に対し、従来の枠組みにとられない人事給与システム(新年俸制等)の活用や、学内資源(人事・予算)の戦略的・重点的な配分、学術研究・イノベーション推進機構が有するサポート体制(研究IRや技術移転戦略等)の積極活用等を行うことにより、国際的に高く評価される知的資産を生み出す国際的な教育研究拠点を整備する。</p> <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1-1) 対象とする重点研究群における、大型外部資金獲得件数(科研費(基盤S、A相当以上)、受託研究(3,000万円以上)、共同研究(1,000万円以上)) <ul style="list-style-type: none"> ・基準値(2020年度新規+継続数):9件 ・目標値(2027年度新規+継続数):11件 (1-2) 対象とする重点研究群における、高被引用学術論文率(Web of Science(WoS)/InCitesのTop10%論文率) <ul style="list-style-type: none"> ・基準値(2018年):11.7% ・目標値(2027年):12.7% 	<p>(1) 先駆的・先端的な研究分野への積極的な支援を更に進めるため、新たに国際高等研究基幹を創設し、新規性・独創性を備えた発展性のある研究群に対し、従来の枠組みにとられない人事給与システム(新年俸制等)の活用や、学内資源(人事・予算)の戦略的・重点的な配分、学術研究・イノベーション推進機構が有するサポート体制(研究IRや技術移転戦略等)の積極活用、「未来粘膜炎ワクチン研究開発シナジー拠点」の拠点長のリーダーシップが発揮できる体制整備等を行うことにより、国際的に高く評価される知的資産を生み出す国際的な教育研究拠点を整備する。</p> <p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1-1) 対象とする重点研究群における、大型外部資金獲得件数(科研費(基盤S、A相当以上)、受託研究(3,000万円以上)、共同研究(1,000万円以上)) <ul style="list-style-type: none"> ・基準値(2020年度新規+継続数):9件 ・目標値(2027年度新規+継続数):11件 (1-2) 対象とする重点研究群における、高被引用学術論文率(Web of Science(WoS)/InCitesのTop10%論文率) <ul style="list-style-type: none"> ・基準値(2018年):11.7% ・目標値(2027年):12.7% 	<p>・令和4年4月1日に国際高等研究基幹を設置したため。</p> <p>・令和4年10月1日に設置した「未来粘膜炎ワクチン研究開発シナジー拠点」における独立的な運営によるワクチン研究開発目標の達成に向け、必要な体制を整備することとしたため。</p>
61	和歌山大学	<p>【2-1】高度化・複雑化する現代社会の諸課題に対応できる人材を育成するため、文院系・理院系を問わず必要とされるデータサイエンス・AIの知識・技能に関して、教養教育科目及び連携展開科目において初歩から実践レベルまで系統立てて展開するとともに、文理融合・分野横断型の学位プログラムとして、データサイエンス・AIの知識と経営やマーケティングなどのマネジメント能力を有したデータサイエンティストの養成をシステム工学部と他学部が共同して進める。</p>	<p>【2-1】高度化・複雑化する現代社会の諸課題に対応できる人材を育成するため、文院系・理院系を問わず必要とされるデータサイエンス・AIの知識・技能に関して、教養教育科目及び連携展開科目において初歩から実践レベルまで系統立てて展開するとともに、文理融合・分野横断型の学位プログラムとして、データサイエンス・AIの知識と経営やマーケティングなどのマネジメント能力を有したデータサイエンティストの養成をシステム工学部と他学部が共同して進める。</p>	

番号	法人名	変更内容		変更理由
		変更前	変更案	
		<p>評価指標</p> <p>【2-1-1】教養教育科目においてデータサイエンス・AI科目群の導入科目（1年次第1・2クォーター開講）を令和5年度までに全学生共通の必修科目とする。</p> <p>【2-1-2】教養教育科目及び連携展開科目において順次性をもって体系化されるデータサイエンス・AI科目群から、10単位を取得してサーティファイされる学生の割合を、第4期中期目標期間最終年度までに卒業生の5%まで引き上げる。</p> <p>【2-1-3】システム工学部とその他の3学部が連携した、理工系をベースとしたデータサイエンティストの養成を目的とする学位プログラムを整備し、本プログラムを修了したシステム工学部以外の学生の割合を全体の30%以上とする。</p>	<p>評価指標</p> <p>【2-1-1】教養教育科目においてデータサイエンス・AI科目群の導入科目（1年次第1・2クォーター開講）を令和5年度までに全学生共通の必修科目とする。</p> <p>【2-1-2】教養教育科目及び連携展開科目において順次性をもって体系化されるデータサイエンス・AI科目群から、10単位を修得してサーティファイされる学生の割合を、第4期中期目標期間最終年度までに卒業生の5%まで引き上げる。</p> <p>【2-1-3】<u>経済学部、システム工学部、観光学部が連携した学部等連係課程実施基本組織を設置し、その課程において、社会でデータを利活用できる人材を養成するため、企業や自治体等と連携して開設する授業科目を設け、基盤となる授業科目「プロジェクト演習」の単位修得者数を120人以上とする。（第4期中期目標期間中 合計</u></p>	<p>・誤字の修正（学則上の表記に修正）</p> <p>・システム工学部以外の学生をデータサイエンティストとして養成する指標を設定していたところ、より高い教育効果を得るため、システム工学部の学位プログラムを全学展開することに代えて学部等連係課程を設置することとしたため。</p>
65	広島大学	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 社会との共創に関する目標を達成するための措置 (略)</p>	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 社会との共創に関する目標を達成するための措置 (略)</p> <p>【1】-5 <u>感染症パンデミック発生時にはワクチン製造ができ、平時にはバイオ医薬品を製造できるデュアルユース設備を有する国際水準の拠点を整備する。この拠点を活用し、日本、米国、欧州の医薬品の製造管理及び品質管理の基準（GMP）を理解した国際水準の医薬品製造に対応できる人材を育成するとともに、産業界等との受託研究及び共同研究により、国際水準の医薬品製造に貢献する。</u></p> <p>評価指標</p> <p>【1】-5-1 <u>GMP教育の修了者数を12人（累計）にする。</u></p> <p>【1】-5-2 <u>医薬品等に関する受託研究又は共同研究を3件（累計）実施する。</u></p>	<p>・感染症パンデミック発生時にはワクチン製造ができ、平時にはバイオ医薬品を製造できるデュアルユース設備を有する国際水準の拠点を整備し、国際水準の医薬品製造に関する教育研究に新たに取り組むこととなったため。</p>

○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供するための変更 14 法人

番号	法人名	変更内容		変更理由
		変更前	変更案	
02	北海道教育大学	VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 計画の予定なし	VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 札幌あいの里団地（札幌校、附属札幌小・中学校他）の東側に位置する土地の一部（北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1番1号 1,180㎡）を譲渡する。	・令和5年度に新営予定の学生、教職員や地域住民が利用する共同複合施設への取付道路等を整備するため、札幌市と土地交換を行う。譲渡予定部分の敷地東側端部周辺は、札幌あいの里団地の緑地部分であり、建設予定の建物等はなく、大学の業務運営上支障がない。
06	旭川医科大学	VIII. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1 重要な財産を譲渡する計画 該当なし	VIII. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1 重要な財産を譲渡する計画 ・職員宿舎の土地（北海道旭川市緑が丘2条3丁目3番、北海道旭川市緑が丘2条4丁目4番1号 26,923.58平方メートル）、建物を譲渡する。	・当該宿舎は空き家となっており、資産の有効活用が出来ていない状況であり、今後有効活用の見込みがないことから譲渡するもの。
10	東北大学	VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1. 重要な財産を譲渡する計画 ・なし	VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1. 重要な財産を譲渡する計画 ・旧開発地理学磐梯研究所跡地（福島県耶麻郡猪苗代町字芹沢4040番43）990.94㎡を譲渡する。	・老朽化等により廃止した野外研究・教育施設の用地について、利用計画がなく、今後の使用見込みがないことから譲渡することとしたため。
18	宇都宮大学	VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 ○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1. 重要な財産を譲渡する計画 計画の予定なし	VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 ○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1. 重要な財産を譲渡する計画 農学部附属演習林（船生演習林）の土地の一部（栃木県塩谷郡塩谷町大字船生7556 4,643㎡）を公共目的に資するため譲渡する。	・天頂下沢砂防施設づくり事業に伴い、農学部附属演習林（船生演習林）の土地の一部を栃木県に譲渡するため。譲渡予定部分付近は、教員の測量、測樹及び標本採取等、また、学生の実習（育林（間伐等））を予定していたが、別区域を設定することで対応が可能であるため、大学の業務運営上支障がない。
22	東京大学	VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1. 重要な財産を譲渡する計画 ・地震研究所広島地震観測所アンテナ施設跡地（広島県広島市安佐北区落合七丁目1408 外 603.48㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の土地の一部（東京都西東京市北原町三丁目2667番 外 3,475.60㎡）を譲渡する。 ・生産技術研究所附属千葉実験所跡地の土地の一部（千葉県千葉市稲毛区弥生町1-8 30,859.07㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所の土地の一部（愛知県犬山市大字前原字橋爪山1番1 5,448.75㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の土地の一部（東京都西東京市緑町一丁目2700番 外 17,326.73㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の土地の一部（東京都西東京市緑町一丁目2955番 外 6,040.48㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の土地の一部（東京都西東京市緑町一丁目2599番1 外 8,820.79㎡）を譲渡する。	VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1. 重要な財産を譲渡する計画 ・地震研究所広島地震観測所アンテナ施設跡地（広島県広島市安佐北区落合七丁目1408 外 603.48㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の土地の一部（東京都西東京市北原町三丁目2667番 外 3,475.60㎡）を譲渡する。 ・生産技術研究所附属千葉実験所跡地の土地の一部（千葉県千葉市稲毛区弥生町1-8 30,859.07㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所の土地の一部（愛知県犬山市大字前原字橋爪山1番1 5,448.75㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の土地の一部（東京都西東京市緑町一丁目2700番 外 17,326.73㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の土地の一部（東京都西東京市緑町一丁目2955番 外 6,040.48㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の土地の一部（東京都西東京市緑町一丁目2599番1 外 8,820.79㎡）を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林の土地の一部（千葉県君津市黄和田畑字郷田倉1631-10 2,149.30㎡）を譲渡する。	・千葉県からの道路用地としての譲渡要望に応じるため。対象の土地は広葉樹の天然林であり、教育研究の対象として使用する見込みがなく試験地、施業地にも該当しないため、譲渡しても業務運営上支障がない。

番号	法人名	変更内容		変更理由
		変更前	変更案	
			<p>・大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林の土地の一部（北海道富良野市宇東山 81,779.08㎡）を譲渡する。</p> <p>・生産技術研究所附属千葉実験所跡地の土地の全部（千葉県千葉市稲毛区弥生町7-2 外 75,298.97㎡）を譲渡する。</p> <p>・大沢職員宿舎の土地の全部（東京都三鷹市大沢二丁目20-31 3,920.79㎡）を譲渡する。</p>	<p>・北海道からの河川用地としての譲渡要望に応じるため。譲渡予定地は、現況が河川敷地であることから森林施業、森林教育並びに試験研究等に利用することはないため、業務運営上の支障はない。</p> <p>・キャンパス整備計画の一環として譲渡するため。譲渡予定地は、生産技術研究所千葉実験所として使用していたが、柏キャンパスに機能移転が完了しているため業務運営上の支障はない。</p> <p>・キャンパス整備計画の一環として譲渡するため。譲渡予定地の機能については、他の宿舎へ集約をすることが可能であるため、業務運営上の支障はない。</p>
23	東京医科歯科大学	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1 重要な財産を譲渡する計画 該当なし</p>	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画 1) 国府台地区の土地の一部（千葉県市川市国府台2丁目1番46 59.5㎡）を譲渡する。</p>	<p>・個人が使用している本学用途に使用していない土地を、当該個人に譲渡するため。</p>
33	横浜国立大学	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画はなし。</p>	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画 峰沢国際交流会館の外周道路（土地）（横浜市保土ヶ谷区峰沢町305-1）244㎡を譲渡する。</p> <p>2. 重要な財産を担保に供する計画 重要な財産を担保に供する計画はなし。</p>	<p>・敷地内の介在道路敷（横浜市所有）と外周道路を交換するため、譲渡するものである。譲渡予定部分は、市民にも使用されている道路であり、業務運営上、支障がない。</p>
43	静岡大学	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 ○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1 重要な財産を譲渡する計画 該当なし</p>	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 ○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1 重要な財産を譲渡する計画 野外教育施設の土地及び建物（静岡県富士宮市麓字大丸山173番2、静岡県富士宮市麓字大丸山173番3、静岡県富士宮市麓字瀬々ナギ174番3 土地3,305.56㎡ 建物442.2㎡）を譲渡する。</p>	<p>・野外教育施設は、施設の老朽化と稼働率の低下から、廃止を含め抜本的な見直しの検討を行い、令和4年度から利用を停止した。利用停止後の野外教育施設の有効活用について改めて検討を行った結果、該当の施設は古く、そのままの状態では利用することができず、施設の改修や維持管理に多額の費用を要することから売却することによる変更。</p>
48	豊橋技術科学大学	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 計画の予定なし。</p>	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 1 重要な財産を譲渡する計画 職員宿舎（愛知県豊橋市牛川通1丁目17-7）の土地の全部（640平方メートル）及び建物の全部（2棟、各164平方メートル）を譲渡する。</p>	<p>・当該宿舎は、豊橋技術科学大学職員宿舎のうち最も大学から遠い場所にあり、老朽化も著しく、宿舎以外の活用も含めて検討したが、今後有効活用の見込がなく、現状の建物も含めた形で譲渡することが適切と判断したため。</p>

番号	法人名	変更内容		変更理由
		変更前	変更案	
52	京都大学	<p>○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬山の家の土地及び建物（長野県北安曇郡小谷村大字千国字柳久保乙869番2）を譲渡する。 ・桂職員宿舎の土地（京都市西京区下津林六反田1番地3 3,815.98㎡）を譲渡する。 ・宇治職員宿舎の土地の一部（宇治市五ヶ庄瓦塚46番1 219.49㎡）を譲渡する。 	<p>○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬山の家の土地及び建物（長野県北安曇郡小谷村大字千国字柳久保乙869番2）を譲渡する。 ・桂職員宿舎の土地（京都市西京区下津林六反田1番地3 3,815.98㎡）を譲渡する。 ・宇治職員宿舎の土地の一部（宇治市五ヶ庄瓦塚46番1 219.49㎡）を譲渡する。 ・<u>国際交流会館みささぎ分館の建物（京都市山科区御陵池堤町28）を譲渡する。</u> ・<u>栽培植物起原学研究室の土地の一部（向日市物集女町中条1番、24番 239.55㎡）を譲渡する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化等により長期的な維持管理が困難であることから、京都市との協議の結果、同市との国際交流会館みささぎ分館敷地の賃貸借契約の満了とともに当該建物を譲渡することとなったため。 ・向日市から市道物集女寺戸幹線における通学路の安全対策を行うため道路拡幅を目的とした道路改良工事を計画していることから、栽培植物起原学研究室敷地の一部について取得したい旨の依頼があり検討した結果、譲渡予定地は用地提供しても教育研究活動への支障がないと判断し、当該土地を譲渡するため。
58	神戸大学	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石団地の土地の一部及び附属明石中学校の建物の一部（兵庫県明石市山下町358番16号、土地6,118.95㎡及び建物3,245.83㎡）を譲渡する。 ・山の街団地の土地及び建物（兵庫県神戸市北区緑町1丁目2番3号、土地243.84㎡及び建物260.76㎡）を譲渡する。 	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石団地の土地の一部及び附属明石中学校の建物の一部（兵庫県明石市山下町358番16号、土地6,118.95㎡及び建物3,245.83㎡）を譲渡する。 ・山の街団地の土地及び建物（兵庫県神戸市北区緑町1丁目2番3号、土地243.84㎡及び建物260.76㎡）を譲渡する。 ・<u>宝塚団地の土地及び建物（兵庫県宝塚市武庫山1-7、土地1,002㎡及び建物1,251㎡）を譲渡する。</u> ・<u>鈴蘭台団地の土地及び建物（兵庫県神戸市北区鈴蘭台西町3-12-57、土地2,905㎡及び建物2,040㎡）を譲渡する。</u> ・<u>ひよどり台団地の土地及び建物（兵庫県神戸市北区ひよどり台3-6、土地6,344㎡及び建物3,394㎡）を譲渡する。</u> ・<u>深田団地の土地及び建物（兵庫県神戸市灘区深田町1-1-25、土地421㎡及び建物395㎡）を譲渡する。</u> ・<u>淡路2団地の土地及び建物（兵庫県南あわじ市松帆古津路970-68、土地7,681㎡及び建物1,643㎡）を譲渡する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「職員宿舎の整理統合に向けた基本方針について（平成28年12月6日学長制定）」に基づく整理統合に伴い廃止した当該宿舎を譲渡するため。 ・「学生宿舎、職員宿舎等の活用基本方針（令和4年3月29日学長制定）」に基づく機能集約化に伴い廃止した当該施設を譲渡するため。 ・兵庫県南あわじ市の慶野松原観光まちづくり計画に必要な宿泊施設用地について、当該自治体からの譲渡要望に応じるため。主たる目的である学生の水泳実習や海洋における実験・実習が実施されなくなったことから、業務運営上支障はない。

番号	法人名	変更内容		変更理由
		変更前	変更案	
62	鳥取大学	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <p>・該当なし</p>	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <p>1) 白浜(一) 宿舎(RA、RB、旧外国人宿舎等)の土地及び建物(鳥取県鳥取市湖山町西一丁目357番地、6,613.13㎡(建物延面積3,092.32㎡))を譲渡する。</p>	<p>・宿舎を設置してから50年以上経過しており、耐震強度不足や老朽化による安全面に問題があり、また有効な活用策も無かったため、土地及び建物を譲渡することとした。</p>
71	高知大学	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○重要な財産を譲渡する計画</p> <p>・宇佐東団地(野外活動施設)の土地及び建物(高知県土佐市宇佐町宇佐東町浜3159番5 3,963.69㎡)を譲渡する。</p>	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○重要な財産を譲渡する計画</p> <p>・宇佐東団地(野外活動施設)の土地及び建物(高知県土佐市宇佐町宇佐東町浜3159番5 3,963.69㎡)を譲渡する。</p> <p>・朝倉南団地の土地の一部(高知県高知市朝倉本町二丁目17-47 569.11㎡)を譲渡する。</p> <p>・船舶2隻(高知県土佐市 ねぶちゅーん 5.5トン、はまゆう2.0トン)を譲渡する。</p>	<p>・朝倉南団地の土地の一部は、都市計画決定道路の整備のため高知市から売却依頼を受けており、譲渡を行う。市道拡幅工事により支障となる理工学部附属高知地震観測所の建物については、取り壊すこととなるが、別敷地に機能を移すため、本学の業務運営上支障が無い。</p> <p>・当該船舶は共に建造から27年が経過しており老朽化が著しく、実習や調査航海等で十分な対応ができない状態にあることから譲渡することとしたため。</p>
73	九州大学	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <p>①箱崎地区の土地の一部(福岡県福岡市東区箱崎六丁目4098番1)、</p> <p>②文科系学部の土地(福岡県福岡市東区箱崎六丁目4098番12ほか)、</p> <p>③理学部の土地の一部(福岡県福岡市東区箱崎六丁目4098番1ほか)、面積 ①~③合計 92,486.96㎡を譲渡する。</p> <p>④旧工学部の土地(福岡県福岡市東区箱崎六丁目3330番14ほか)、</p> <p>⑤農学部の土地(福岡県福岡市東区箱崎六丁目3330番3ほか)、</p> <p>⑥研究所の土地(福岡県福岡市東区箱崎六丁目3330番17ほか)、</p> <p>⑦本部の土地(福岡県福岡市東区箱崎三丁目4065番12ほか)、</p> <p>⑧女子学生寄宿舍の土地(福岡県福岡市東区箱崎七丁目3544番4)、面積 ④~⑧合計 313,268.43㎡を譲渡する。</p> <p>⑨男子学生寄宿舍の土地(福岡県福岡市東区筥松四丁目3575番20 面積6,754.30㎡)を譲渡する。</p> <p>⑩宿舎(二)の土地(福岡県福岡市東区箱崎七丁目3553番37ほか 面積60.85㎡)を譲渡する。</p> <p>⑪福岡演習林苗圃地(一)の土地(福岡県糟屋郡篠栗町大字高田字下屋敷447番1 面積4,356.09㎡)を譲渡する。</p> <p>⑫福岡演習林苗圃地(二)の土地(福岡県糟屋郡篠栗町大字高田字下屋敷447番3 面積1,751.11㎡)を譲渡する。</p> <p>⑬農場の土地(福岡県糟屋郡粕屋町大字阿恵字花折42番ほか 面積204,933.68㎡)を譲渡する。</p>	<p>VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>○重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <p>①箱崎地区の土地の一部(福岡県福岡市東区箱崎六丁目4098番1)、</p> <p>②文科系学部の土地(福岡県福岡市東区箱崎六丁目4098番12ほか)、</p> <p>③理学部の土地の一部(福岡県福岡市東区箱崎六丁目4098番1ほか)、面積 ①~③合計 92,486.96㎡を譲渡する</p> <p>④旧工学部の土地(福岡県福岡市東区箱崎六丁目3330番14ほか)、</p> <p>⑤農学部の土地(福岡県福岡市東区箱崎六丁目3330番3ほか)、</p> <p>⑥研究所の土地(福岡県福岡市東区箱崎六丁目3330番17ほか)、</p> <p>⑦本部の土地(福岡県福岡市東区箱崎三丁目4065番12ほか)、</p> <p>⑧女子学生寄宿舍の土地(福岡県福岡市東区箱崎七丁目3544番4)、面積 ④~⑧合計 313,268.43㎡を譲渡する。</p> <p>⑨男子学生寄宿舍の土地(福岡県福岡市東区筥松四丁目3575番20 面積6,754.30㎡)を譲渡する。</p> <p>⑩宿舎(二)の土地(福岡県福岡市東区箱崎七丁目3553番37ほか 面積60.85㎡)を譲渡する。</p> <p>⑪福岡演習林苗圃地(一)の土地(福岡県糟屋郡篠栗町大字高田字下屋敷447番1 面積4,356.09㎡)を譲渡する。</p> <p>⑫福岡演習林苗圃地(二)の土地(福岡県糟屋郡篠栗町大字高田字下屋敷447番3 面積1,751.11㎡)を譲渡する。</p> <p>⑬農場の土地(福岡県糟屋郡粕屋町大字阿恵字花折42番ほか 面積204,933.68㎡)を譲渡する。</p> <p>⑭伊都の土地の一部(福岡県福岡市西区大字元岡字舟引285-1の一部ほか 面積1,269.62㎡)を譲渡する。</p>	<p>・「急傾斜地崩壊防止施設」の用に供する土地として福岡県へ譲渡するため、譲渡予定部分は、急傾斜地崩壊危険区域に指定されており、教育研究にて利用の予定がないため、業務運営上支障がない。</p>

○ 中期目標期間を超える債務負担に関する変更 2法人

番号	法人名	変更内容		変更理由																																																																										
		変更前	変更案																																																																											
10	東北大学	<p>5. 中期目標期間を超える債務負担 中期目標期間を超える債務負担については、当該債務負担行為の必要性及び資金計画への影響を勘案し、合理的と判断されるものについて行う。</p> <p>PFI事業として、下記を実施する。 ＜東北大学（片平）情報通信国際共同研究拠点施設整備等事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業総額：4,595百万円 ・事業期間：令和4～21年度（18年間） 	<p>5. 中期目標期間を超える債務負担 中期目標期間を超える債務負担については、当該債務負担行為の必要性及び資金計画への影響を勘案し、合理的と判断されるものについて行う。</p> <p>PFI事業として、下記を実施する。 ＜東北大学（片平）情報通信国際共同研究拠点施設整備等事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業総額：5,037百万円 ・事業期間：令和4～21年度（18年間） 	<p>・事業費に大幅な変更があったため</p>																																																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設整備費補助金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>121</td> <td>243</td> <td>243</td> </tr> <tr> <td>運営交付金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>69</td> <td>85</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>中期目標期間小計</th> <th>次期以降事業費</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設整備費補助金</td> <td>607</td> <td>2,912</td> <td>3,519</td> </tr> <tr> <td>運営交付金</td> <td>237</td> <td>839</td> <td>1,076</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)金額はPFI事業契約に基づき計算されたものであるが、PFI事業の進展実施状況及び経済情勢・経済環境の変化等による所要額の変更も想定されるため、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程において決定される。</p>	年度		R4	R5	R6	R7	R8	R9	施設整備費補助金	0	0	0	121	243	243	運営交付金	0	0	0	69	85	83	年度	中期目標期間小計	次期以降事業費	総事業費	施設整備費補助金	607	2,912	3,519	運営交付金	237	839	1,076	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設整備費補助金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>447</td> <td>234</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>運営交付金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>52</td> <td>68</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>中期目標期間小計</th> <th>次期以降事業費</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設整備費補助金</td> <td>915</td> <td>2,811</td> <td>3,726</td> </tr> <tr> <td>運営交付金</td> <td>185</td> <td>600</td> <td>785</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>105</td> <td>421</td> <td>526</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)金額はPFI事業契約に基づき計算されたものであるが、PFI事業の進展実施状況及び経済情勢・経済環境の変化等による所要額の変更も想定されるため、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程において決定される。</p>	年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	施設整備費補助金	0	0	0	447	234	234	運営交付金	0	0	0	52	68	65	自己資金	0	0	0	35	35	35	年度	中期目標期間小計	次期以降事業費	総事業費	施設整備費補助金	915	2,811	3,726	運営交付金	185	600	785	自己資金
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																								
施設整備費補助金	0	0	0	121	243	243																																																																								
運営交付金	0	0	0	69	85	83																																																																								
年度	中期目標期間小計	次期以降事業費	総事業費																																																																											
施設整備費補助金	607	2,912	3,519																																																																											
運営交付金	237	839	1,076																																																																											
年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																								
施設整備費補助金	0	0	0	447	234	234																																																																								
運営交付金	0	0	0	52	68	65																																																																								
自己資金	0	0	0	35	35	35																																																																								
年度	中期目標期間小計	次期以降事業費	総事業費																																																																											
施設整備費補助金	915	2,811	3,726																																																																											
運営交付金	185	600	785																																																																											
自己資金	105	421	526																																																																											
14	福島大学	<p>X その他</p> <p>5. 中期目標期間を超える債務負担 <u>該当なし</u></p>	<p>X その他</p> <p>5. 中期目標期間を超える債務負担 中期目標期間を超える債務負担については、当該債務負担行為の必要性及び資金計画への影響を勘案し、合理的と判断されるものについて行う。</p>	<p>・中期目標期間を超える債務負担（リース契約）を行う予定となったことに伴う変更（財務会計システム、人事統合システム、学術情報システム）</p>																																																																										

○ その他の変更

・学内組織・制度等の名称決定等に伴う変更 7法人

番号	法人名	変更内容	
		変更前	変更案
08	弘前大学	<p>【02】複雑化する地域課題の解決やイノベーション創出を大学・自治体・産業界が一体となって実現していくため、地域連携プラットフォームなどの新たな枠組みの構築も視野に入れ、地域連携体制の一層の拡大・充実を図る。また、青森県内市町村との包括連携協定数の更なる拡充を図るとともに、新商品等の開発やブランド化に向けて自治体や企業等との共同研究等を推進し、産業の振興や活性化に貢献する。</p>	<p>【02】複雑化する地域課題の解決やイノベーション創出を大学・自治体・産業界が一体となって実現していくため、地域連携プラットフォームなどの新たな枠組みの構築も視野に入れ、地域連携体制の一層の拡大・充実を図る。また、青森県内市町村との包括連携協定数の更なる拡充を図るとともに、新商品等の開発やブランド化に向けて自治体や企業等との共同研究等を推進し、産業の振興や活性化に貢献する。</p>
		<p>評価指標</p> <p>①地域の企業等における新商品等の開発やブランド化の促進につながるような仕組みを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森サテライトを令和5年度までに開設する。 ・研究支援業務を組織的に行う「<u>学術研究支援室（仮称）</u>」を設置し、令和7年度までに学術研究支援の仕組みを構築する。 ・県内自治体との包括連携協定数を令和3年度末時点から1.5倍以上にする。（第4期中期目標期間最終年度） ・「弘前大学共同研究トライアルファンド」の採択件数を年平均5件以上とする。（第4期中期目標期間最終年度） 	<p>評価指標</p> <p>①地域の企業等における新商品等の開発やブランド化の促進につながるような仕組みを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森サテライトを令和5年度までに開設する。 ・研究支援業務を組織的に行う「<u>学術研究支援室</u>」を設置し、令和7年度までに学術研究支援の仕組みを構築する。 ・県内自治体との包括連携協定数を令和3年度末時点から1.5倍以上にする。（第4期中期目標期間最終年度） ・「弘前大学共同研究トライアルファンド」の採択件数を年平均5件以上とする。（第4期中期目標期間最終年度）
		<p>【17】イノベーションの創出を促進するため、産学官連携を強化するとともに、リサーチ・アドミニストレータ一機能の充実、研究の見える化の徹底により戦略的に知的財産の権利化・技術移転を進め、研究成果の高付加価値化に取り組む。</p>	<p>【17】イノベーションの創出を促進するため、産学官連携を強化するとともに、リサーチ・アドミニストレータ一機能の充実、研究の見える化の徹底により戦略的に知的財産の権利化・技術移転を進め、研究成果の高付加価値化に取り組む。</p>
		<p>評価指標</p> <p>①共同研究・受託研究の受入件数を第3期中期目標期間より5%以上増加させる。</p> <p>②特許実施料等収入の受入額を第3期中期目標期間より15%以上増加させる。</p> <p>③研究分析ツールの活用に加えて、URA及び事務担当者による研究支援業務を組織的に行う「<u>学術研究支援室（仮称）</u>」を設置し、令和7年度までに学術研究支援の仕組みを構築する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①共同研究・受託研究の受入件数を第3期中期目標期間より5%以上増加させる。</p> <p>②特許実施料等収入の受入額を第3期中期目標期間より15%以上増加させる。</p> <p>③研究分析ツールの活用に加えて、URA及び事務担当者による研究支援業務を組織的に行う「<u>学術研究支援室</u>」を設置し、令和7年度までに学術研究支援の仕組みを構築する。</p>
		<p>【21】岩木健康増進プロジェクト健診で蓄積した超多項目ビッグデータ(*)をコアに、複数の大学や地方自治体と連携し、医療・福祉・介護に関するデータを突合可能なデータ群として増強し、これらの利活用が可能な健康・医療データサイエンスに係る体制を構築する。</p> <p>*超多項目ビッグデータ：平成17年から弘前市岩木地区の住民を対象に実施している岩木健康増進プロジェクト健診（大規模住民健診）で、健康者から得られる全身の健康状態から生活習慣・社会環境まで分野の垣根を越えた多因子的解析を可能にする2,000～3,000項目に及ぶ網羅的データ（小中学生含め延べ2万人分）のこと</p>	<p>【21】岩木健康増進プロジェクト健診で蓄積した超多項目ビッグデータ(*)をコアに、複数の大学や地方自治体と連携し、医療・福祉・介護に関するデータを突合可能なデータ群として増強し、これらの利活用が可能な健康・医療データサイエンスに係る体制を構築する。</p> <p>*超多項目ビッグデータ：平成17年から弘前市岩木地区の住民を対象に実施している岩木健康増進プロジェクト健診（大規模住民健診）で、健康者から得られる全身の健康状態から生活習慣・社会環境まで分野の垣根を越えた多因子的解析を可能にする2,000～3,000項目に及ぶ網羅的データ（小中学生含め延べ2万人分）のこと</p>
<p>評価指標</p> <p>①「<u>健康・医療データサイエンスセンター（仮称）</u>」を令和6年度までに設置し、医療・福祉・介護に関するデータ群の利活用をする。</p>	<p>評価指標</p> <p>①「<u>健康・医療データサイエンス研究センター</u>」を令和6年度までに設置し、医療・福祉・介護に関するデータ群の利活用をする。</p>		
<p>【22】学部長のリーダーシップのもと、学部・教職大学院と連携し、青森県の課題であるミドルリーダー育成を念頭においた研修・研究体制を整備し、地域の教員に、より実践的な研修の場を提供する。</p>	<p>【22】学部長のリーダーシップのもと、学部・教職大学院と連携し、青森県の課題であるミドルリーダー育成を念頭においた研修・研究体制を整備し、地域の教員に、より実践的な研修の場を提供する。</p>		
<p>評価指標</p> <p>①附属学校園全体の教育実践に関する研究を推進するため、「<u>研究推進部（仮称）</u>」を創設し、その主導のもとに実施した研究を第4期中期目標期間中に20件以上実施する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①附属学校園全体の教育実践に関する研究を推進するため、「<u>研究推進部</u>」を創設し、その主導のもとに実施した研究を第4期中期目標期間中に20件以上実施する。</p>		

番号	法人名	変更内容	
		変更前	変更案
		<p>②附属学校教員(*)の教職大学院への派遣制度を令和5年度までに創設し、教育実践に関する研究を主導する教員を育成する。</p> <p>③附属学校教員を対象とした中堅教諭等資質向上研修(前期・後期)を開発・実施し、第4期中期目標期間中の受講生の満足度を平均80%以上とする。</p> <p>④地域の教員に対する研修を第4期中期目標期間中に10件以上提供する。</p> <p>*附属学校教員:青森県教育委員会との交流人事であり、附属学校に一定期間勤務の後、地域の学校に戻る。</p>	<p>②附属学校教員(*)の教職大学院への派遣制度を令和5年度までに創設し、教育実践に関する研究を主導する教員を育成する。</p> <p>③附属学校教員を対象とした中堅教諭等資質向上研修(前期・後期)を開発・実施し、第4期中期目標期間中の受講生の満足度を平均80%以上とする。</p> <p>④地域の教員に対する研修を第4期中期目標期間中に10件以上提供する。</p> <p>*附属学校教員:青森県教育委員会との交流人事であり、附属学校に一定期間勤務の後、地域の学校に戻る。</p>
		<p>【36】教育研究の質の向上及び組織の活性化を図るため、教員業績評価及び組織評価を実施するとともに、自己点検・評価の実施及び第三者評価の受審を定期的に行い、それらの結果を公表する。また、学長の意思決定を支える「大学運営IR体制」を構築し、評価結果や学内外のデータを基にエビデンスベースの大学運営を進める。</p>	<p>【36】教育研究の質の向上及び組織の活性化を図るため、教員業績評価及び組織評価を実施するとともに、自己点検・評価の実施及び第三者評価の受審を定期的に行い、それらの結果を公表する。また、学長の意思決定を支える「大学運営IR体制」を構築し、評価結果や学内外のデータを基にエビデンスベースの大学運営を進める。</p>
		<p>評価指標</p> <p>①教員業績評価及び組織評価を実施し、それぞれ、教員の処遇及び教育研究組織への予算配分に反映させる。</p> <p>②自己点検・評価の実施及び第三者評価の受審を行い、評価結果及び評価結果に基づく改善点を公表する。</p> <p>③学長及び全理事等を構成員とする「学長戦略会議(仮称)」を設置し、法人運営上の諸課題についてデータに基づき提案する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①教員業績評価及び組織評価を実施し、それぞれ、教員の処遇及び教育研究組織への予算配分に反映させる。</p> <p>②自己点検・評価の実施及び第三者評価の受審を行い、評価結果及び評価結果に基づく改善点を公表する。</p> <p>③学長及び全理事等を構成員とする「学長戦略会議」を設置し、法人運営上の諸課題についてデータに基づき提案する。</p>
		<p>【38】効率的・効果的な業務運営に向けたデジタル化を推進するため、全学的な業務運営体制を強化し、実施計画を策定の上、生産性の高いオンライン業務環境を構築・拡大する。また、全学的にセキュリティ対策を強化した高機能な情報システムを導入し、安全・安心な情報環境を整備する。</p>	<p>【38】効率的・効果的な業務運営に向けたデジタル化を推進するため、全学的な業務運営体制を強化し、実施計画を策定の上、生産性の高いオンライン業務環境を構築・拡大する。また、全学的にセキュリティ対策を強化した高機能な情報システムを導入し、安全・安心な情報環境を整備する。</p>
		<p>評価指標</p> <p>①令和4年度に「デジタル化推進実施計画(仮称)」を策定し、ペーパーレス化に向けて、令和6年度までに電子決裁システムを全学導入するとともに、情報セキュリティを確保したテレワーク環境を整備する。令和7年度以降、オンライン業務環境の評価・改善を行う。</p>	<p>評価指標</p> <p>①令和4年度に「弘前大学デジタル化推進実施計画」を策定し、ペーパーレス化に向けて、令和6年度までに電子決裁システムを全学導入するとともに、情報セキュリティを確保したテレワーク環境を整備する。令和7年度以降、オンライン業務環境の評価・改善を行う。</p>
13	山形大学	<p>4 積立金の使途</p> <p>○ 前中期目標期間繰越積立金については、次の事業の財源に充てる。</p> <p>① 附属病院の機能強化に係る長期整備計画に基づく医療機器整備の一部</p> <p>② 小白川キャンパス地域連携拠点整備事業にかかる設備整備の一部</p> <p>③ 各キャンパスにおける学生支援施設の整備費の一部</p> <p>④ YU-MAI センター(仮称)改修に伴う移転及び整備事業の一部</p> <p>⑤ 有機エレクトロニクスイノベーションセンターの機能強化にかかる施設設備整備費の一部</p> <p>⑥ カーボンニュートラルを推進するための施設設備整備費の一部</p> <p>⑦ 長期修繕計画に基づく施設の長寿命化のための整備費の一部</p> <p>⑧ 事務システムの更新にかかる費用の一部</p> <p>⑨ その他教育、研究、診療に係る業務及びその附帯業務</p>	<p>4 積立金の使途</p> <p>○ 前中期目標期間繰越積立金については、次の事業の財源に充てる。</p> <p>① 附属病院の機能強化に係る長期整備計画に基づく医療機器整備の一部</p> <p>② 小白川キャンパス地域連携拠点整備事業にかかる設備整備の一部</p> <p>③ 各キャンパスにおける学生支援施設の整備費の一部</p> <p>④ YU-MAI センター改修に伴う移転及び整備事業の一部</p> <p>⑤ 有機エレクトロニクスイノベーションセンターの機能強化にかかる施設設備整備費の一部</p> <p>⑥ カーボンニュートラルを推進するための施設設備整備費の一部</p> <p>⑦ 長期修繕計画に基づく施設の長寿命化のための整備費の一部</p> <p>⑧ 事務システムの更新にかかる費用の一部</p> <p>⑨ その他教育、研究、診療に係る業務及びその附帯業務</p>

番号	法人名	変更内容	
		変更前	変更案
14	福島大学	<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>7-1 福島イノベーション・コースト構想による「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」に全学として参画し、上記事業における復興支援研究成果の社会横断的総合化や社会実装化、多様な人材育成事業を展開する。また、復興庁により設置が検討されている「国際教育研究拠点」に参画し、第一次産業の活性化と社会基盤の整備を軸とした多分野にわたる研究を展開するとともに、広域的に地域再生や社会変革につながるイノベーションを推進する。</p> <p>※福島イノベーション・コースト構想：2011年に発生した東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト</p>	<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>7-1 福島イノベーション・コースト構想による「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」に全学として参画し、上記事業における復興支援研究成果の社会横断的総合化や社会実装化、多様な人材育成事業を展開する。また、福島国際研究教育機構の事業に参画し、第一次産業の活性化と社会基盤の整備を軸とした多分野にわたる研究を展開するとともに、広域的に地域再生や社会変革につながるイノベーションを推進する。</p> <p>※福島イノベーション・コースト構想：2011年に発生した東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト</p>
		<p>評価指標</p> <p>7-1-1_第4期中期目標期間の初年度と最終年度を比較して、「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」を含め、研究成果の事業化と社会実装の合計件数が10%増加</p> <p>7-1-2_「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」において、模擬授業・公開講座等を第4期中期目標期間に100件程度開講</p> <p>7-1-3_第4期中期目標期間の初年度から最終年度までの間に「国際教育研究拠点」に関連する研究課題に2件以上取り組み、本学が「国際教育研究拠点」への参画構想で示した、福島を研究フィールドとする地域創造研究を推進</p>	<p>評価指標</p> <p>7-1-1_第4期中期目標期間の初年度と最終年度を比較して、「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」を含め、研究成果の事業化と社会実装の合計件数が10%増加</p> <p>7-1-2_「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」において、模擬授業・公開講座等を第4期中期目標期間に100件程度開講</p> <p>7-1-3_第4期中期目標期間の初年度から最終年度までの間に福島国際研究教育機構に関連する研究課題に2件以上取り組み、本学が福島国際研究教育機構の事業への参画構想で示した、福島を研究フィールドとする地域創造研究を推進</p>

番号	法人名	変更内容													
		変更前	変更案												
16	筑波大学	<p>9 魅力ある研究を推進しつつ、学位プログラムの見直し等により大学院博士後期課程における教育を充実し、博士後期課程への進学に繋げるとともに、「<u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u>」を活用することで、全ての博士課程学生のキャリア形成支援を強化する。【指定国構想】</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(略) 17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、<u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u>を令和4年度（2022年度）中に設置する。</td> </tr> </table> <p>(略)</p> <p>21 「<u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u>」を全学的な連携のもとに設置し、ブレFD、企業とのマッチング、アントレプレナーシップ教育、起業支援などを通じて、全ての博士課程学生やポストドクターを含めた若手研究者のキャリア形成支援を強化する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、<u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u>を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲）</td> </tr> </table> <p>(略)</p> <p>30 全ての学生・研究者・職員が個々の能力を最大化し価値創造していく仕組み作りを行うために、「<u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u>」を全学的な連携のもとに設置し、多様な学生・研究者・職員を包摂できる学習・研究・就業環境を構築するとともに、キャリア形成支援を強化する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、<u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u>を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲） (略)</td> </tr> </table>	評価指標	(略) 17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。	評価指標	17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲）	評価指標	17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲） (略)	<p>9 魅力ある研究を推進しつつ、学位プログラムの見直し等により大学院博士後期課程における教育を充実し、博士後期課程への進学に繋げるとともに、「<u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u>」を活用することで、全ての博士課程学生のキャリア形成支援を強化する。【指定国構想】</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(略) 17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、<u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u>を令和4年度（2022年度）中に設置する。</td> </tr> </table> <p>(略)</p> <p>21 「<u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u>」を全学的な連携のもとに設置し、ブレFD、企業とのマッチング、アントレプレナーシップ教育、起業支援などを通じて、全ての博士課程学生やポストドクターを含めた若手研究者のキャリア形成支援を強化する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、<u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u>を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲）</td> </tr> </table> <p>(略)</p> <p>30 全ての学生・研究者・職員が個々の能力を最大化し価値創造していく仕組み作りを行うために、「<u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u>」を全学的な連携のもとに設置し、多様な学生・研究者・職員を包摂できる学習・研究・就業環境を構築するとともに、キャリア形成支援を強化する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、<u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u>を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲） (略)</td> </tr> </table>	評価指標	(略) 17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。	評価指標	17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲）	評価指標	17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲） (略)
		評価指標	(略) 17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。												
		評価指標	17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲）												
評価指標	17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマン・エンパワーメントセンター（仮称）</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲） (略)														
評価指標	(略) 17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。														
評価指標	17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲）														
評価指標	17 ダイバーシティ・マネジメントを踏まえたキャリア形成支援環境を構築するため、 <u>ヒューマンエンパワーメント推進局</u> を令和4年度（2022年度）中に設置する。（再掲） (略)														
33	横浜国立大学	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 社会との共創に関する目標を達成するための措置 (2)-1 本学では、多様な研究シーズの連携・融合によって分野横断型研究グループ（YNU研究拠点）を形成し、優れた研究拠点を重点支援すると同時に、戦略的強化分野を先端科学高等研究院に集約し、研究支援体制の強化を行っている。これらの研究強化スキームを発展させて、世界水準の科学研究を推進する先端科学高等研究院に加えて、本学の特徴である分野横断型の学際的分野における世界水準の総合学術研究を推進する「<u>総合学術高等研究院（仮称）</u>」を設置する。その上で、分野横断型や若手教員中心の研究拠点を重点支援し、世界水準の科学研究と総合学術研究に関する新たな研究ユニット等を設置して、社会的インパクトの高い研究成果を世界に発信する。さらに、卓越した研究実績に基づき、国際的なネットワーク・ハブ機能を有する研究グループを強化することで、世界水準の拠点を形成する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(2)-1-2 国際共著論文の発表状況や海外研究者の招聘、国際的な</td> </tr> </table>	評価指標	(2)-1-2 国際共著論文の発表状況や海外研究者の招聘、国際的な	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 社会との共創に関する目標を達成するための措置 (2)-1 本学では、多様な研究シーズの連携・融合によって分野横断型研究グループ（YNU研究拠点）を形成し、優れた研究拠点を重点支援すると同時に、戦略的強化分野を先端科学高等研究院に集約し、研究支援体制の強化を行っている。これらの研究強化スキームを発展させて、世界水準の科学研究を推進する先端科学高等研究院に加えて、本学の特徴である分野横断型の学際的分野における世界水準の総合学術研究を推進する「<u>総合学術高等研究院</u>」を設置する。その上で、分野横断型や若手教員中心の研究拠点を重点支援し、世界水準の科学研究と総合学術研究に関する新たな研究ユニット等を設置して、社会的インパクトの高い研究成果を世界に発信する。さらに、卓越した研究実績に基づき、国際的なネットワーク・ハブ機能を有する研究グループを強化することで、世界水準の拠点を形成する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(2)-1-2 国際共著論文の発表状況や海外研究者の招聘、国際的な</td> </tr> </table>	評価指標	(2)-1-2 国際共著論文の発表状況や海外研究者の招聘、国際的な								
		評価指標	(2)-1-2 国際共著論文の発表状況や海外研究者の招聘、国際的な												
評価指標	(2)-1-2 国際共著論文の発表状況や海外研究者の招聘、国際的な														

番号	法人名	変更内容					
		変更前	変更案				
		<p>会合の実施状況など複合的な観点から研究グループが国際的ネットワーク・ハブ機能を保持していることを認定する制度を確立し、国際的ネットワーク・ハブ機能の強化を支援することで、その要件を満たすYNU研究拠点（先端科学高等研究院、総合学術高等研究院（仮称）のユニットを含む）等を育成する。</p>	<p>会合の実施状況など複合的な観点から研究グループが国際的ネットワーク・ハブ機能を保持していることを認定する制度を確立し、国際的ネットワーク・ハブ機能の強化を支援することで、その要件を満たすYNU研究拠点（先端科学高等研究院、総合学術高等研究院のユニットを含む）等を育成する。</p>				
		<p>(2)-2 学際的分野の研究力を強化するために、新たに設置する総合学術高等研究院（仮称）を核に国内外の優秀な教員や学生を獲得できる教育研究環境を整備する。業績の優れた教員には、Distinguished YNU Professorの称号付与、特別な給与体系の適用又は外部資金獲得に応じた研究費配分等を行う。また、総合学術高等研究院（仮称）所属教員への研究スペース等の支援による研究環境の整備を行う。</p>	<p>(2)-2 学際的分野の研究力を強化するために、新たに設置する総合学術高等研究院を核に国内外の優秀な教員や学生を獲得できる教育研究環境を整備する。業績の優れた教員には、Distinguished YNU Professorの称号付与、特別な給与体系の適用又は外部資金獲得に応じた研究費配分等を行う。また、総合学術高等研究院所属教員への研究スペース等の支援による研究環境の整備を行う。</p>				
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(2)-2-1 総合学術高等研究院（仮称）所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。</td> </tr> </table>	評価指標	(2)-2-1 総合学術高等研究院（仮称）所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(2)-2-1 総合学術高等研究院所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。</td> </tr> </table>	評価指標	(2)-2-1 総合学術高等研究院所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。
評価指標	(2)-2-1 総合学術高等研究院（仮称）所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。						
評価指標	(2)-2-1 総合学術高等研究院所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。						
		<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(8)-2 独自の発想に基づいて形成される教員グループを大学が認定するYNU研究拠点制度を通じて、多様なグループの活動を可視化し、支援を行う。特に成果が優れるグループについては、先端科学高等研究院における研究ユニットとして重点支援し、卓越性の強化を図る。一方、分野横断や学際領域の研究を行うグループについては、新たに総合学術高等研究院（仮称）に集約して重点支援し、多様性の強化を図る。</p>	<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(8)-2 独自の発想に基づいて形成される教員グループを大学が認定するYNU研究拠点制度を通じて、多様なグループの活動を可視化し、支援を行う。特に成果が優れるグループについては、先端科学高等研究院における研究ユニットとして重点支援し、卓越性の強化を図る。一方、分野横断や学際領域の研究を行うグループについては、新たに総合学術高等研究院に集約して重点支援し、多様性の強化を図る。</p>				
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(8)-2-2 総合学術高等研究院（仮称）所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。（再掲：(2)-2-1）</td> </tr> </table>	評価指標	(8)-2-2 総合学術高等研究院（仮称）所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。（再掲：(2)-2-1）	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(8)-2-2 総合学術高等研究院所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。（再掲：(2)-2-1）</td> </tr> </table>	評価指標	(8)-2-2 総合学術高等研究院所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。（再掲：(2)-2-1）
評価指標	(8)-2-2 総合学術高等研究院（仮称）所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。（再掲：(2)-2-1）						
評価指標	(8)-2-2 総合学術高等研究院所属教員による学際的な研究に関して、運営諮問会議から、支援体制の整備や社会的影響度の高い成果の創出について評価を得る。（再掲：(2)-2-1）						
		<p>(9)-1 地域と連携する中核拠点である地域連携推進機構において、本学の有する多様な学術知・実践知を駆使して、分野連携によって多角的に社会・地域課題の解決に取り組む体制として、「社会・地域課題発見・解決プラットフォーム（仮称）」を構築する。このプラットフォームでは、多様なステークホルダー（自治体、産業界、学校、市民等）と連携して、様々な社会・地域課題を発見し、本学の教員による分野横断型チームが中心となり、多角的に課題解決策を検討する。その上で、Next Urban Lab※を発展させることで、より適切な研究者集団による「ネクストコラボレーション拠点（仮称）」を形成し、具体的に社会・地域課題の解決に取り組む。こうした活動を展開するために、サテライトキャンパスなどを設置し、活動を活発化する。</p> <p>（※Next Urban Labは、2017年度から始動した、ヨコハマ・かながわ地域を中心に実践的な教育・研究活動と成果発信を行う仕組み。複数の学内教員と行政・企業などが連携するユニットごとに、多様な課題解決に取り組んでいる。）</p>	<p>(9)-1 地域と連携する中核拠点である地域連携推進機構において、本学の有する多様な学術知・実践知を駆使して、分野連携によって多角的に社会・地域課題の解決に取り組む体制として、「社会・地域の課題を発見・解決するプラットフォーム」を構築する。このプラットフォームでは、多様なステークホルダー（自治体、産業界、学校、市民等）と連携して、様々な社会・地域課題を発見し、本学の教員による分野横断型チームが中心となり、多角的に課題解決策を検討する。その上で、Next Urban Lab※を発展させることで、より適切な研究者集団による「ネクストコラボレーション拠点」を形成し、具体的に社会・地域課題の解決に取り組む。こうした活動を展開するために、サテライトキャンパスなどを設置し、活動を活発化する。</p> <p>（※Next Urban Labは、2017年度から始動した、ヨコハマ・かながわ地域を中心に実践的な教育・研究活動と成果発信を行う仕組み。複数の学内教員と行政・企業などが連携するユニットごとに、多様な課題解決に取り組んでいる。）</p>				
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(9)-1-2 社会・地域課題発見・解決プラットフォーム（仮称）を通じた、ネクストコラボレーション拠点（仮称）制度を確立させ、第3期中期目標期間に構築した評価指標である、地元自治体等への提言や地域への研究成果の情報発信など、地域貢献の</td> </tr> </table>	評価指標	(9)-1-2 社会・地域課題発見・解決プラットフォーム（仮称）を通じた、ネクストコラボレーション拠点（仮称）制度を確立させ、第3期中期目標期間に構築した評価指標である、地元自治体等への提言や地域への研究成果の情報発信など、地域貢献の	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(9)-1-2 社会・地域の課題を発見・解決するプラットフォームを通じた、ネクストコラボレーション拠点制度を確立させ、第3期中期目標期間に構築した評価指標である、地元自治体等への提言や地域への研究成果の情報発信など、地域貢献の件数等を</td> </tr> </table>	評価指標	(9)-1-2 社会・地域の課題を発見・解決するプラットフォームを通じた、ネクストコラボレーション拠点制度を確立させ、第3期中期目標期間に構築した評価指標である、地元自治体等への提言や地域への研究成果の情報発信など、地域貢献の件数等を
評価指標	(9)-1-2 社会・地域課題発見・解決プラットフォーム（仮称）を通じた、ネクストコラボレーション拠点（仮称）制度を確立させ、第3期中期目標期間に構築した評価指標である、地元自治体等への提言や地域への研究成果の情報発信など、地域貢献の						
評価指標	(9)-1-2 社会・地域の課題を発見・解決するプラットフォームを通じた、ネクストコラボレーション拠点制度を確立させ、第3期中期目標期間に構築した評価指標である、地元自治体等への提言や地域への研究成果の情報発信など、地域貢献の件数等を						

番号	法人名	変更内容					
		変更前	変更案				
		<p>件数等を総合して算定する「成果ポイント数」について、第4期中期目標期間の平均値が、第3期中期目標期間の平均値を上回る。</p> <p>(9)-1-3 湘南エリア（「YNU産学公湘南共創キャンパス（仮称）」）や羽沢横浜国大駅近傍、横浜都心部にサテライトキャンパスを設置し、地域の多様なステークホルダー等から、活動の適切性に関する評価を得る。</p>	<p>総合して算定する「成果ポイント数」について、第4期中期目標期間の平均値が、第3期中期目標期間の平均値を上回る。</p> <p>(9)-1-3 湘南エリア（「YNU新湘南共創キャンパス」）や羽沢横浜国大駅近傍、横浜都心部にサテライトキャンパスを設置し、地域の多様なステークホルダー等から、活動の適切性に関する評価を得る。</p>				
		<p>(9)-2 本学の個々の教員の研究成果や分野連携・融合による学際的な研究成果の社会実装を加速するために、研究推進機構が中心となり「研究シーズ育成プラットフォーム（仮称）」を構築する。本プラットフォームでは、本学の教員、産学官連携コーディネーターに加えて、多様なステークホルダー（自治体、産業界、市民等）と連携して、幅広い視点から研究シーズの展開を探索し、社会実装に最短経路で導き、アウトカムを最大化させるスキームを検討する。その上で、YNU研究拠点などの特徴ある研究シーズをさらに発展させて、大型研究プロジェクトへの申請や産学官連携を推進する。</p>	<p>(9)-2 本学の個々の教員の研究成果や分野連携・融合による学際的な研究成果の社会実装を加速するために、研究推進機構が中心となり「価値共創研究プラットフォーム」を構築する。本プラットフォームでは、本学の教員、産学官連携コーディネーターに加えて、多様なステークホルダー（自治体、産業界、市民等）と連携して、幅広い視点から研究シーズの展開を探索し、社会実装に最短経路で導き、アウトカムを最大化させるスキームを検討する。その上で、YNU研究拠点などの特徴ある研究シーズをさらに発展させて、大型研究プロジェクトへの申請や産学官連携を推進する。</p>				
		<p>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>(13)-1 社会・地域課題発見・解決プラットフォーム（仮称）や研究シーズ育成プラットフォーム（仮称）を通じて社会との共創により、共同研究などの受入を増加させる。また、同窓会や校友会と密接に連携して、卒業生や企業等のステークホルダーを意識した情報の提供を強化するとともに、ファンドレイザーによる渉外活動を積極的に展開し、横浜国立大学基金への受入額を増加させる。</p> <p>(13)-2 各種競争的外部資金の獲得を促進するため、IR機能を担う大学戦略情報分析室と研究推進機構等との連携により、理工系のみならず、人文系、社会系との融合分野についても積極的な支援を行う。また、それらを有機的に連結させることにより、今後も資金獲得が期待できる本学の強い分野を抽出し、申請数の増加によって資金獲得の増加を目指す。加えて、申請を資金獲得に結び付けるため、先端科学高等研究院と設置予定の総合学術高等研究院（仮称）の機能強化、産学連携業務のURAとの連携により、外部資金獲得のための支援体制を整備する。</p>	<p>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>(13)-1 社会・地域の課題を発見・解決するプラットフォームや価値共創研究プラットフォームを通じて社会との共創により、共同研究などの受入を増加させる。また、同窓会や校友会と密接に連携して、卒業生や企業等のステークホルダーを意識した情報の提供を強化するとともに、ファンドレイザーによる渉外活動を積極的に展開し、横浜国立大学基金への受入額を増加させる。</p> <p>(13)-2 各種競争的外部資金の獲得を促進するため、IR機能を担う大学戦略情報分析室と研究推進機構等との連携により、理工系のみならず、人文系、社会系との融合分野についても積極的な支援を行う。また、それらを有機的に連結させることにより、今後も資金獲得が期待できる本学の強い分野を抽出し、申請数の増加によって資金獲得の増加を目指す。加えて、申請を資金獲得に結び付けるため、先端科学高等研究院と設置予定の総合学術高等研究院の機能強化、産学連携業務のURAとの連携により、外部資金獲得のための支援体制を整備する。</p>				
		<p>Ⅳ 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>(14)-1 多様なステークホルダーとのエンゲージメントを通じてステークホルダーのニーズを把握し、自己点検・評価を毎年度実施することで、エビデンスに基づく法人経営を行う。また、社会全体から理解と信頼を確実に獲得するために、大学の経営方針、教育研究活動や地域連携活動等、多様なステークホルダーとの連携により創出された成果等を「YNUレポート（仮称）」として積極的に情報発信する。</p>	<p>Ⅳ 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>(14)-1 多様なステークホルダーとのエンゲージメントを通じてステークホルダーのニーズを把握し、自己点検・評価を毎年度実施することで、エビデンスに基づく法人経営を行う。また、社会全体から理解と信頼を確実に獲得するために、大学の経営方針、教育研究活動や地域連携活動等、多様なステークホルダーとの連携により創出された成果等を「YNU REPORT（横浜国立大学 統合報告書）」として積極的に情報発信する。</p>				
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(14)-1-2 YNUレポート（仮称）として本学の様々な活動内容を社会に発信し、ステークホルダーとエビデンスに基づく対話を重ねることで、本学への理解・支持を高める。</td> </tr> </table>	評価指標	(14)-1-2 YNUレポート（仮称）として本学の様々な活動内容を社会に発信し、ステークホルダーとエビデンスに基づく対話を重ねることで、本学への理解・支持を高める。	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(14)-1-2 YNU REPORT（横浜国立大学 統合報告書）として本学の様々な活動内容を社会に発信し、ステークホルダーとエビデンスに基づく対話を重ねることで、本学への理解・支持を高める。</td> </tr> </table>	評価指標	(14)-1-2 YNU REPORT（横浜国立大学 統合報告書）として本学の様々な活動内容を社会に発信し、ステークホルダーとエビデンスに基づく対話を重ねることで、本学への理解・支持を高める。
評価指標	(14)-1-2 YNUレポート（仮称）として本学の様々な活動内容を社会に発信し、ステークホルダーとエビデンスに基づく対話を重ねることで、本学への理解・支持を高める。						
評価指標	(14)-1-2 YNU REPORT（横浜国立大学 統合報告書）として本学の様々な活動内容を社会に発信し、ステークホルダーとエビデンスに基づく対話を重ねることで、本学への理解・支持を高める。						
		<p>X その他</p> <p>2. 人事に関する計画</p> <p>① 総合学術高等研究院（仮称）に所属し、業績の優れた教員には、Distinguished YNU Professorの称号付</p>	<p>X その他</p> <p>2. 人事に関する計画</p> <p>① 総合学術高等研究院に所属し、業績の優れた教員には、Distinguished YNU Professorの称号付</p>				

番号	法人名	変更内容									
		変更前	変更案								
		<p>号付与、特別な給与体系の適用を行う。</p> <p>② 多様な研究活動を評価する教員業績評価制度を常に改善し、適切に処遇に反映させる。</p> <p>③ 各分野で主幹的研究者としての評価基準を設定し、昇任や採用の目安とする。</p> <p>④ 出産、育児、介護をはじめとする様々なライフイベントや障がいの有無にかかわらず多様な教員が教育研究活動と生活を両立させ活躍できるよう支援体制を充実し、個々のニーズに応じた細やかな支援を行う。</p> <p>⑤ クロスアポイントメント制度を拡充し、女性教員や若手教員の教育研究活動への参画を促進する。</p> <p>⑥ 有望な中堅・若手教員を積極的に学長補佐に登用し、理事・副学長と学長補佐が一体となって業務に当たる体制を強化することで、将来の大学経営の中核を担う人材を計画的に育成する。</p> <p>⑦ 職員の能力向上や、事務の効率化・合理化に資するため、職員の意識改革・スキルアップ及び業務改善等を目的とし、将来を見据えた研修等を計画的に実施する。</p>	<p>与、特別な給与体系の適用を行う。</p> <p>② 多様な研究活動を評価する教員業績評価制度を常に改善し、適切に処遇に反映させる。</p> <p>③ 各分野で主幹的研究者としての評価基準を設定し、昇任や採用の目安とする。</p> <p>④ 出産、育児、介護をはじめとする様々なライフイベントや障がいの有無にかかわらず多様な教員が教育研究活動と生活を両立させ活躍できるよう支援体制を充実し、個々のニーズに応じた細やかな支援を行う。</p> <p>⑤ クロスアポイントメント制度を拡充し、女性教員や若手教員の教育研究活動への参画を促進する。</p> <p>⑥ 有望な中堅・若手教員を積極的に学長補佐に登用し、理事・副学長と学長補佐が一体となって業務に当たる体制を強化することで、将来の大学経営の中核を担う人材を計画的に育成する。</p> <p>⑦ 職員の能力向上や、事務の効率化・合理化に資するため、職員の意識改革・スキルアップ及び業務改善等を目的とし、将来を見据えた研修等を計画的に実施する。</p>								
77	熊本大学	<p>A-2-1. (略)</p> <p>評価指標 (A-2-1-1) ~ (A-2-1-3) (略)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(A-2-1-4) 令和4年度に「生命科学研究所附属ワクチン開発研究センター(仮称)」を設置する。</td> </tr> </table> <p>G-2-1. 新たな研究領域の開拓を実現できる意欲と能力のある若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、新たに34歳以下を対象としたヤング・テニユア・トラック制度(仮称)を令和4年度に構築し、令和5年度から運用するとともに、国際公募等により、40歳未満の若手教員数を増加させる。</p> <p>評価指標 (G-2-1-1) ~ (G-2-1-2) (略)</p> <p>G-2-2. 女性教員の参画を促進するため、新たなウーマン・テニユア・トラック制度(仮称)を令和4年度に構築し、新規採用者に占める女性教員の割合を増加させる。</p> <p>さらに、女性教員のライフイベント等に配慮した研究環境を整備することで、多様な視点を取り入れた研究を促進し、新たに上位職(教授又は准教授)へ配置する女性教員数を増加させる。</p> <p>評価指標 (G-2-2-1) ~ (G-2-2-2) (略)</p> <p>D-1-2. 鹿児島大学との連携により設置したヒトレトロウイルス学共同研究センター並びに富山大学との連携により設置した先進軽金属材料国際研究機構における人材や研究資源の共有・融合と国際的研究・教育を推進する。</p> <p>これらにより、ヒトレトロウイルス学共同研究センターにおいては、先端研究及び創薬研究に関わる次世代研究者の育成やワクチン等の開発に向け新たなシーズを創出する。</p> <p>また、先進軽金属材料国際研究機構においては、軽金属モノづくり高度人材を育成するため、博士前期・後期課程に「先進軽金属材料研究者共同養成コース(仮称)」等を設置するとともに、共同利用・共同研究拠点の強化を図るため「先進チタン国際研究センター(仮称)」を設置する。</p> <p>評価指標 (D-1-2-1) ~ (D-1-2-4) (略)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(D-1-2-5) [先進軽金属材料国際研究機構] 富山大学との「先進軽金属材料研究者共同養成コース(仮称)」(副教育プログラム)に所属した本学の大学院生数/第4期中期目標期間の最終年度までに博士前期・博士後期課程合わせて年間7名とする。</td> </tr> </table>	評価指標	(A-2-1-4) 令和4年度に「生命科学研究所附属ワクチン開発研究センター(仮称)」を設置する。	評価指標	(D-1-2-5) [先進軽金属材料国際研究機構] 富山大学との「先進軽金属材料研究者共同養成コース(仮称)」(副教育プログラム)に所属した本学の大学院生数/第4期中期目標期間の最終年度までに博士前期・博士後期課程合わせて年間7名とする。	<p>A-2-1. (略)</p> <p>評価指標 (A-2-1-1) ~ (A-2-1-3) (略)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(A-2-1-4) 令和4年度に「生命科学研究所附属ワクチン開発研究センター」を設置する。</td> </tr> </table> <p>G-2-1. 新たな研究領域の開拓を実現できる意欲と能力のある若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、新たに34歳以下を対象としたヤング・テニユア・トラック制度を令和4年度に構築し、令和5年度から運用するとともに、国際公募等により、40歳未満の若手教員数を増加させる。</p> <p>評価指標 (G-2-1-1) ~ (G-2-1-2) (略)</p> <p>G-2-2. 女性教員の参画を促進するため、新たなウーマン・テニユア・トラック制度を令和4年度に構築し、新規採用者に占める女性教員の割合を増加させる。</p> <p>さらに、女性教員のライフイベント等に配慮した研究環境を整備することで、多様な視点を取り入れた研究を促進し、新たに上位職(教授又は准教授)へ配置する女性教員数を増加させる。</p> <p>評価指標 (G-2-2-1) ~ (G-2-2-2) (略)</p> <p>D-1-2. 鹿児島大学との連携により設置したヒトレトロウイルス学共同研究センター並びに富山大学との連携により設置した先進軽金属材料国際研究機構における人材や研究資源の共有・融合と国際的研究・教育を推進する。</p> <p>これらにより、ヒトレトロウイルス学共同研究センターにおいては、先端研究及び創薬研究に関わる次世代研究者の育成やワクチン等の開発に向け新たなシーズを創出する。</p> <p>また、先進軽金属材料国際研究機構においては、軽金属モノづくり高度人材を育成するため、博士前期・後期課程に「先進軽金属材料研究者共同養成コース」等を設置するとともに、共同利用・共同研究拠点の強化を図るため「先進チタン国際研究センター(仮称)」を設置する。</p> <p>評価指標 (D-1-2-1) ~ (D-1-2-4) (略)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(D-1-2-5) [先進軽金属材料国際研究機構] 富山大学との「先進軽金属材料研究者共同養成コース」(副教育プログラム)に所属した本学の大学院生数/第4期中期目標期間の最終年度までに博士前期・博士後期課程合わせて年間7名とする。</td> </tr> </table>	評価指標	(A-2-1-4) 令和4年度に「生命科学研究所附属ワクチン開発研究センター」を設置する。	評価指標	(D-1-2-5) [先進軽金属材料国際研究機構] 富山大学との「先進軽金属材料研究者共同養成コース」(副教育プログラム)に所属した本学の大学院生数/第4期中期目標期間の最終年度までに博士前期・博士後期課程合わせて年間7名とする。
評価指標	(A-2-1-4) 令和4年度に「生命科学研究所附属ワクチン開発研究センター(仮称)」を設置する。										
評価指標	(D-1-2-5) [先進軽金属材料国際研究機構] 富山大学との「先進軽金属材料研究者共同養成コース(仮称)」(副教育プログラム)に所属した本学の大学院生数/第4期中期目標期間の最終年度までに博士前期・博士後期課程合わせて年間7名とする。										
評価指標	(A-2-1-4) 令和4年度に「生命科学研究所附属ワクチン開発研究センター」を設置する。										
評価指標	(D-1-2-5) [先進軽金属材料国際研究機構] 富山大学との「先進軽金属材料研究者共同養成コース」(副教育プログラム)に所属した本学の大学院生数/第4期中期目標期間の最終年度までに博士前期・博士後期課程合わせて年間7名とする。										

番号	法人名	変更内容									
		変更前	変更案								
		D-1-3. (略) 評価指標 (D-1-3-1) ~ (D-1-3-2) (略) <table border="1" data-bbox="331 253 826 383"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(D-1-3-3) 令和4年度に「先端科学研究部附属半導体研究教育センター(仮称)」を設置する。</td> </tr> </table> E-1-2. (略) <table border="1" data-bbox="331 465 826 707"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(E-1-2-1) 令和4年度に、監事と内部監査事務担当者による定期的な監査の情報共有・意見交換を行う監査業務連絡会議(仮称)を設置し、令和5年度以降毎年度検証を行い、第4期中期目標期間の最終年度に運営形態を確定する。</td> </tr> </table>	評価指標	(D-1-3-3) 令和4年度に「先端科学研究部附属半導体研究教育センター(仮称)」を設置する。	評価指標	(E-1-2-1) 令和4年度に、監事と内部監査事務担当者による定期的な監査の情報共有・意見交換を行う監査業務連絡会議(仮称)を設置し、令和5年度以降毎年度検証を行い、第4期中期目標期間の最終年度に運営形態を確定する。	D-1-3. (略) 評価指標 (D-1-3-1) ~ (D-1-3-2) (略) <table border="1" data-bbox="963 253 1458 383"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(D-1-3-3) 令和4年度に「先端科学研究部附属半導体研究教育センター」を設置する。</td> </tr> </table> E-1-2. (略) <table border="1" data-bbox="963 465 1458 707"> <tr> <td>評価指標</td> <td>(E-1-2-1) 令和4年度に、監事と内部監査事務担当者による定期的な監査の情報共有・意見交換を行う監査業務連絡会議を設置し、令和5年度以降毎年度検証を行い、第4期中期目標期間の最終年度に運営形態を確定する。</td> </tr> </table>	評価指標	(D-1-3-3) 令和4年度に「先端科学研究部附属半導体研究教育センター」を設置する。	評価指標	(E-1-2-1) 令和4年度に、監事と内部監査事務担当者による定期的な監査の情報共有・意見交換を行う監査業務連絡会議を設置し、令和5年度以降毎年度検証を行い、第4期中期目標期間の最終年度に運営形態を確定する。
評価指標	(D-1-3-3) 令和4年度に「先端科学研究部附属半導体研究教育センター(仮称)」を設置する。										
評価指標	(E-1-2-1) 令和4年度に、監事と内部監査事務担当者による定期的な監査の情報共有・意見交換を行う監査業務連絡会議(仮称)を設置し、令和5年度以降毎年度検証を行い、第4期中期目標期間の最終年度に運営形態を確定する。										
評価指標	(D-1-3-3) 令和4年度に「先端科学研究部附属半導体研究教育センター」を設置する。										
評価指標	(E-1-2-1) 令和4年度に、監事と内部監査事務担当者による定期的な監査の情報共有・意見交換を行う監査業務連絡会議を設置し、令和5年度以降毎年度検証を行い、第4期中期目標期間の最終年度に運営形態を確定する。										
90	情報・システム研究機構	G3-P11 (1) 未発掘の研究課題への視野拡大を図るべく、 <u>戦略的プログラム実施による新分野開拓に係る「飛躍的發展研究(仮称)」の課題を第4期末までに累計20件以上選定し実施する。</u> (第3期実績見込み: 16件) (2) 他機関との連携による学際研究を伸長させるべく、 <u>戦略的プログラム実施による「異分野融合研究(仮称)」の課題件数を第4期末までに前期比30%増の10件以上とする。</u> (第3期実績見込み: 7件) (3) 「 <u>社会課題や地球規模課題の解決に向けた研究(仮称)</u> 」を新たに戦略的プログラムに加え、毎年度公募により課題を採用して第4期末までに累計40件以上実施する。(第3期実績見込み: 21件) G3-P11 (4) 戦略的プログラムにおける異分野融合あるいは新領域開拓に係る研究提案について、分野間の連環度を定量的に評価できる多様性指標等を活用したIR分析を新たに導入し、高度に融合的で学際的な優れた研究課題を第4期末までに10件以上を選定する。 G5-P20 (1) 課金方式による受託型の研究支援制度を取り入れた研究支援事業拠点「 <u>フェノタイプ解析センター(仮称)</u> 」を第4期前期(令和5年度)までに設置し、新しいタイプの共同利用体制を構築する。	G3-P11 (1) 未発掘の研究課題への視野拡大を図るべく、「 <u>戦略的研究プロジェクト</u> 」実施による「 <u>未来投資(新分野・新領域開拓)</u> 」に係る研究課題を第4期末までに累計20件以上選定し実施する。(第3期実績見込み: 16件) (2) 他機関との連携による学際研究を伸長させるべく、「 <u>戦略的研究プロジェクト</u> 」実施による「 <u>異分野融合(複合分野・多機関との共同研究推進)</u> 」に係る研究課題を第4期末までに前期比30%増の10件以上選定し実施する。(第3期実績見込み: 7件) (3) 「 <u>地球規模課題・社会課題(喫緊の課題への対応)</u> 」に係る研究カテゴリーを新たに「 <u>戦略的研究プロジェクト</u> 」に加え、毎年度公募により研究課題を採用して第4期末までに累計40件以上実施する。(第3期実績見込み: 21件) G3-P11 (4) 戦略的研究プロジェクトにおける異分野融合あるいは新領域開拓に係る研究提案について、分野間の連環度を定量的に評価できる多様性指標等を活用したIR分析を新たに導入し、高度に融合的で学際的な優れた研究課題を第4期末までに10件以上を選定する。 G5-P20 (1) 課金方式による受託型の研究支援制度を取り入れた研究支援事業拠点「 <u>フェノタイプ研究推進センター</u> 」を第4期前期(令和5年度)までに設置し、新しいタイプの共同利用体制を構築する。								

・評価指標の基準値の確定等に伴う変更 2法人

番号	法人名	変更内容															
		変更前	変更案														
67	徳島大学	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 社会との共創に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 【1-1】多様な学びの場の提供と、地域人材の育成 県内の高等教育機関、地方公共団体及び経済団体の16機関で組織する「とくしま産学官連携プラットフォーム」とCOC+事業の継続実施及びCOC+R事業実施のため高等教育機関、地方公共団体、経済団体及び企業等の52機関で組織する「コンソーシアムとくしま」等の産学官連携組織における役割分担の明確化及び産業人材育成のための体制整備により、地域ニーズの集積・分析を踏まえたリカレント教育の充実・高度化及び産業人材の育成に取り組み、学生や就業者、一般社会人等に提供する多様な学びの場を創出する。 	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 社会との共創に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 【1-1】多様な学びの場の提供と、地域人材の育成 県内の高等教育機関、地方公共団体及び経済団体の16機関で組織する「とくしま産学官連携プラットフォーム」とCOC+事業の継続実施及びCOC+R事業実施のため高等教育機関、地方公共団体、経済団体及び企業等の52機関で組織する「コンソーシアムとくしま」等の産学官連携組織における役割分担の明確化及び産業人材育成のための体制整備により、地域ニーズの集積・分析を踏まえたリカレント教育の充実・高度化及び産業人材の育成に取り組み、学生や就業者、一般社会人等に提供する多様な学びの場を創出する。 														
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-1-1】産学官連携組織による連携事業の進行を図る（第3期実績に比して3件以上増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）3件（令和2年度まで）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-1-2】社会人の学び直しのためのリカレント教育の修了者数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）延べ275人（令和2年度まで）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-1-3】アントレプレナー教育を受けた学生・社会人による起業等件数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）42件（令和2年度まで）</td> </tr> </table>	評価指標	【1-1-1】産学官連携組織による連携事業の進行を図る（第3期実績に比して3件以上増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）3件（令和2年度まで）	評価指標	【1-1-2】社会人の学び直しのためのリカレント教育の修了者数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）延べ275人（令和2年度まで）	評価指標	【1-1-3】アントレプレナー教育を受けた学生・社会人による起業等件数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）42件（令和2年度まで）	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-1-1】産学官連携組織による連携事業の進行を図る（第3期実績に比して3件以上増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 3件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-1-2】社会人の学び直しのためのリカレント教育の修了者数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 延べ328人</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-1-3】アントレプレナー教育を受けた学生・社会人による起業等件数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 54件</td> </tr> </table>	評価指標	【1-1-1】産学官連携組織による連携事業の進行を図る（第3期実績に比して3件以上増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 3件	評価指標	【1-1-2】社会人の学び直しのためのリカレント教育の修了者数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 延べ328人	評価指標	【1-1-3】アントレプレナー教育を受けた学生・社会人による起業等件数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 54件		
		評価指標	【1-1-1】産学官連携組織による連携事業の進行を図る（第3期実績に比して3件以上増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）3件（令和2年度まで）														
		評価指標	【1-1-2】社会人の学び直しのためのリカレント教育の修了者数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）延べ275人（令和2年度まで）														
		評価指標	【1-1-3】アントレプレナー教育を受けた学生・社会人による起業等件数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）42件（令和2年度まで）														
		評価指標	【1-1-1】産学官連携組織による連携事業の進行を図る（第3期実績に比して3件以上増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 3件														
		評価指標	【1-1-2】社会人の学び直しのためのリカレント教育の修了者数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 延べ328人														
		評価指標	【1-1-3】アントレプレナー教育を受けた学生・社会人による起業等件数（第3期実績に比して10%増）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 54件														
		<ul style="list-style-type: none"> 【1-3】高度な専門技能を有する地域医療人の育成 クリニカルアナトミー教育・研究センター、看護師特定行為研修センター及び看護リカレント教育センターにおける教育プログラムにより、高度な専門技能を有する医療人育成のための実践的なりカレント教育に取り組むとともに、徳島県地域医療センターをはじめ、県下の医療機関との連携のもと、強固な地域医療体制はもとより、東南海地震やウイルス感染症拡大に対応できる災害時医療体制の構築にも寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【1-3】高度な専門技能を有する地域医療人の育成 クリニカルアナトミー教育・研究センター、看護師特定行為研修センター及び看護リカレント教育センターにおける教育プログラムにより、高度な専門技能を有する医療人育成のための実践的なりカレント教育に取り組むとともに、徳島県地域医療センターをはじめ、県下の医療機関との連携のもと、強固な地域医療体制はもとより、東南海地震やウイルス感染症拡大に対応できる災害時医療体制の構築にも寄与する。 														
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-3-1】低侵襲手術トレーニングの参加者数（年間30人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの参加者のみを計上 ※第3期実績（暫定）年間25人（令和2年度まで）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-3-2】看護師特定行為研修受講者数（年間3人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの受講者のみを計上 ※第3期実績 年間3人（令和3年度より事業開始）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-3-3】認定看護師教育課程在宅ケア分野受講者数（30人以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※地域医療機関等からの受講者のみを計上 ※第3期実績 11人</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-3-4】地域枠医師の配置数（50人以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人</td> </tr> </table>	評価指標	【1-3-1】低侵襲手術トレーニングの参加者数（年間30人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの参加者のみを計上 ※第3期実績（暫定）年間25人（令和2年度まで）	評価指標	【1-3-2】看護師特定行為研修受講者数（年間3人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの受講者のみを計上 ※第3期実績 年間3人（令和3年度より事業開始）	評価指標	【1-3-3】認定看護師教育課程在宅ケア分野受講者数（30人以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※地域医療機関等からの受講者のみを計上 ※第3期実績 11人	評価指標	【1-3-4】地域枠医師の配置数（50人以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-3-1】低侵襲手術トレーニングの参加者数（年間30人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの参加者のみを計上 ※第3期実績年間27人</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-3-2】看護師特定行為研修受講者数（年間3人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの受講者のみを計上 ※第3期実績 年間3人（令和3年度より事業開始）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-3-3】認定看護師教育課程在宅ケア分野受講者数（30人以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※地域医療機関等からの受講者のみを計上 ※第3期実績 11人</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-3-4】地域枠医師の配置数（50人以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人</td> </tr> </table>	評価指標	【1-3-1】低侵襲手術トレーニングの参加者数（年間30人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの参加者のみを計上 ※第3期実績年間27人	評価指標	【1-3-2】看護師特定行為研修受講者数（年間3人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの受講者のみを計上 ※第3期実績 年間3人（令和3年度より事業開始）	評価指標	【1-3-3】認定看護師教育課程在宅ケア分野受講者数（30人以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※地域医療機関等からの受講者のみを計上 ※第3期実績 11人
評価指標	【1-3-1】低侵襲手術トレーニングの参加者数（年間30人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの参加者のみを計上 ※第3期実績（暫定）年間25人（令和2年度まで）																
評価指標	【1-3-2】看護師特定行為研修受講者数（年間3人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの受講者のみを計上 ※第3期実績 年間3人（令和3年度より事業開始）																
評価指標	【1-3-3】認定看護師教育課程在宅ケア分野受講者数（30人以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※地域医療機関等からの受講者のみを計上 ※第3期実績 11人																
評価指標	【1-3-4】地域枠医師の配置数（50人以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人																
評価指標	【1-3-1】低侵襲手術トレーニングの参加者数（年間30人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの参加者のみを計上 ※第3期実績年間27人																
評価指標	【1-3-2】看護師特定行為研修受講者数（年間3人）〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※地域医療機関からの受講者のみを計上 ※第3期実績 年間3人（令和3年度より事業開始）																
評価指標	【1-3-3】認定看護師教育課程在宅ケア分野受講者数（30人以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※地域医療機関等からの受講者のみを計上 ※第3期実績 11人																
評価指標	【1-3-4】地域枠医師の配置数（50人以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人																
<ul style="list-style-type: none"> 【1-4】地域課題解決のための共創実践とオープンイノベーションを活性化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【1-4】地域課題解決のための共創実践とオープンイノベーションを活性化させる。 																

番号	法人名	変更内容																					
		変更前	変更案																				
		<p>世界を先導する地域産業の振興・創出に加え、地域の課題解決に向けた自治体・地域団体・企業・NPOと連携した協働の取組を拡充・実施して、持続可能な地方大学に求められる特徴的な産学共創システム（地域の独自性・強みに基づく産学官共創拠点）を構築し、共創実践とオープンイノベーションを活性化させる。</p> <p>そのための方策として、本学を核とした自治体・企業等と締結した協定、共創の場形成支援プログラムの実施及びバイオフィノベーション研究所の活動により形成してきたネットワークを基盤として、地域課題、社会ニーズを抽出し、その課題解決を本学の教育・研究成果の事業化、イノベーション創出により、実現する。また、新たな産業を生み出し、企業の新産業拠点設置や雇用促進を創出する仕組みを構築・推進する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-4-1】共同研究数・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 共同研究 1,470件 受託研究 958件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-4-2】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績（暫定）19社（令和2年度まで）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-4-3】大学発ベンチャー雇用創出数（雇用者数累計：150人以上）〔第4期中期目標期間最終年度〕 ※第3期実績（暫定）累計113人（令和2年度まで）</td> </tr> </table> <p>・【1-5】「魅力的な大学づくり」と「光関連産業の振興」、「医光融合研究の推進」を図り、「光」を目指して若者が集う徳島を目指す。</p> <p>徳島県では全国を上回る速度で急速に少子化、高齢化が進行し、次世代の担い手不足等の課題が深刻化している。こうした状況を打破するため、あらゆる光を駆使したポダレスフォトンクス研究（光・LED）と医光融合研究を推進するとともに、徳島県が定めた次世代の光が持つ可能性を活かし、新産業の創出と優れた研究開発の好循環を目指す「次世代LEDバレイ構想」の下、150社を超える光関連企業が集積している本県の強みを生かし、ポストLEDフォトンクス研究所を中核として、次世代LEDの研究や、それを用いた医療・農業等、様々な応用分野でグローバルに競争力を有する拠点を構築する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-5-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）22件（令和2年度まで）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-5-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の特許出願数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）11件（令和2年度まで）</td> </tr> </table> <p>・【2-1】SDGs等の社会的要求度の高い産業課題・地域課題解決のため、本学での教育研究により生み出された知的資産を活用し、社会実装を進める。</p> <p>研究成果の中から潜在的価値を見極め、中期的な視点により基本特許となる出願を促進するとともに、国内外の企業やベンチャーをはじめ、幅広いチャネルを活用した技術移転活動を促進するため、本学の知的財産活用戦略で定めた5つの地域戦略を核として、積極的に研究成果の社会還元を進める。</p> <p>さらに、徳島大学発ベンチャー支援を目的として設</p>	評価指標	【1-4-1】共同研究数・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 共同研究 1,470件 受託研究 958件	評価指標	【1-4-2】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績（暫定）19社（令和2年度まで）	評価指標	【1-4-3】大学発ベンチャー雇用創出数（雇用者数累計：150人以上）〔第4期中期目標期間最終年度〕 ※第3期実績（暫定）累計113人（令和2年度まで）	評価指標	【1-5-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）22件（令和2年度まで）	評価指標	【1-5-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の特許出願数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）11件（令和2年度まで）	<p>世界を先導する地域産業の振興・創出に加え、地域の課題解決に向けた自治体・地域団体・企業・NPOと連携した協働の取組を拡充・実施して、持続可能な地方大学に求められる特徴的な産学共創システム（地域の独自性・強みに基づく産学官共創拠点）を構築し、共創実践とオープンイノベーションを活性化させる。</p> <p>そのための方策として、本学を核とした自治体・企業等と締結した協定、共創の場形成支援プログラムの実施及びバイオフィノベーション研究所の活動により形成してきたネットワークを基盤として、地域課題、社会ニーズを抽出し、その課題解決を本学の教育・研究成果の事業化、イノベーション創出により、実現する。また、新たな産業を生み出し、企業の新産業拠点設置や雇用促進を創出する仕組みを構築・推進する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-4-1】共同研究数・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 共同研究 1,775件 受託研究 1,159件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-4-2】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績 23社</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-4-3】大学発ベンチャー雇用創出数（雇用者数累計：150人以上）〔第4期中期目標期間最終年度〕 ※第3期実績累計113人</td> </tr> </table> <p>・【1-5】「魅力的な大学づくり」と「光関連産業の振興」、「医光融合研究の推進」を図り、「光」を目指して若者が集う徳島を目指す。</p> <p>徳島県では全国を上回る速度で急速に少子化、高齢化が進行し、次世代の担い手不足等の課題が深刻化している。こうした状況を打破するため、あらゆる光を駆使したポダレスフォトンクス研究（光・LED）と医光融合研究を推進するとともに、徳島県が定めた次世代の光が持つ可能性を活かし、新産業の創出と優れた研究開発の好循環を目指す「次世代LEDバレイ構想」の下、150社を超える光関連企業が集積している本県の強みを生かし、ポストLEDフォトンクス研究所を中核として、次世代LEDの研究や、それを用いた医療・農業等、様々な応用分野でグローバルに競争力を有する拠点を構築する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-5-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 31件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【1-5-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の特許出願数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 17件</td> </tr> </table> <p>・【2-1】SDGs等の社会的要求度の高い産業課題・地域課題解決のため、本学での教育研究により生み出された知的資産を活用し、社会実装を進める。</p> <p>研究成果の中から潜在的価値を見極め、中期的な視点により基本特許となる出願を促進するとともに、国内外の企業やベンチャーをはじめ、幅広いチャネルを活用した技術移転活動を促進するため、本学の知的財産活用戦略で定めた5つの地域戦略を核として、積極的に研究成果の社会還元を進める。</p> <p>さらに、徳島大学発ベンチャー支援を目的として</p>	評価指標	【1-4-1】共同研究数・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 共同研究 1,775件 受託研究 1,159件	評価指標	【1-4-2】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績 23社	評価指標	【1-4-3】大学発ベンチャー雇用創出数（雇用者数累計：150人以上）〔第4期中期目標期間最終年度〕 ※第3期実績累計113人	評価指標	【1-5-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 31件	評価指標	【1-5-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の特許出願数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 17件
評価指標	【1-4-1】共同研究数・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 共同研究 1,470件 受託研究 958件																						
評価指標	【1-4-2】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績（暫定）19社（令和2年度まで）																						
評価指標	【1-4-3】大学発ベンチャー雇用創出数（雇用者数累計：150人以上）〔第4期中期目標期間最終年度〕 ※第3期実績（暫定）累計113人（令和2年度まで）																						
評価指標	【1-5-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）22件（令和2年度まで）																						
評価指標	【1-5-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の特許出願数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）11件（令和2年度まで）																						
評価指標	【1-4-1】共同研究数・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 共同研究 1,775件 受託研究 1,159件																						
評価指標	【1-4-2】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績 23社																						
評価指標	【1-4-3】大学発ベンチャー雇用創出数（雇用者数累計：150人以上）〔第4期中期目標期間最終年度〕 ※第3期実績累計113人																						
評価指標	【1-5-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 31件																						
評価指標	【1-5-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の特許出願数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 17件																						

番号	法人名	変更内容																					
		変更前	変更案																				
		<p>立された(株)産学連携キャピタルを活用し、人的・財政的投資とハンズオン支援を得ながら新産業を創出する好循環システムを確立する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【2-1-1】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）336,717千円（令和2年度まで）</td> </tr> </table> <p>・【5-2】イノベーション教育、アントレプレナーシップ教育を充実し、新しい価値を創造し、社会の課題を解決する力を身に付けた人材を養成する。</p> <p>第3期中期目標期間において進めてきたイノベーション教育、アントレプレナーシップ教育の教育プログラムや実施体制を検証し、学内の連携体制を強化するとともに外部の専門家と協力し、デザイン思考をはじめとする新しい価値を提供するための素養を身に付けるためのイノベーション教育と、新しい価値を実現するためのアントレプレナーシップ教育を充実させる。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【5-2-1】国内外のデザイン思考を用いたアイデアコンペやビジネスプランコンテスト等（デザイン思考コンテスト等）の入賞数（延べ50件）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）延べ25件（令和2年度まで）</td> </tr> </table> <p>・【7-1】徳島大学のグローバル化に資する新組織の構築とグローバル人材の育成</p> <p>大学間学術交流協定の締結、卒業・修了後のネットワークの充実、学生への多様な海外経験の機会の提供等を担う新組織を構築し、学生の海外留学、外国人留学生の受入やオンラインを活用した学術交流協定校との教育プログラム等を充実する。特に研究・教育水準において世界最高水準を誇るイスラエルを代表するテクニオン（イスラエル工科大学）との学術交流及び共同研究等の連携を推進するテクニオン連携室と協同し、教育力・研究力の向上と若手研究者（大学院生を含む。）の交流を実施する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【7-1-1】学生の海外派遣者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間236人を基準とする ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） H28 147人、H29 191人、H30 206人、R1 236人、R2 69人</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【7-1-2】外国人留学生の受入数（年間300人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間304人を基準とする ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） H28 211人、H29 266人、H30 267人、R1 304人、R2 230人</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【7-1-3】学内におけるグローバル関連プログラムの教育・研究プログラム参加者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※令和2年度実績第3期最高水準 年間240人を基準とする（令和元年度より集計開始） ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） R1 240人、R2 122人</td> </tr> </table>	評価指標	【2-1-1】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）336,717千円（令和2年度まで）	評価指標	【5-2-1】国内外のデザイン思考を用いたアイデアコンペやビジネスプランコンテスト等（デザイン思考コンテスト等）の入賞数（延べ50件）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）延べ25件（令和2年度まで）	評価指標	【7-1-1】学生の海外派遣者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間236人を基準とする ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） H28 147人、H29 191人、H30 206人、R1 236人、R2 69人	評価指標	【7-1-2】外国人留学生の受入数（年間300人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間304人を基準とする ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） H28 211人、H29 266人、H30 267人、R1 304人、R2 230人	評価指標	【7-1-3】学内におけるグローバル関連プログラムの教育・研究プログラム参加者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※令和2年度実績第3期最高水準 年間240人を基準とする（令和元年度より集計開始） ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） R1 240人、R2 122人	<p>設立された(株)産学連携キャピタルを活用し、人的・財政的投資とハンズオン支援を得ながら新産業を創出する好循環システムを確立する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【2-1-1】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 381,886千円</td> </tr> </table> <p>・【5-2】イノベーション教育、アントレプレナーシップ教育を充実し、新しい価値を創造し、社会の課題を解決する力を身に付けた人材を養成する。</p> <p>第3期中期目標期間において進めてきたイノベーション教育、アントレプレナーシップ教育の教育プログラムや実施体制を検証し、学内の連携体制を強化するとともに外部の専門家と協力し、デザイン思考をはじめとする新しい価値を提供するための素養を身に付けるためのイノベーション教育と、新しい価値を実現するためのアントレプレナーシップ教育を充実させる。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【5-2-1】国内外のデザイン思考を用いたアイデアコンペやビジネスプランコンテスト等（デザイン思考コンテスト等）の入賞数（延べ50件）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 延べ36件</td> </tr> </table> <p>・【7-1】徳島大学のグローバル化に資する新組織の構築とグローバル人材の育成</p> <p>大学間学術交流協定の締結、卒業・修了後のネットワークの充実、学生への多様な海外経験の機会の提供等を担う新組織を構築し、学生の海外留学、外国人留学生の受入やオンラインを活用した学術交流協定校との教育プログラム等を充実する。特に研究・教育水準において世界最高水準を誇るイスラエルを代表するテクニオン（イスラエル工科大学）との学術交流及び共同研究等の連携を推進するテクニオン連携室と協同し、教育力・研究力の向上と若手研究者（大学院生を含む。）の交流を実施する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【7-1-1】学生の海外派遣者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間236人を基準とする</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【7-1-2】外国人留学生の受入数（年間300人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間304人を基準とする</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【7-1-3】学内におけるグローバル関連プログラムの教育・研究プログラム参加者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期最高水準 年間240人を基準とする</td> </tr> </table>	評価指標	【2-1-1】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 381,886千円	評価指標	【5-2-1】国内外のデザイン思考を用いたアイデアコンペやビジネスプランコンテスト等（デザイン思考コンテスト等）の入賞数（延べ50件）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 延べ36件	評価指標	【7-1-1】学生の海外派遣者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間236人を基準とする	評価指標	【7-1-2】外国人留学生の受入数（年間300人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間304人を基準とする	評価指標	【7-1-3】学内におけるグローバル関連プログラムの教育・研究プログラム参加者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期最高水準 年間240人を基準とする
評価指標	【2-1-1】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）336,717千円（令和2年度まで）																						
評価指標	【5-2-1】国内外のデザイン思考を用いたアイデアコンペやビジネスプランコンテスト等（デザイン思考コンテスト等）の入賞数（延べ50件）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）延べ25件（令和2年度まで）																						
評価指標	【7-1-1】学生の海外派遣者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間236人を基準とする ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） H28 147人、H29 191人、H30 206人、R1 236人、R2 69人																						
評価指標	【7-1-2】外国人留学生の受入数（年間300人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間304人を基準とする ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） H28 211人、H29 266人、H30 267人、R1 304人、R2 230人																						
評価指標	【7-1-3】学内におけるグローバル関連プログラムの教育・研究プログラム参加者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※令和2年度実績第3期最高水準 年間240人を基準とする（令和元年度より集計開始） ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） R1 240人、R2 122人																						
評価指標	【2-1-1】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 381,886千円																						
評価指標	【5-2-1】国内外のデザイン思考を用いたアイデアコンペやビジネスプランコンテスト等（デザイン思考コンテスト等）の入賞数（延べ50件）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 延べ36件																						
評価指標	【7-1-1】学生の海外派遣者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間236人を基準とする																						
評価指標	【7-1-2】外国人留学生の受入数（年間300人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※オンライン留学を含む ※第3期最高水準 年間304人を基準とする																						
評価指標	【7-1-3】学内におけるグローバル関連プログラムの教育・研究プログラム参加者数（年間240人）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期最高水準 年間240人を基準とする																						

番号	法人名	変更内容																													
		変更前	変更案																												
		<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 【8-1】新領域を切り拓く最先端基礎研究と、萌芽・独創的研究の戦略的推進 新領域を切り拓く最先端基礎研究を推進するため、大型の競争的資金獲得・成果創出に向け、URA等による重点支援を図るとともに、分野を越えた研究者集団による研究クラスター等により、チーム研究を推進する。 また、次の研究シーズを創出する萌芽・独創的研究や、継承・発展すべき研究を戦略的に進めるため、獲得した外部資金等を更なる研究資源として研究クラスター制度の充実を図る。 <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【8-1-1】常勤研究者の科研費保有率（第3期同等実績）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）平均保有率47%（令和2年度まで）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【8-1-2】国際学術論文（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） Nature index <u>150報</u> Cite Score 上位1% <u>60報</u></td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【8-1-3】研究クラスター制度で支援をした競争的資金5千万以上の研究者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）26名（令和2年度まで）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【8-1-4】研究者の研究エフォートの向上のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）URA 14人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【9-1】産官学連携研究や起業を目指す研究の推進によるSDGs達成へ貢献及びイノベーション創出 人類共通の課題解決や新たな社会的価値を創造・イノベーション創出を目指す研究、地域、企業の課題解決を図る研究等を推進するため、多様なステークホルダーとの連携により、大学の研究開発力の向上並びに民間企業等への技術移転を図る。 また、URA等による重点支援によりファンディング機関、民間企業等から外部資金を獲得し、チーム研究を推進し、新産業創出・起業に向け、知財創出やスタートアップの戦略的支援等を行う。 <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【9-1-1】共同研究・受託研究件数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 共同研究 <u>1,470件</u> 受託研究 <u>958件</u> ※再掲【1-4-1】</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【9-1-2】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）336,717千円（令和2年度まで） ※再掲【2-1-1】</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【9-1-3】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績（暫定）19社（令和2年度まで） ※再掲【1-4-2】</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【9-2】「魅力的な大学づくり」と「光関連産業の振興」、「医光融合研究の推進」を図り、「光」を目指して若者が集う徳島を目指す。〔再掲【1-5】〕 	評価指標	【8-1-1】常勤研究者の科研費保有率（第3期同等実績）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）平均保有率47%（令和2年度まで）	評価指標	【8-1-2】国際学術論文（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） Nature index <u>150報</u> Cite Score 上位1% <u>60報</u>	評価指標	【8-1-3】研究クラスター制度で支援をした競争的資金5千万以上の研究者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）26名（令和2年度まで）	評価指標	【8-1-4】研究者の研究エフォートの向上のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）URA 14人	評価指標	【9-1-1】共同研究・受託研究件数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 共同研究 <u>1,470件</u> 受託研究 <u>958件</u> ※再掲【1-4-1】	評価指標	【9-1-2】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）336,717千円（令和2年度まで） ※再掲【2-1-1】	評価指標	【9-1-3】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績（暫定）19社（令和2年度まで） ※再掲【1-4-2】	<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 【8-1】新領域を切り拓く最先端基礎研究と、萌芽・独創的研究の戦略的推進 新領域を切り拓く最先端基礎研究を推進するため、大型の競争的資金獲得・成果創出に向け、URA等による重点支援を図るとともに、分野を越えた研究者集団による研究クラスター等により、チーム研究を推進する。 また、次の研究シーズを創出する萌芽・独創的研究や、継承・発展すべき研究を戦略的に進めるため、獲得した外部資金等を更なる研究資源として研究クラスター制度の充実を図る。 <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【8-1-1】常勤研究者の科研費保有率（第3期同等実績）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績平均保有率48%</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【8-1-2】国際学術論文（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 Nature index <u>219報</u> Cite Score 上位1% <u>82報</u></td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【8-1-3】研究クラスター制度で支援をした競争的資金5千万以上の研究者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績<u>32名</u></td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【8-1-4】研究者の研究エフォートの向上のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績URA 14人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【9-1】産官学連携研究や起業を目指す研究の推進によるSDGs達成へ貢献及びイノベーション創出 人類共通の課題解決や新たな社会的価値を創造・イノベーション創出を目指す研究、地域、企業の課題解決を図る研究等を推進するため、多様なステークホルダーとの連携により、大学の研究開発力の向上並びに民間企業等への技術移転を図る。 また、URA等による重点支援によりファンディング機関、民間企業等から外部資金を獲得し、チーム研究を推進し、新産業創出・起業に向け、知財創出やスタートアップの戦略的支援等を行う。 <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【9-1-1】共同研究・受託研究件数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 共同研究 <u>1,775件</u> 受託研究 <u>1,159件</u> ※再掲【1-4-1】</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【9-1-2】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 <u>381,886千円</u> ※再掲【2-1-1】</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【9-1-3】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績 <u>23社</u> ※再掲【1-4-2】</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【9-2】「魅力的な大学づくり」と「光関連産業の振興」、「医光融合研究の推進」を図り、「光」を目指して若者が集う徳島を目指す。〔再掲【1-5】〕 	評価指標	【8-1-1】常勤研究者の科研費保有率（第3期同等実績）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績平均保有率48%	評価指標	【8-1-2】国際学術論文（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 Nature index <u>219報</u> Cite Score 上位1% <u>82報</u>	評価指標	【8-1-3】研究クラスター制度で支援をした競争的資金5千万以上の研究者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 <u>32名</u>	評価指標	【8-1-4】研究者の研究エフォートの向上のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績URA 14人	評価指標	【9-1-1】共同研究・受託研究件数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 共同研究 <u>1,775件</u> 受託研究 <u>1,159件</u> ※再掲【1-4-1】	評価指標	【9-1-2】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 <u>381,886千円</u> ※再掲【2-1-1】	評価指標	【9-1-3】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績 <u>23社</u> ※再掲【1-4-2】
評価指標	【8-1-1】常勤研究者の科研費保有率（第3期同等実績）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）平均保有率47%（令和2年度まで）																														
評価指標	【8-1-2】国際学術論文（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） Nature index <u>150報</u> Cite Score 上位1% <u>60報</u>																														
評価指標	【8-1-3】研究クラスター制度で支援をした競争的資金5千万以上の研究者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）26名（令和2年度まで）																														
評価指標	【8-1-4】研究者の研究エフォートの向上のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）URA 14人																														
評価指標	【9-1-1】共同研究・受託研究件数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 共同研究 <u>1,470件</u> 受託研究 <u>958件</u> ※再掲【1-4-1】																														
評価指標	【9-1-2】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）336,717千円（令和2年度まで） ※再掲【2-1-1】																														
評価指標	【9-1-3】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績（暫定）19社（令和2年度まで） ※再掲【1-4-2】																														
評価指標	【8-1-1】常勤研究者の科研費保有率（第3期同等実績）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績平均保有率48%																														
評価指標	【8-1-2】国際学術論文（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 Nature index <u>219報</u> Cite Score 上位1% <u>82報</u>																														
評価指標	【8-1-3】研究クラスター制度で支援をした競争的資金5千万以上の研究者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 <u>32名</u>																														
評価指標	【8-1-4】研究者の研究エフォートの向上のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績URA 14人																														
評価指標	【9-1-1】共同研究・受託研究件数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 共同研究 <u>1,775件</u> 受託研究 <u>1,159件</u> ※再掲【1-4-1】																														
評価指標	【9-1-2】知的財産収入（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 <u>381,886千円</u> ※再掲【2-1-1】																														
評価指標	【9-1-3】大学発ベンチャー企業創出数（年1社以上） ※第3期実績 <u>23社</u> ※再掲【1-4-2】																														

番号	法人名	変更内容													
		変更前	変更案												
		<p>徳島県では全国を上回る速度で急速に少子化、高齢化が進行し、次世代の担い手不足等の課題が深刻化している。こうした状況を打破するため、あらゆる光を駆使したボーダレスフォトニクス研究（光・LED）と医光融合研究を推進するとともに、徳島県が定めた次世代の光が持つ可能性を活かし、新産業の創出と優れた研究開発人材の好循環を目指す「次世代LEDバレイ構想」の下、150社を超える光関連企業が集積している本県の強みを生かし、ポストLEDフォトニクス研究所を中核として、次世代LEDの研究や、それを生かした医療・農業等、様々な応用分野でグローバルに競争力を有する拠点を構築する。</p>	<p>徳島県では全国を上回る速度で急速に少子化、高齢化が進行し、次世代の担い手不足等の課題が深刻化している。こうした状況を打破するため、あらゆる光を駆使したボーダレスフォトニクス研究（光・LED）と医光融合研究を推進するとともに、徳島県が定めた次世代の光が持つ可能性を活かし、新産業の創出と優れた研究開発人材の好循環を目指す「次世代LEDバレイ構想」の下、150社を超える光関連企業が集積している本県の強みを生かし、ポストLEDフォトニクス研究所を中核として、次世代LEDの研究や、それを生かした医療・農業等、様々な応用分野でグローバルに競争力を有する拠点を構築する。</p>												
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【9-2-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）22件（令和2年度まで） ※再掲【1-5-1】</p> </td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【9-2-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の国際学術論文ファーストオーサー論文数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）24報（令和2年度まで）</p> </td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【9-2-3】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の推進のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 URA 14人</p> </td> </tr> </table>	評価指標	<p>【9-2-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）22件（令和2年度まで） ※再掲【1-5-1】</p>	評価指標	<p>【9-2-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の国際学術論文ファーストオーサー論文数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）24報（令和2年度まで）</p>	評価指標	<p>【9-2-3】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の推進のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 URA 14人</p>	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【9-2-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 31件 ※再掲【1-5-1】</p> </td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【9-2-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の国際学術論文ファーストオーサー論文数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績24報/年</p> </td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【9-2-3】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の推進のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 URA 14人</p> </td> </tr> </table>	評価指標	<p>【9-2-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 31件 ※再掲【1-5-1】</p>	評価指標	<p>【9-2-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の国際学術論文ファーストオーサー論文数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績24報/年</p>	評価指標	<p>【9-2-3】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の推進のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 URA 14人</p>
評価指標	<p>【9-2-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）22件（令和2年度まで） ※再掲【1-5-1】</p>														
評価指標	<p>【9-2-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の国際学術論文ファーストオーサー論文数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）24報（令和2年度まで）</p>														
評価指標	<p>【9-2-3】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の推進のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 URA 14人</p>														
評価指標	<p>【9-2-1】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の共同研究・受託研究数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 31件 ※再掲【1-5-1】</p>														
評価指標	<p>【9-2-2】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の国際学術論文ファーストオーサー論文数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績24報/年</p>														
評価指標	<p>【9-2-3】光工学、医光融合研究等光に関連する研究分野の推進のための研究支援体制の充実 URA数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 URA 14人</p>														
		<p>・【10-1】地域や地元企業の抱える課題から研究シーズを抽出し、専門性を越えて活躍する若手研究者や、萌芽・独創的研究、新領域を切り拓く若手研究者の育成</p> <p>専門性を深めるとともに、企業、地域の課題に直接触れる機会や企業との協働研究等への参画を通じて専門性を越えて活躍する若手研究者を育成するとともに、競争的資金獲得、成果創出を重点的に支援し、萌芽・独創的研究、新領域を切り拓く若手研究者を育成する。</p> <p>また、博士課程学生の奨学金やTA・RA制度の充実など、インセンティブの拡大を図るとともに、産業界や地域社会とも連携してキャリアパスの開拓、流動性の向上、外部資金の活用による若手研究者の自立的・安定的なポストの確保など、若手研究者が自らの希望や適性に応じて活躍する場を創出する。</p>	<p>・【10-1】地域や地元企業の抱える課題から研究シーズを抽出し、専門性を越えて活躍する若手研究者や、萌芽・独創的研究、新領域を切り拓く若手研究者の育成</p> <p>専門性を深めるとともに、企業、地域の課題に直接触れる機会や企業との協働研究等への参画を通じて専門性を越えて活躍する若手研究者を育成するとともに、競争的資金獲得、成果創出を重点的に支援し、萌芽・独創的研究、新領域を切り拓く若手研究者を育成する。</p> <p>また、博士課程学生の奨学金やTA・RA制度の充実など、インセンティブの拡大を図るとともに、産業界や地域社会とも連携してキャリアパスの開拓、流動性の向上、外部資金の活用による若手研究者の自立的・安定的なポストの確保など、若手研究者が自らの希望や適性に応じて活躍する場を創出する。</p>												
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【10-1-1】若手研究者スタートアップ支援制度（若手研究者表彰制度）、T3（徳島大学テニユアトラック教員育成支援制度）の拡充（表彰制度採択件数及びT3採用人数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 表彰制度採択件数 27件 T3採用人数 13人</p> </td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【10-1-2】博士課程学生への経済的支援制度（ゆめ奨学金、フェローシップ制度等）の拡充（経済的支援制度の利用者数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） ゆめ奨学金 241人 フェローシップ 8人</p> </td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【10-1-3】博士課程学生の専門性を活かした分野への就職率</p> </td> </tr> </table>	評価指標	<p>【10-1-1】若手研究者スタートアップ支援制度（若手研究者表彰制度）、T3（徳島大学テニユアトラック教員育成支援制度）の拡充（表彰制度採択件数及びT3採用人数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 表彰制度採択件数 27件 T3採用人数 13人</p>	評価指標	<p>【10-1-2】博士課程学生への経済的支援制度（ゆめ奨学金、フェローシップ制度等）の拡充（経済的支援制度の利用者数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） ゆめ奨学金 241人 フェローシップ 8人</p>	評価指標	<p>【10-1-3】博士課程学生の専門性を活かした分野への就職率</p>	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【10-1-1】若手研究者スタートアップ支援制度（若手研究者表彰制度）、T3（徳島大学テニユアトラック教員育成支援制度）の拡充（表彰制度採択件数及びT3採用人数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 表彰制度採択件数 32件 T3採用人数 14人</p> </td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【10-1-2】博士課程学生への経済的支援制度（ゆめ奨学金、フェローシップ制度等）の拡充（経済的支援制度の利用者数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 ゆめ奨学金 315人 フェローシップ 32人</p> </td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td> <p>【10-1-3】博士課程学生の専門性を活かした分野への就職率</p> </td> </tr> </table>	評価指標	<p>【10-1-1】若手研究者スタートアップ支援制度（若手研究者表彰制度）、T3（徳島大学テニユアトラック教員育成支援制度）の拡充（表彰制度採択件数及びT3採用人数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 表彰制度採択件数 32件 T3採用人数 14人</p>	評価指標	<p>【10-1-2】博士課程学生への経済的支援制度（ゆめ奨学金、フェローシップ制度等）の拡充（経済的支援制度の利用者数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 ゆめ奨学金 315人 フェローシップ 32人</p>	評価指標	<p>【10-1-3】博士課程学生の専門性を活かした分野への就職率</p>
評価指標	<p>【10-1-1】若手研究者スタートアップ支援制度（若手研究者表彰制度）、T3（徳島大学テニユアトラック教員育成支援制度）の拡充（表彰制度採択件数及びT3採用人数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 表彰制度採択件数 27件 T3採用人数 13人</p>														
評価指標	<p>【10-1-2】博士課程学生への経済的支援制度（ゆめ奨学金、フェローシップ制度等）の拡充（経済的支援制度の利用者数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） ゆめ奨学金 241人 フェローシップ 8人</p>														
評価指標	<p>【10-1-3】博士課程学生の専門性を活かした分野への就職率</p>														
評価指標	<p>【10-1-1】若手研究者スタートアップ支援制度（若手研究者表彰制度）、T3（徳島大学テニユアトラック教員育成支援制度）の拡充（表彰制度採択件数及びT3採用人数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 表彰制度採択件数 32件 T3採用人数 14人</p>														
評価指標	<p>【10-1-2】博士課程学生への経済的支援制度（ゆめ奨学金、フェローシップ制度等）の拡充（経済的支援制度の利用者数を第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 ゆめ奨学金 315人 フェローシップ 32人</p>														
評価指標	<p>【10-1-3】博士課程学生の専門性を活かした分野への就職率</p>														

番号	法人名	変更内容																
		変更前	変更案															
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>(第3期同等実績)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績(暫定)97%(令和2年度までの平均値)</td> </tr> </table>		(第3期同等実績)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績(暫定)97%(令和2年度までの平均値)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>(第3期同等実績)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 98%</td> </tr> </table>		(第3期同等実績)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 98%											
	(第3期同等実績)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績(暫定)97%(令和2年度までの平均値)																	
	(第3期同等実績)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 98%																	
	<p>4 その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 【11-1】海外大学を含む他大学、他研究機関のそれぞれの研究領域、人的、施設設備等の強みを相互補完し、共同利用・共同研究、協働研究等を通じ、単独ではなし得なかった発展的な成果を創出する。 本学の独創的な新興・融合分野の研究推進の核となる、先端酵素学研究所(全国共同利用・共同研究拠点認定)をはじめとした各研究所の研究インフラを高度化するとともに、学内連携にとどまらず国内外の大学や研究機関、産業界等との組織的な連携や個々の大学の枠を越えた共同利用・共同研究等を推進し、国内外におけるプレゼンスを向上させる。 また、本学の産学連携基盤を基軸として、自治体や地域企業など多様なステークホルダー参加型の産学共創拠点を形成し、SDGsに基づく将来のあるべき社会像の実現に向け、研究開発を推進する。 	<p>4 その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項に関する目標を達成するための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 【11-1】海外大学を含む他大学、他研究機関のそれぞれの研究領域、人的、施設設備等の強みを相互補完し、共同利用・共同研究、協働研究等を通じ、単独ではなし得なかった発展的な成果を創出する。 本学の独創的な新興・融合分野の研究推進の核となる、先端酵素学研究所(全国共同利用・共同研究拠点認定)をはじめとした各研究所の研究インフラを高度化するとともに、学内連携にとどまらず国内外の大学や研究機関、産業界等との組織的な連携や個々の大学の枠を越えた共同利用・共同研究等を推進し、国内外におけるプレゼンスを向上させる。 また、本学の産学連携基盤を基軸として、自治体や地域企業など多様なステークホルダー参加型の産学共創拠点を形成し、SDGsに基づく将来のあるべき社会像の実現に向け、研究開発を推進する。 																
	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【11-1-1】共同利用・共同研究件数(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)157件(令和2年度まで)</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【11-1-2】研究設備・機器の共用化率(500万円以上)(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 共用化率55%</td> </tr> </table>	評価指標	【11-1-1】共同利用・共同研究件数(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)157件(令和2年度まで)	評価指標	【11-1-2】研究設備・機器の共用化率(500万円以上)(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 共用化率55%	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【11-1-1】共同利用・共同研究件数(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績225件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【11-1-2】研究設備・機器の共用化率(500万円以上)(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 共用化率55%</td> </tr> </table>	評価指標	【11-1-1】共同利用・共同研究件数(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績225件	評価指標	【11-1-2】研究設備・機器の共用化率(500万円以上)(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 共用化率55%								
評価指標	【11-1-1】共同利用・共同研究件数(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)157件(令和2年度まで)																	
評価指標	【11-1-2】研究設備・機器の共用化率(500万円以上)(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 共用化率55%																	
評価指標	【11-1-1】共同利用・共同研究件数(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績225件																	
評価指標	【11-1-2】研究設備・機器の共用化率(500万円以上)(第3期実績以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 共用化率55%																	
	<ul style="list-style-type: none"> 【12-1】安心・安全な高度先端医療の提供と開発 徳島大学病院は県内唯一の特定機能病院として、ロボット手術、ハイブリッド手術、カテーテル手術を積極的に導入し、低侵襲かつ高精度の医療を実施している。また、臨床研究・治験の実施を通して、新たな診断法・治療法の開発に取り組んでいる。第4期中期目標期間においても、これらの取り組みを推進し、安心・安全な高度先端医療を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【12-1】安心・安全な高度先端医療の提供と開発 徳島大学病院は県内唯一の特定機能病院として、ロボット手術、ハイブリッド手術、カテーテル手術を積極的に導入し、低侵襲かつ高精度の医療を実施している。また、臨床研究・治験の実施を通して、新たな診断法・治療法の開発に取り組んでいる。第4期中期目標期間においても、これらの取り組みを推進し、安心・安全な高度先端医療を提供する。 																
	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-1-1】低侵襲医療の実施症例件数(2,800件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※過去最高実績となる令和2年度実績 400件を基準とし、約15%増を目標とする</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-1-2】特定臨床研究及び治験実施件数(延べ500件以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)約80件/年(令和2年度まで)</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-1-3】査読のある雑誌に掲載された英語論文数(2,000件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※附属病院関係を対象とし、共著を含む ※第3期実績(暫定)約330件/年(令和2年度まで)</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-1-4】新規に導入した内視鏡・画像診断技術の項目数(9件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)9件(令和2年度まで)</td> </tr> </table>	評価指標	【12-1-1】低侵襲医療の実施症例件数(2,800件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※過去最高実績となる令和2年度実績 400件を基準とし、約15%増を目標とする	評価指標	【12-1-2】特定臨床研究及び治験実施件数(延べ500件以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)約80件/年(令和2年度まで)	評価指標	【12-1-3】査読のある雑誌に掲載された英語論文数(2,000件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※附属病院関係を対象とし、共著を含む ※第3期実績(暫定)約330件/年(令和2年度まで)	評価指標	【12-1-4】新規に導入した内視鏡・画像診断技術の項目数(9件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)9件(令和2年度まで)	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-1-1】低侵襲医療の実施症例件数(2,800件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※過去最高実績となる令和2年度実績 400件を基準とし、約15%増を目標とする</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-1-2】特定臨床研究及び治験実施件数(延べ500件以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績約83件/年</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-1-3】査読のある雑誌に掲載された英語論文数(2,000件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※附属病院関係を対象とし、共著を含む ※第3期実績約355件/年</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-1-4】新規に導入した内視鏡・画像診断技術の項目数(9件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績9件</td> </tr> </table>	評価指標	【12-1-1】低侵襲医療の実施症例件数(2,800件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※過去最高実績となる令和2年度実績 400件を基準とし、約15%増を目標とする	評価指標	【12-1-2】特定臨床研究及び治験実施件数(延べ500件以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績約83件/年	評価指標	【12-1-3】査読のある雑誌に掲載された英語論文数(2,000件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※附属病院関係を対象とし、共著を含む ※第3期実績約355件/年	評価指標	【12-1-4】新規に導入した内視鏡・画像診断技術の項目数(9件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績9件
評価指標	【12-1-1】低侵襲医療の実施症例件数(2,800件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※過去最高実績となる令和2年度実績 400件を基準とし、約15%増を目標とする																	
評価指標	【12-1-2】特定臨床研究及び治験実施件数(延べ500件以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)約80件/年(令和2年度まで)																	
評価指標	【12-1-3】査読のある雑誌に掲載された英語論文数(2,000件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※附属病院関係を対象とし、共著を含む ※第3期実績(暫定)約330件/年(令和2年度まで)																	
評価指標	【12-1-4】新規に導入した内視鏡・画像診断技術の項目数(9件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)9件(令和2年度まで)																	
評価指標	【12-1-1】低侵襲医療の実施症例件数(2,800件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※過去最高実績となる令和2年度実績 400件を基準とし、約15%増を目標とする																	
評価指標	【12-1-2】特定臨床研究及び治験実施件数(延べ500件以上)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績約83件/年																	
評価指標	【12-1-3】査読のある雑誌に掲載された英語論文数(2,000件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※附属病院関係を対象とし、共著を含む ※第3期実績約355件/年																	
評価指標	【12-1-4】新規に導入した内視鏡・画像診断技術の項目数(9件)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績9件																	
	<ul style="list-style-type: none"> 【12-2】高度医療人の育成 県内唯一の特定機能病院として、高度医療に関する研修を通して専門医・指導医を育成するとともに、看護部・薬剤部・医療技術部においても高度専門技能者 	<ul style="list-style-type: none"> 【12-2】高度医療人の育成 県内唯一の特定機能病院として、高度医療に関する研修を通して専門医・指導医を育成するとともに、看護部・薬剤部・医療技術部においても高度専 																

番号	法人名	変更内容																																	
		変更前	変更案																																
		<p>の養成を進める。特に徳島大学病院の特徴であるトレーニングプログラムの積極的活用を通じた人材育成を推進する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-2-1】新規専門医・指導医の取得者数(400人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)(令和2年度まで)の約60人/年を基準とし、10%増を目標とする。</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-2-2】低侵襲トレーニングプログラム修了者数(延べ1,200人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近3カ年(平成30年度～令和2年度)実績の約175人/年を基準とし、15%増を目標とする。</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-2-3】高度専門技能者の養成(各種認定制度による養成者数)(延べ60人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近実績(令和2年度)10人を基準とする。</td> </tr> </table> <p>・【12-3】地域医療及び健康危機管理拠点としての機能強化 社会に開かれた病院として地域貢献を行うため、地域の特性や医療需要を踏まえ、ICT(Information and Communication Technology)等を活用した地域ネットワークによる連携事業と院内の診療科横断的連携の強化により、地域医療及び健康危機管理拠点としての基盤整備及び人材育成を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-1】医師会・自治体との連携事業(医師会・自治体等が行う事業へ参画する項目数)(延べ41件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績(暫定)28件(令和2年度まで)</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-2】拠点病院としての診療科横断的な医科・歯科連携による活動実績(診療科横断的な医科・歯科連携の取組み項目数)(延べ10件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 5件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-3】隣接する徳島県立中央病院との協定に基づく「総合メディカルゾーン」を活用した連携事業(延べ15件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 12件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-4】ICT等を利用した遠隔診断実績(実施項目数:7件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 4件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-5】地域枠医師の配置数(500人以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人 ※再掲【1-3-4】</td> </tr> </table> <p>・【16-2】多様なメディアによる積極的な情報発信により、多くのステークホルダーから理解と支持を得る。 支持者層や年齢層に応じた多様なメディアにより大学の特色や活動を積極的に情報発信するとともに、双方向の対話の機会を設けるなど、ステークホルダーからの理解と支持を高める。</p>	評価指標	【12-2-1】新規専門医・指導医の取得者数(400人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)(令和2年度まで)の約60人/年を基準とし、10%増を目標とする。	評価指標	【12-2-2】低侵襲トレーニングプログラム修了者数(延べ1,200人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近3カ年(平成30年度～令和2年度)実績の約175人/年を基準とし、15%増を目標とする。	評価指標	【12-2-3】高度専門技能者の養成(各種認定制度による養成者数)(延べ60人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近実績(令和2年度)10人を基準とする。	評価指標	【12-3-1】医師会・自治体との連携事業(医師会・自治体等が行う事業へ参画する項目数)(延べ41件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績(暫定)28件(令和2年度まで)	評価指標	【12-3-2】拠点病院としての診療科横断的な医科・歯科連携による活動実績(診療科横断的な医科・歯科連携の取組み項目数)(延べ10件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 5件	評価指標	【12-3-3】隣接する徳島県立中央病院との協定に基づく「総合メディカルゾーン」を活用した連携事業(延べ15件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 12件	評価指標	【12-3-4】ICT等を利用した遠隔診断実績(実施項目数:7件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 4件	評価指標	【12-3-5】地域枠医師の配置数(500人以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人 ※再掲【1-3-4】	<p>門技能者の養成を進める。特に徳島大学病院の特徴であるトレーニングプログラムの積極的活用を通じた人材育成を推進する。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-2-1】新規専門医・指導医の取得者数(400人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績約60人/年を基準とし、10%増を目標とする。</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-2-2】低侵襲トレーニングプログラム修了者数(延べ1,200人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近3カ年(平成30年度～令和2年度)実績の約175人/年を基準とし、15%増を目標とする。</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-2-3】高度専門技能者の養成(各種認定制度による養成者数)(延べ60人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近実績(令和2年度)10人を基準とする。</td> </tr> </table> <p>・【12-3】地域医療及び健康危機管理拠点としての機能強化 社会に開かれた病院として地域貢献を行うため、地域の特性や医療需要を踏まえ、ICT(Information and Communication Technology)等を活用した地域ネットワークによる連携事業と院内の診療科横断的連携の強化により、地域医療及び健康危機管理拠点としての基盤整備及び人材育成を行う。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-1】医師会・自治体との連携事業(医師会・自治体等が行う事業へ参画する項目数)(延べ41件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 33件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-2】拠点病院としての診療科横断的な医科・歯科連携による活動実績(診療科横断的な医科・歯科連携の取組み項目数)(延べ10件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 5件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-3】隣接する徳島県立中央病院との協定に基づく「総合メディカルゾーン」を活用した連携事業(延べ15件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 12件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-4】ICT等を利用した遠隔診断実績(実施項目数:7件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 4件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【12-3-5】地域枠医師の配置数(500人以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人 ※再掲【1-3-4】</td> </tr> </table> <p>・【16-2】多様なメディアによる積極的な情報発信により、多くのステークホルダーから理解と支持を得る。 支持者層や年齢層に応じた多様なメディアにより大学の特色や活動を積極的に情報発信するとともに、双方向の対話の機会を設けるなど、ステークホルダーからの理解と支持を高める。</p>	評価指標	【12-2-1】新規専門医・指導医の取得者数(400人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績約60人/年を基準とし、10%増を目標とする。	評価指標	【12-2-2】低侵襲トレーニングプログラム修了者数(延べ1,200人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近3カ年(平成30年度～令和2年度)実績の約175人/年を基準とし、15%増を目標とする。	評価指標	【12-2-3】高度専門技能者の養成(各種認定制度による養成者数)(延べ60人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近実績(令和2年度)10人を基準とする。	評価指標	【12-3-1】医師会・自治体との連携事業(医師会・自治体等が行う事業へ参画する項目数)(延べ41件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 33件	評価指標	【12-3-2】拠点病院としての診療科横断的な医科・歯科連携による活動実績(診療科横断的な医科・歯科連携の取組み項目数)(延べ10件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 5件	評価指標	【12-3-3】隣接する徳島県立中央病院との協定に基づく「総合メディカルゾーン」を活用した連携事業(延べ15件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 12件	評価指標	【12-3-4】ICT等を利用した遠隔診断実績(実施項目数:7件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 4件	評価指標	【12-3-5】地域枠医師の配置数(500人以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人 ※再掲【1-3-4】
評価指標	【12-2-1】新規専門医・指導医の取得者数(400人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績(暫定)(令和2年度まで)の約60人/年を基準とし、10%増を目標とする。																																		
評価指標	【12-2-2】低侵襲トレーニングプログラム修了者数(延べ1,200人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近3カ年(平成30年度～令和2年度)実績の約175人/年を基準とし、15%増を目標とする。																																		
評価指標	【12-2-3】高度専門技能者の養成(各種認定制度による養成者数)(延べ60人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近実績(令和2年度)10人を基準とする。																																		
評価指標	【12-3-1】医師会・自治体との連携事業(医師会・自治体等が行う事業へ参画する項目数)(延べ41件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績(暫定)28件(令和2年度まで)																																		
評価指標	【12-3-2】拠点病院としての診療科横断的な医科・歯科連携による活動実績(診療科横断的な医科・歯科連携の取組み項目数)(延べ10件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 5件																																		
評価指標	【12-3-3】隣接する徳島県立中央病院との協定に基づく「総合メディカルゾーン」を活用した連携事業(延べ15件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 12件																																		
評価指標	【12-3-4】ICT等を利用した遠隔診断実績(実施項目数:7件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 4件																																		
評価指標	【12-3-5】地域枠医師の配置数(500人以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人 ※再掲【1-3-4】																																		
評価指標	【12-2-1】新規専門医・指導医の取得者数(400人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績約60人/年を基準とし、10%増を目標とする。																																		
評価指標	【12-2-2】低侵襲トレーニングプログラム修了者数(延べ1,200人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近3カ年(平成30年度～令和2年度)実績の約175人/年を基準とし、15%増を目標とする。																																		
評価指標	【12-2-3】高度専門技能者の養成(各種認定制度による養成者数)(延べ60人)〔第4期中期目標期間中累計〕 ※直近実績(令和2年度)10人を基準とする。																																		
評価指標	【12-3-1】医師会・自治体との連携事業(医師会・自治体等が行う事業へ参画する項目数)(延べ41件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 33件																																		
評価指標	【12-3-2】拠点病院としての診療科横断的な医科・歯科連携による活動実績(診療科横断的な医科・歯科連携の取組み項目数)(延べ10件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 5件																																		
評価指標	【12-3-3】隣接する徳島県立中央病院との協定に基づく「総合メディカルゾーン」を活用した連携事業(延べ15件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 12件																																		
評価指標	【12-3-4】ICT等を利用した遠隔診断実績(実施項目数:7件)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 4件																																		
評価指標	【12-3-5】地域枠医師の配置数(500人以上)〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※地域医療機関における業務従事期間の医師のみを計上 ※第3期実績 延べ252人 ※再掲【1-3-4】																																		

番号	法人名	変更内容																													
		変更前	変更案																												
		<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【16-2-1】SNSフォロワー数（第3期終了時に比して10%超）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）1,460件（令和4年1月現在）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【16-2-2】ホームページ閲覧等数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）約1千5百60万件（平成28年4月～令和4年1月まで）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【16-2-3】取材発信、メディア掲載数（第3期終了年度の令和3年度実績に比して3%超）〔第4期中期目標期間中 最終年度〕 ※第3期実績（令和3年度暫定）824件（令和3年4月～令和4年1月）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【16-2-4】シンポジウム等開催件数及び総参加者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 開催件数 89回 参加者数 10,271人</td> </tr> </table> <p>V その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 【17-1】デジタル技術の活用による業務の最適化及び効率化 様々な業務作業に伴う現場担当者の負担軽減を図るべく、電子申請化及びRPA等の自動化・電子化によりDXを推進する。また、サービス向上の一方策として窓口業務（対面相談）のオンライン化についても推進する。 <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【17-1-1】電子申請化及びRPA等による自動化・電子化業務数（50件以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）25件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【17-1-2】学生窓口業務のオンライン化推進状況（学生用オンライン窓口を10ヶ所以上開設）〔第4期中期目標期間中累計〕</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【17-2】情報セキュリティの維持・向上 業務継続性を図るためのファイルサーバ環境並びにテレワーク用クライアント環境を整備する。 大学としての情報セキュリティ維持・向上を図るため、セキュリティ監査（技術的な脆弱性調査、組織的な情報セキュリティ監査）と個人毎の自己点検と教育・訓練を定期的（年1回以上）に実施する。 <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【17-2-1】脆弱性指標における高リスク項目を調査時点で全体の16%以内に抑制〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※第3期実績（暫定）平均値（約11%）に毎年度変動分を5%として16%以内と設定する</td> </tr> </table>	評価指標	【16-2-1】SNSフォロワー数（第3期終了時に比して10%超）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）1,460件（令和4年1月現在）	評価指標	【16-2-2】ホームページ閲覧等数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）約1千5百60万件（平成28年4月～令和4年1月まで）	評価指標	【16-2-3】取材発信、メディア掲載数（第3期終了年度の令和3年度実績に比して3%超）〔第4期中期目標期間中 最終年度〕 ※第3期実績（令和3年度暫定）824件（令和3年4月～令和4年1月）	評価指標	【16-2-4】シンポジウム等開催件数及び総参加者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 開催件数 89回 参加者数 10,271人	評価指標	【17-1-1】電子申請化及びRPA等による自動化・電子化業務数（50件以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）25件	評価指標	【17-1-2】学生窓口業務のオンライン化推進状況（学生用オンライン窓口を10ヶ所以上開設）〔第4期中期目標期間中累計〕	評価指標	【17-2-1】脆弱性指標における高リスク項目を調査時点で全体の16%以内に抑制〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※第3期実績（暫定）平均値（約11%）に毎年度変動分を5%として16%以内と設定する	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【16-2-1】SNSフォロワー数（第3期終了時に比して10%超）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 1,873件（令和4年3月末）</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【16-2-2】ホームページ閲覧等数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 約1千6百4十万件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【16-2-3】取材発信、メディア掲載数（第3期終了年度の令和3年度実績に比して3%超）〔第4期中期目標期間中 最終年度〕 ※第3期実績（令和3年度）965件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【16-2-4】シンポジウム等開催件数及び総参加者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 開催件数 110回 参加者数 11,850人</td> </tr> </table> <p>V その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 【17-1】デジタル技術の活用による業務の最適化及び効率化 様々な業務作業に伴う現場担当者の負担軽減を図るべく、電子申請化及びRPA等の自動化・電子化によりDXを推進する。また、サービス向上の一方策として窓口業務（対面相談）のオンライン化についても推進する。 <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【17-1-1】電子申請化及びRPA等による自動化・電子化業務数（50件以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 26件</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td>【17-1-2】学生窓口業務のオンライン化推進状況（学生用オンライン窓口を10ヶ所以上開設）〔第4期中期目標期間中累計〕</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 【17-2】情報セキュリティの維持・向上 業務継続性を図るためのファイルサーバ環境並びにテレワーク用クライアント環境を整備する。 大学としての情報セキュリティ維持・向上を図るため、セキュリティ監査（技術的な脆弱性調査、組織的な情報セキュリティ監査）と個人毎の自己点検と教育・訓練を定期的（年1回以上）に実施する。 <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>【17-2-1】脆弱性指標における高リスク項目を調査時点で全体の16%以内に抑制〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※第3期実績平均値（約11%）に毎年度変動分を5%として16%以内と設定する</td> </tr> </table>	評価指標	【16-2-1】SNSフォロワー数（第3期終了時に比して10%超）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 1,873件（令和4年3月末）	評価指標	【16-2-2】ホームページ閲覧等数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 約1千6百4十万件	評価指標	【16-2-3】取材発信、メディア掲載数（第3期終了年度の令和3年度実績に比して3%超）〔第4期中期目標期間中 最終年度〕 ※第3期実績（令和3年度）965件	評価指標	【16-2-4】シンポジウム等開催件数及び総参加者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 開催件数 110回 参加者数 11,850人	評価指標	【17-1-1】電子申請化及びRPA等による自動化・電子化業務数（50件以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 26件	評価指標	【17-1-2】学生窓口業務のオンライン化推進状況（学生用オンライン窓口を10ヶ所以上開設）〔第4期中期目標期間中累計〕	評価指標	【17-2-1】脆弱性指標における高リスク項目を調査時点で全体の16%以内に抑制〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※第3期実績平均値（約11%）に毎年度変動分を5%として16%以内と設定する
評価指標	【16-2-1】SNSフォロワー数（第3期終了時に比して10%超）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績（暫定）1,460件（令和4年1月現在）																														
評価指標	【16-2-2】ホームページ閲覧等数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）約1千5百60万件（平成28年4月～令和4年1月まで）																														
評価指標	【16-2-3】取材発信、メディア掲載数（第3期終了年度の令和3年度実績に比して3%超）〔第4期中期目標期間中 最終年度〕 ※第3期実績（令和3年度暫定）824件（令和3年4月～令和4年1月）																														
評価指標	【16-2-4】シンポジウム等開催件数及び総参加者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）（令和2年度まで） 開催件数 89回 参加者数 10,271人																														
評価指標	【17-1-1】電子申請化及びRPA等による自動化・電子化業務数（50件以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績（暫定）25件																														
評価指標	【17-1-2】学生窓口業務のオンライン化推進状況（学生用オンライン窓口を10ヶ所以上開設）〔第4期中期目標期間中累計〕																														
評価指標	【17-2-1】脆弱性指標における高リスク項目を調査時点で全体の16%以内に抑制〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※第3期実績（暫定）平均値（約11%）に毎年度変動分を5%として16%以内と設定する																														
評価指標	【16-2-1】SNSフォロワー数（第3期終了時に比して10%超）〔第4期中期目標期間 最終年度〕 ※第3期実績 1,873件（令和4年3月末）																														
評価指標	【16-2-2】ホームページ閲覧等数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 約1千6百4十万件																														
評価指標	【16-2-3】取材発信、メディア掲載数（第3期終了年度の令和3年度実績に比して3%超）〔第4期中期目標期間中 最終年度〕 ※第3期実績（令和3年度）965件																														
評価指標	【16-2-4】シンポジウム等開催件数及び総参加者数（第3期実績以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 開催件数 110回 参加者数 11,850人																														
評価指標	【17-1-1】電子申請化及びRPA等による自動化・電子化業務数（50件以上）〔第4期中期目標期間中累計〕 ※第3期実績 26件																														
評価指標	【17-1-2】学生窓口業務のオンライン化推進状況（学生用オンライン窓口を10ヶ所以上開設）〔第4期中期目標期間中累計〕																														
評価指標	【17-2-1】脆弱性指標における高リスク項目を調査時点で全体の16%以内に抑制〔第4期中期目標期間中 毎年度〕 ※第3期実績平均値（約11%）に毎年度変動分を5%として16%以内と設定する																														

番号	法人名	変更内容	
		変更前	変更案
69	香川大学	<p>2 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>3-2 地域マネジメント研究科においては、地域・社会課題を素材とした実践型教育プログラムを充実させて、幅広く社会人大学院生を受け入れ、広域的な人材交流や修了生の活動を促進するエコシステムの創造を通して、キャリアアップだけでなく、起業、新規事業、キャリアチェンジを含む柔軟なキャリア形成を実現し、地域活性化に貢献する高度専門職業人を育成する。</p>	<p>2 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>3-2 地域マネジメント研究科においては、地域・社会課題を素材とした実践型教育プログラムを充実させて、幅広く社会人大学院生を受け入れ、広域的な人材交流や修了生の活動を促進するエコシステムの創造を通して、キャリアアップだけでなく、起業、新規事業、キャリアチェンジを含む柔軟なキャリア形成を実現し、地域活性化に貢献する高度専門職業人を育成する。</p>
		<p>評価指標</p> <p>a. 新規開設等した授業科目数や教育プログラム数、実践的なテーマのプロジェクト研究数（第4期の総数を第3期実績（新規開講等授業科目数27、新規開設教育プログラム数41、実践的テーマのプロジェクト研究数3）と比べて増加）</p> <p>b. 新規開設等した授業科目や教育プログラムの受講者数、連携協力企業・行政等の組織数（第4期の総数を第3期実績（新規開講等授業科目の受講者数363、新規開設教育プログラムの受講者数960、教育プログラムの連携組織数54）</p> <p>c. 修了生の取組に対する支援の数、修了生による講義数（第4期の総数を第3期実績（修了生の取組に対する支援数50、修了生による講義数7）と比べて増加）</p> <p>d. 実現した新規事業、起業、組織間連携による事業、地域活性化に資するビジネス・事業・部門部署で活躍する修了生の総件数（第4期の総数を第3期実績（新規事業、起業、組織間連携による事業、地域活性化に資するビジネス・事業・部門部署で活躍する修了生の総件数12）と比べて増加）</p> <p>e. 幅広く社会人大学院生を受け入れ、広域的な人材交流を進めるため、令和4年度に修了生、外部組織との関係構築を行い「広域人材交流計画」を策定する。令和5年度には広域人材交流計画遂行のための資金調達、人員確保等の準備作業を行う。令和6年度には広域人材交流試行プログラムを作成する。令和7年度からは、プログラムを試行し、点検・改善を行う。</p>	<p>評価指標</p> <p>a. 新規開設等した授業科目数や教育プログラム数、実践的なテーマのプロジェクト研究数（第4期の総数を第3期実績（新規開講等授業科目数27、新規開設教育プログラム数30、実践的テーマのプロジェクト研究数3）と比べて増加）</p> <p>b. 新規開設等した授業科目や教育プログラムの受講者数、連携協力企業・行政等の組織数（第4期の総数を第3期実績（新規開講等授業科目の受講者数363、新規開設教育プログラムの受講者数978、教育プログラムの連携組織数48）</p> <p>c. 修了生の取組に対する支援の数、修了生による講義数（第4期の総数を第3期実績（修了生の取組に対する支援数50、修了生による講義数9）と比べて増加）</p> <p>d. 実現した新規事業、起業、組織間連携による事業、地域活性化に資するビジネス・事業・部門部署で活躍する修了生の総件数（第4期の総数を第3期実績（新規事業、起業、組織間連携による事業、地域活性化に資するビジネス・事業・部門部署で活躍する修了生の総件数12）と比べて増加）</p> <p>e. 幅広く社会人大学院生を受け入れ、広域的な人材交流を進めるため、令和4年度に修了生、外部組織との関係構築を行い「広域人材交流計画」を策定する。令和5年度には広域人材交流計画遂行のための資金調達、人員確保等の準備作業を行う。令和6年度には広域人材交流試行プログラムを作成する。令和7年度からは、プログラムを試行し、点検・改善を行う。</p>
		<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>1-1 希少糖、微細構造デバイス、次世代通信・環境を支えるマテリアル・システム等、独創性が高く、先導的に展開している研究を、重点研究として定め、卓越性をさらに高める。</p>	<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>1-1 希少糖、微細構造デバイス、次世代通信・環境を支えるマテリアル・システム等、独創性が高く、先導的に展開している研究を、重点研究として定め、卓越性をさらに高める。</p>
<p>評価指標</p> <p>a. 重点研究の査読付き論文数（第4期の平均を第3期平均と比べて10%増加）</p> <p>b. 知的財産（研究成果有体物（マテリアル）を含む）の実施許諾等収入に係る契約件数（第4期の平均を第3期平均と比べて10%増加）</p> <p>c. 招待講演数（第4期の平均を第3期平均と比べて10%増加）</p>	<p>評価指標</p> <p>a. 重点研究の査読付き論文数（第4期の平均を第3期平均47.2件と比べて10%増加）</p> <p>b. 知的財産（研究成果有体物（マテリアル）を含む）の実施許諾等収入に係る契約件数（第4期の平均を第3期平均13.2件と比べて10%増加）</p> <p>c. 招待講演数（第4期の平均を第3期平均18.7件と比べて10%増加）</p>		
<p>1-2 地域コミュニティの回復力強化（社会的レジリエンス）、瀬戸内圏の環境・資源、包括的健康イノベーションの創出、資源ゲノム、MaaS（Mobility as a</p>	<p>1-2 地域コミュニティの回復力強化（社会的レジリエンス）、瀬戸内圏の環境・資源、包括的健康イノベーションの創出、資源ゲノム、MaaS（Mobility as a</p>		

番号	法人名	変更内容	
		変更前	変更案
		Service)等、継続的なデータ収集に基づく特色ある研究などの、地域社会の課題の解決や資源の持続的な活用に資する研究を推進する。	Service)等、継続的なデータ収集に基づく特色ある研究などの、地域社会の課題の解決や資源の持続的な活用に資する研究を推進する。
		<p>評価指標</p> <p>a. 地域社会を対象とした研究の査読付き論文数（第4期の平均を第3期平均と比べて10%増加）</p> <p>b. 継続的に収集したデータに基づく学術的成果（査読付き論文、書籍等）の数（第4期の平均を第3期平均と比べて10%増加）</p>	<p>評価指標</p> <p>a. 地域社会を対象とした研究の査読付き論文数（第4期の平均を第3期平均67.2件と比べて10%増加）</p> <p>b. 継続的に収集したデータに基づく学術的成果（査読付き論文、書籍等）の数（第4期の平均を第3期平均22.3件と比べて10%増加）</p>
		<p>1-3 分散キャンパスにある研究資源の有効活用と研究の多様化を推進するため、デジタルONE戦略※に基づき、研究設備・機器の共用、研究者のマッチング、研究成果の発信等のシステムを構築し、研究機能を強化する。</p> <p>※デジタルONE戦略：4つの分散キャンパスからなる香川大学において、デジタルの力により「香川大学がひとつになる」ことであり、業務の効率化だけでなく、新たな価値創造に向けた考え方を示した戦略</p>	<p>1-3 分散キャンパスにある研究資源の有効活用と研究の多様化を推進するため、デジタルONE戦略※に基づき、研究設備・機器の共用、研究者のマッチング、研究成果の発信等のシステムを構築し、研究機能を強化する。</p> <p>※デジタルONE戦略：4つの分散キャンパスからなる香川大学において、デジタルの力により「香川大学がひとつになる」ことであり、業務の効率化だけでなく、新たな価値創造に向けた考え方を示した戦略</p>
		<p>評価指標</p> <p>a. 全学の機器共用ネットワークシステムに登録された研究設備・機器の件数（第4期の平均を第3期平均と比べて20%増加）</p> <p>b. マッチングシステムによる研究連携の実施数（第4期中に合計12件以上）</p>	<p>評価指標</p> <p>a. 全学の機器共用ネットワークシステムに登録された研究設備・機器の件数（第4期の平均を第3期平均74.8件と比べて20%増加）</p> <p>b. マッチングシステムによる研究連携の実施数（第4期中に合計12件以上）</p>
		<p>2-1 未来社会を想定したイノベーションの創出に向け、分野を超えた多様な研究者から構成される研究チームを編成し、産官学の連携によって、社会の課題解決や社会実装につながる研究開発を強化する。</p>	<p>2-1 未来社会を想定したイノベーションの創出に向け、分野を超えた多様な研究者から構成される研究チームを編成し、産官学の連携によって、社会の課題解決や社会実装につながる研究開発を強化する。</p>
		<p>評価指標</p> <p>a. 社会の課題解決や社会実装に係る分野横断型の研究チーム数（第4期の平均を第3期平均と比べて30%増加）</p> <p>b. 社会の課題解決や社会実装に係る分野横断型の共同研究・受託研究契約数（第4期の平均を第3期平均と比べて30%増加）</p>	<p>評価指標</p> <p>a. 社会の課題解決や社会実装に係る分野横断型の研究チーム数（第4期の平均を第3期平均6.5件と比べて30%増加）</p> <p>b. 社会の課題解決や社会実装に係る分野横断型の共同研究・受託研究契約数（第4期の平均を第3期平均3.3件と比べて30%増加）</p>
		<p>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1-1 安定した財務基盤の確立のため、外部資金等の受入れの拡大や保有資産の有効活用などによる財源の多元化を進める。</p>	<p>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1-1 安定した財務基盤の確立のため、外部資金等の受入れの拡大や保有資産の有効活用などによる財源の多元化を進める。</p>
		<p>評価指標</p> <p>a. 外部資金の獲得状況について、毎年度、外部の有識者から意見を聴取し、評価結果を公表する。</p> <p>b. 財産貸付料・手数料収入の増（令和9年度の実績を第3期平均と比べて20%以上増加）</p>	<p>評価指標</p> <p>a. 外部資金の獲得状況について、毎年度、外部の有識者から意見を聴取し、評価結果を公表する。</p> <p>b. 財産貸付料・手数料収入の増（令和9年度の実績を第3期平均57,682千円と比べて20%以上増加）</p>
		<p>1-2 学長のリーダーシップのもと、学長戦略経費を増加させることなどにより、機能強化や組織改革等の取組を戦略的かつ効果的に推進するための資源配分の仕組みを構築する。</p>	<p>1-2 学長のリーダーシップのもと、学長戦略経費を増加させることなどにより、機能強化や組織改革等の取組を戦略的かつ効果的に推進するための資源配分の仕組みを構築する。</p>
		<p>評価指標</p> <p>a. 学長戦略経費の増（令和9年度の実績を令和3年度実績と比べて30%以上増加）</p>	<p>評価指標</p> <p>a. 学長戦略経費の増（令和9年度の実績を令和3年度実績494百万円と比べて30%以上増加）</p>

・ 文言の訂正等その他の変更 4 法人

番号	法人名	変更内容		変更理由								
		変更前	変更案									
40	山梨大学	<p>20. 「諸学融合」を通じて学術研究・科学技術の発展に貢献するため、分野横断的融合研究及び関連した大学院特別教育プログラムについて、・・・(略)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> (1) 論文数を第3期比で増加させるための取組の実施(分野横断的融合研究関係のインパクトファクター付論文数: 10%増、国際共著論文数: 5%増、Top10%論文数: 5%増) (2) 外部評価委員会の設置及び意見の聴を行い(1回以上/年)、研究資源の傾斜配分を実施 </td> </tr> </table> <p>28. 収益性を重視しつつ病院収入を増加させ、経営の安定を図る中で、・・・(略)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> (1) 病院収入額の増加(令和3年度比40億円増/年)及び費用の抑制(医療費率: 40%未満/年) (略) </td> </tr> </table>	評価指標	(1) 論文数を第3期比で増加させるための取組の実施(分野横断的融合研究関係のインパクトファクター付論文数: 10%増、国際共著論文数: 5%増、Top10%論文数: 5%増) (2) 外部評価委員会の設置及び意見の聴を行い(1回以上/年)、研究資源の傾斜配分を実施	評価指標	(1) 病院収入額の増加(令和3年度比40億円増/年)及び費用の抑制(医療費率: 40%未満/年) (略)	<p>20. 「諸学融合」を通じて学術研究・科学技術の発展に貢献するため、分野横断的融合研究及び関連した大学院特別教育プログラムについて、・・・(略)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> (1) 論文数を第3期総数比で増加させるための取組の実施(分野横断的融合研究関係のインパクトファクター付論文数: 10%増、国際共著論文数: 5%増、Top10%論文数: 5%増) (2) 外部評価委員会の設置及び意見の聴取を行い(1回以上/年)、研究資源の傾斜配分を実施 </td> </tr> </table> <p>28. 収益性を重視しつつ病院収入を増加させ、経営の安定を図る中で、・・・(略)</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> (1) 病院収入額の増加(令和3年度比40億円増)及び費用の抑制(医療費率: 40%未満/年) (略) </td> </tr> </table>	評価指標	(1) 論文数を第3期総数比で増加させるための取組の実施(分野横断的融合研究関係のインパクトファクター付論文数: 10%増、国際共著論文数: 5%増、Top10%論文数: 5%増) (2) 外部評価委員会の設置及び意見の聴取を行い(1回以上/年)、研究資源の傾斜配分を実施	評価指標	(1) 病院収入額の増加(令和3年度比40億円増)及び費用の抑制(医療費率: 40%未満/年) (略)	<p>・ 他の指標には第3期の後に「総数(額)」や「平均」の記載しているところ、記載漏れがあったため修正するもの ・ 誤字の修正</p> <p>・ 令和3年度病院収入221億円から令和9年度に261億円を目指すという指標を策定したが、毎年40億円増と誤解を生じる恐れのある表記であるため修正するもの</p>
評価指標	(1) 論文数を第3期比で増加させるための取組の実施(分野横断的融合研究関係のインパクトファクター付論文数: 10%増、国際共著論文数: 5%増、Top10%論文数: 5%増) (2) 外部評価委員会の設置及び意見の聴を行い(1回以上/年)、研究資源の傾斜配分を実施											
評価指標	(1) 病院収入額の増加(令和3年度比40億円増/年)及び費用の抑制(医療費率: 40%未満/年) (略)											
評価指標	(1) 論文数を第3期総数比で増加させるための取組の実施(分野横断的融合研究関係のインパクトファクター付論文数: 10%増、国際共著論文数: 5%増、Top10%論文数: 5%増) (2) 外部評価委員会の設置及び意見の聴取を行い(1回以上/年)、研究資源の傾斜配分を実施											
評価指標	(1) 病院収入額の増加(令和3年度比40億円増)及び費用の抑制(医療費率: 40%未満/年) (略)											
49	三重大学	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 2 教育に関する目標を達成するための措置(9)-3 (略) 何らかの障がいや疾患に対して、気軽に相談できる場の提供やA T(支援機器)ライブラリーを充実させる(略)。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> ② 障がい学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障がい学生支援に係るセミナー(e-Learning、オンデマンド型等)を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成) </td> </tr> </table> <p>X その他 2. 人事に関する計画 ・ 教職員の人事について、性別・国際性・障がいの有無を問わず、(略)。</p>	評価指標	② 障がい学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障がい学生支援に係るセミナー(e-Learning、オンデマンド型等)を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 2 教育に関する目標を達成するための措置(9)-3 (略) 何らかの障害や疾患に対して、気軽に相談できる場の提供やA T(支援機器)ライブラリーを充実させる(略)。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td> ② 障害学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障害学生支援に係るセミナー(e-Learning、オンデマンド型等)を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成) </td> </tr> </table> <p>X その他 2. 人事に関する計画 ・ 教職員の人事について、性別・国際性・障害の有無を問わず、(略)。</p>	評価指標	② 障害学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障害学生支援に係るセミナー(e-Learning、オンデマンド型等)を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)	<p>・ 大学内での表記統一に伴い、「障がい」を「障害」に変更する。</p>				
評価指標	② 障がい学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障がい学生支援に係るセミナー(e-Learning、オンデマンド型等)を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)											
評価指標	② 障害学生への支援に対する教職員の理解度を高め、関係部署と連携をしていくため、障害学生支援に係るセミナー(e-Learning、オンデマンド型等)を実施し、教職員の参加率を80%以上とする。(第4期中期目標期間最終年度までに達成)											
79	宮崎大学	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 4 その他の社会との共創、教育、研究に関する重要事項に関する目標を達成するための措置</p> <p>【14】 効率的かつ過不足ない医療連携体制を構築し、医療従事者等の働き方改革を達成するとともに、安全に高度な医療を提供し得る病院運営の基盤強化を図る。</p> <p>【14-8】 (指標) 適正な入院期間及び効率的な病院運営(水準)後方病院を令和9年度までに124施設(令和2年度の宮崎県内の転院先施設)から拡充する。</p>	<p>I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 4 その他の社会との共創、教育、研究に関する重要事項に関する目標を達成するための措置</p> <p>【14】 効率的かつ過不足ない医療連携体制を構築し、医療従事者等の働き方改革を達成するとともに、安全に高度な医療を提供し得る病院運営の基盤強化を図る。</p> <p>【14-8】 (指標) 適正な入院期間及び効率的な病院運営(水準)後方病院を令和9年度までに124施設(令和2年度の宮崎県内の転院先施設の半数)へ拡充する。</p>	<p>・ 令和2年度現在の後方病院数は114施設であり、当該水準を設定する際、令和2年度における宮崎県内の一般、療養、有床診療所施設(248施設)の半数である124施設以上を令和9年度までに達成する目標値として設定していたが、誤解を招く記載であったためより適切な表現としたい。</p>								

番号	法人名	変更内容			変更理由																																																																																									
		変更前		変更案																																																																																										
91	東海国立大学機構	X その他 1. 施設・設備に関する計画		X その他 1. 施設・設備に関する計画		・長期借入金について、当初計画の設備整備予定額の計上漏れがあったため																																																																																								
		施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財源	施設・設備の内容		予定額 (百万円)	財源																																																																																						
		【岐阜大学】 ・小規模改修 【名古屋大学】 ・(鶴舞)ライフ・イノベーション先端研究教育拠点施設改修Ⅱ ・(東山)アカデミック・セントラル ・小規模改修	総額 3,784	施設整備費補助金 (3,196) (独)大学改革支援・学位授与機構施設費交付金(588)	【岐阜大学】 ・小規模改修 【名古屋大学】 ・(鶴舞)ライフ・イノベーション先端研究教育拠点施設改修Ⅱ ・(東山)アカデミック・セントラル ・小規模改修 ・大学病院設備整備		総額 5,021	施設整備費補助金 (3,196) (独)大学改革支援・学位授与機構施設費交付金(588) <u>長期借入金(1,237)</u>																																																																																						
		(注1)施設・設備の内容、金額については見込みであり、中期目標を達成するために必要な業務の実施状況等を勘案した施設・設備の整備や老朽度合等を勘案した施設・設備の改修等が追加されることもある。 (注2)小規模改修について令和4年度以降は令和3年度同額として試算している。 なお、各事業年度の施設整備費補助金、船舶建造費補助金、(独)大学改革支援・学位授与機構施設費交付金、長期借入金については、事業の進展等により所要額の変動が予想されるため、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程等において決定される。		(注1)施設・設備の内容、金額については見込みであり、中期目標を達成するために必要な業務の実施状況等を勘案した施設・設備の整備や老朽度合等を勘案した施設・設備の改修等が追加されることもある。 (注2)小規模改修について令和4年度以降は令和3年度同額として試算している。 なお、各事業年度の施設整備費補助金、船舶建造費補助金、(独)大学改革支援・学位授与機構施設費交付金、長期借入金については、事業の進展等により所要額の変動が予想されるため、具体的な額については、各事業年度の予算編成過程等において決定される。																																																																																										
	別紙 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画	別紙 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画																																																																																												
	1. 予算	1. 予算																																																																																												
	令和4年度～令和9年度 予算 (単位:百万円)	令和4年度～令和9年度 予算 (単位:百万円)																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運営費交付金</td> <td>242,387</td> </tr> <tr> <td>施設整備費補助金</td> <td>3,196</td> </tr> <tr> <td>船舶建造費補助金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>大学改革支援・学位授与機構施設費交付金</td> <td>588</td> </tr> <tr> <td>自己収入</td> <td>451,038</td> </tr> <tr> <td>授業料及び入学料検定料収入</td> <td>84,934</td> </tr> <tr> <td>附属病院収入</td> <td>353,876</td> </tr> <tr> <td>財産処分収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>12,228</td> </tr> <tr> <td>産学連携等研究収入及び寄附金収入等</td> <td>157,876</td> </tr> <tr> <td>長期借入金収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>855,085</u></td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td>661,234</td> </tr> <tr> <td>教育研究経費</td> <td>339,549</td> </tr> <tr> <td>診療経費</td> <td>321,685</td> </tr> <tr> <td>施設整備費</td> <td><u>3,784</u></td> </tr> <tr> <td>船舶建造費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>産学連携等研究経費及び寄附金事業費等</td> <td>157,876</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還金</td> <td>32,191</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>855,085</u></td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入		運営費交付金	242,387	施設整備費補助金	3,196	船舶建造費補助金	0	大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	588	自己収入	451,038	授業料及び入学料検定料収入	84,934	附属病院収入	353,876	財産処分収入	0	雑収入	12,228	産学連携等研究収入及び寄附金収入等	157,876	長期借入金収入	0	計	<u>855,085</u>	支出		業務費	661,234	教育研究経費	339,549	診療経費	321,685	施設整備費	<u>3,784</u>	船舶建造費	0	産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	157,876	長期借入金償還金	32,191	計	<u>855,085</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運営費交付金</td> <td>242,387</td> </tr> <tr> <td>施設整備費補助金</td> <td>3,196</td> </tr> <tr> <td>船舶建造費補助金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>大学改革支援・学位授与機構施設費交付金</td> <td>588</td> </tr> <tr> <td>自己収入</td> <td>451,038</td> </tr> <tr> <td>授業料及び入学料検定料収入</td> <td>84,934</td> </tr> <tr> <td>附属病院収入</td> <td>353,876</td> </tr> <tr> <td>財産処分収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>12,228</td> </tr> <tr> <td>産学連携等研究収入及び寄附金収入等</td> <td>157,876</td> </tr> <tr> <td>長期借入金収入</td> <td><u>1,237</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>856,322</u></td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td>661,234</td> </tr> <tr> <td>教育研究経費</td> <td>339,549</td> </tr> <tr> <td>診療経費</td> <td>321,685</td> </tr> <tr> <td>施設整備費</td> <td><u>5,021</u></td> </tr> <tr> <td>船舶建造費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>産学連携等研究経費及び寄附金事業費等</td> <td>157,876</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還金</td> <td>32,191</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>856,322</u></td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	収入		運営費交付金	242,387	施設整備費補助金	3,196	船舶建造費補助金	0	大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	588	自己収入	451,038	授業料及び入学料検定料収入	84,934	附属病院収入	353,876	財産処分収入	0	雑収入	12,228	産学連携等研究収入及び寄附金収入等	157,876	長期借入金収入	<u>1,237</u>	計	<u>856,322</u>	支出		業務費	661,234	教育研究経費	339,549	診療経費	321,685	施設整備費	<u>5,021</u>	船舶建造費	0	産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	157,876	長期借入金償還金	32,191	計	<u>856,322</u>
区分	金額																																																																																													
収入																																																																																														
運営費交付金	242,387																																																																																													
施設整備費補助金	3,196																																																																																													
船舶建造費補助金	0																																																																																													
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	588																																																																																													
自己収入	451,038																																																																																													
授業料及び入学料検定料収入	84,934																																																																																													
附属病院収入	353,876																																																																																													
財産処分収入	0																																																																																													
雑収入	12,228																																																																																													
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	157,876																																																																																													
長期借入金収入	0																																																																																													
計	<u>855,085</u>																																																																																													
支出																																																																																														
業務費	661,234																																																																																													
教育研究経費	339,549																																																																																													
診療経費	321,685																																																																																													
施設整備費	<u>3,784</u>																																																																																													
船舶建造費	0																																																																																													
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	157,876																																																																																													
長期借入金償還金	32,191																																																																																													
計	<u>855,085</u>																																																																																													
区分	金額																																																																																													
収入																																																																																														
運営費交付金	242,387																																																																																													
施設整備費補助金	3,196																																																																																													
船舶建造費補助金	0																																																																																													
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	588																																																																																													
自己収入	451,038																																																																																													
授業料及び入学料検定料収入	84,934																																																																																													
附属病院収入	353,876																																																																																													
財産処分収入	0																																																																																													
雑収入	12,228																																																																																													
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	157,876																																																																																													
長期借入金収入	<u>1,237</u>																																																																																													
計	<u>856,322</u>																																																																																													
支出																																																																																														
業務費	661,234																																																																																													
教育研究経費	339,549																																																																																													
診療経費	321,685																																																																																													
施設整備費	<u>5,021</u>																																																																																													
船舶建造費	0																																																																																													
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	157,876																																																																																													
長期借入金償還金	32,191																																																																																													
計	<u>856,322</u>																																																																																													

番号	法人名	変更内容		変更理由																																																																												
		変更前	変更案																																																																													
		3. 資金計画 令和4年度～令和9年度 資金計画 (単位：百万円)																																																																														
		3. 資金計画 令和4年度～令和9年度 資金計画 (単位：百万円)																																																																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金支出</td> <td>881,982</td> </tr> <tr> <td>業務活動による支出</td> <td>791,866</td> </tr> <tr> <td>投資活動による支出</td> <td>31,028</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>32,191</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>26,897</td> </tr> <tr> <td>資金収入</td> <td>881,982</td> </tr> <tr> <td>業務活動による収入</td> <td>851,301</td> </tr> <tr> <td>運営費交付金による収入</td> <td>242,387</td> </tr> <tr> <td>授業料及び 入学料検定料による収入</td> <td>84,934</td> </tr> <tr> <td>附属病院収入</td> <td>353,876</td> </tr> <tr> <td>受託研究等収入</td> <td>128,929</td> </tr> <tr> <td>寄附金収入</td> <td>28,947</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>12,228</td> </tr> <tr> <td>投資活動による収入</td> <td>3,784</td> </tr> <tr> <td>施設費による収入</td> <td>3,784</td> </tr> <tr> <td>その他による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前中期目標期間よりの繰越金</td> <td>26,897</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金支出	881,982	業務活動による支出	791,866	投資活動による支出	31,028	財務活動による支出	32,191	次期中期目標期間への繰越金	26,897	資金収入	881,982	業務活動による収入	851,301	運営費交付金による収入	242,387	授業料及び 入学料検定料による収入	84,934	附属病院収入	353,876	受託研究等収入	128,929	寄附金収入	28,947	その他の収入	12,228	投資活動による収入	3,784	施設費による収入	3,784	その他による収入	0	財務活動による収入	0	前中期目標期間よりの繰越金	26,897	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金支出</td> <td>883,219</td> </tr> <tr> <td>業務活動による支出</td> <td>791,866</td> </tr> <tr> <td>投資活動による支出</td> <td>32,265</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>32,191</td> </tr> <tr> <td>次期中期目標期間への繰越金</td> <td>26,897</td> </tr> <tr> <td>資金収入</td> <td>883,219</td> </tr> <tr> <td>業務活動による収入</td> <td>851,301</td> </tr> <tr> <td>運営費交付金による収入</td> <td>242,387</td> </tr> <tr> <td>授業料及び 入学料検定料による収入</td> <td>84,934</td> </tr> <tr> <td>附属病院収入</td> <td>353,876</td> </tr> <tr> <td>受託研究等収入</td> <td>128,929</td> </tr> <tr> <td>寄附金収入</td> <td>28,947</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>12,228</td> </tr> <tr> <td>投資活動による収入</td> <td>3,784</td> </tr> <tr> <td>施設費による収入</td> <td>3,784</td> </tr> <tr> <td>その他による収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>1,237</td> </tr> <tr> <td>前中期目標期間よりの繰越金</td> <td>26,897</td> </tr> </tbody> </table>	区分	金額	資金支出	883,219	業務活動による支出	791,866	投資活動による支出	32,265	財務活動による支出	32,191	次期中期目標期間への繰越金	26,897	資金収入	883,219	業務活動による収入	851,301	運営費交付金による収入	242,387	授業料及び 入学料検定料による収入	84,934	附属病院収入	353,876	受託研究等収入	128,929	寄附金収入	28,947	その他の収入	12,228	投資活動による収入	3,784	施設費による収入	3,784	その他による収入	0	財務活動による収入	1,237	前中期目標期間よりの繰越金	26,897	
区分	金額																																																																															
資金支出	881,982																																																																															
業務活動による支出	791,866																																																																															
投資活動による支出	31,028																																																																															
財務活動による支出	32,191																																																																															
次期中期目標期間への繰越金	26,897																																																																															
資金収入	881,982																																																																															
業務活動による収入	851,301																																																																															
運営費交付金による収入	242,387																																																																															
授業料及び 入学料検定料による収入	84,934																																																																															
附属病院収入	353,876																																																																															
受託研究等収入	128,929																																																																															
寄附金収入	28,947																																																																															
その他の収入	12,228																																																																															
投資活動による収入	3,784																																																																															
施設費による収入	3,784																																																																															
その他による収入	0																																																																															
財務活動による収入	0																																																																															
前中期目標期間よりの繰越金	26,897																																																																															
区分	金額																																																																															
資金支出	883,219																																																																															
業務活動による支出	791,866																																																																															
投資活動による支出	32,265																																																																															
財務活動による支出	32,191																																																																															
次期中期目標期間への繰越金	26,897																																																																															
資金収入	883,219																																																																															
業務活動による収入	851,301																																																																															
運営費交付金による収入	242,387																																																																															
授業料及び 入学料検定料による収入	84,934																																																																															
附属病院収入	353,876																																																																															
受託研究等収入	128,929																																																																															
寄附金収入	28,947																																																																															
その他の収入	12,228																																																																															
投資活動による収入	3,784																																																																															
施設費による収入	3,784																																																																															
その他による収入	0																																																																															
財務活動による収入	1,237																																																																															
前中期目標期間よりの繰越金	26,897																																																																															
		注) 施設費による収入には、独立行政法人大学 改革支援・学位授与機構における施設費交付 事業に係る交付金を含む。	注) 施設費による収入には、独立行政法人大学 改革支援・学位授与機構における施設費交付 事業に係る交付金を含む。																																																																													

<中期計画別表の変更>

○ 教育研究組織の設置等に伴う変更 42法人

・教育研究組織の設置・改組に伴う変更 39法人

法人番号	法人名	現行	変更案																																																																		
10	東北大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>文学部</td> <td>840人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>教育学部</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>法学部</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>経済学部</td> <td>1,080人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理学部</td> <td>1,296人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医学部</td> <td>1,217人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歯学部</td> <td>318人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>薬学部</td> <td>360人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工学部</td> <td>3,240人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農学部</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td>9,871人</td> </tr> </table>	学部	文学部	840人		教育学部	280人		法学部	640人		経済学部	1,080人		理学部	1,296人		医学部	1,217人		歯学部	318人		薬学部	360人		工学部	3,240人		農学部	600人	(収容定員の総数)		9,871人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>文学部</td> <td>840人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>教育学部</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>法学部</td> <td>640人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>経済学部</td> <td>1,080人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理学部</td> <td>1,296人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医学部</td> <td>1,228人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歯学部</td> <td>318人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>薬学部</td> <td>360人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工学部</td> <td>3,240人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農学部</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td>9,882人</td> </tr> </table>	学部	文学部	840人		教育学部	280人		法学部	640人		経済学部	1,080人		理学部	1,296人		医学部	1,228人		歯学部	318人		薬学部	360人		工学部	3,240人		農学部	600人	(収容定員の総数)		9,882人
		学部	文学部	840人																																																																	
	教育学部	280人																																																																			
	法学部	640人																																																																			
	経済学部	1,080人																																																																			
	理学部	1,296人																																																																			
	医学部	1,217人																																																																			
	歯学部	318人																																																																			
	薬学部	360人																																																																			
	工学部	3,240人																																																																			
	農学部	600人																																																																			
(収容定員の総数)		9,871人																																																																			
学部	文学部	840人																																																																			
	教育学部	280人																																																																			
	法学部	640人																																																																			
	経済学部	1,080人																																																																			
	理学部	1,296人																																																																			
	医学部	1,228人																																																																			
	歯学部	318人																																																																			
	薬学部	360人																																																																			
	工学部	3,240人																																																																			
	農学部	600人																																																																			
(収容定員の総数)		9,882人																																																																			
13	山形大学	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>人文社会科学部</td> <td>1,200人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域教育文化学部</td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理学部</td> <td>840人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医学部</td> <td>888人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工学部</td> <td>2,600人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農学部</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td>6,888人</td> </tr> </table>	学部	人文社会科学部	1,200人		地域教育文化学部	700人		理学部	840人		医学部	888人		工学部	2,600人		農学部	660人	(収容定員の総数)		6,888人	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>人文社会科学部</td> <td>1,200人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域教育文化学部</td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理学部</td> <td>840人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医学部</td> <td>896人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工学部</td> <td>2,600人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農学部</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td>6,896人</td> </tr> </table>	学部	人文社会科学部	1,200人		地域教育文化学部	700人		理学部	840人		医学部	896人		工学部	2,600人		農学部	660人	(収容定員の総数)		6,896人																								
		学部	人文社会科学部	1,200人																																																																	
	地域教育文化学部	700人																																																																			
	理学部	840人																																																																			
	医学部	888人																																																																			
	工学部	2,600人																																																																			
	農学部	660人																																																																			
(収容定員の総数)		6,888人																																																																			
学部	人文社会科学部	1,200人																																																																			
	地域教育文化学部	700人																																																																			
	理学部	840人																																																																			
	医学部	896人																																																																			
	工学部	2,600人																																																																			
	農学部	660人																																																																			
(収容定員の総数)		6,896人																																																																			
14	福島大学	研究科等 <table border="1"> <tr> <td>社会文化創造研究科</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>医学系研究科</td> <td>169人</td> </tr> <tr> <td>理工学研究科</td> <td>577人</td> </tr> <tr> <td>有機材料システム研究科</td> <td>226人</td> </tr> <tr> <td>農学研究科</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>教育実践研究科</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">修士課程・博士前期課程</td> <td>866人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">博士後期課程</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一貫制博士課程</td> <td>104人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門職学位課程</td> <td>40人</td> </tr> </table>	社会文化創造研究科	48人	医学系研究科	169人	理工学研究科	577人	有機材料システム研究科	226人	農学研究科	64人	教育実践研究科	40人	(収容定員の総数)			修士課程・博士前期課程		866人	博士後期課程		114人	一貫制博士課程		104人	専門職学位課程		40人	研究科等 <table border="1"> <tr> <td>社会文化創造研究科</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>医学系研究科</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>理工学研究科</td> <td>577人</td> </tr> <tr> <td>有機材料システム研究科</td> <td>226人</td> </tr> <tr> <td>農学研究科</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>教育実践研究科</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">修士課程・博士前期課程</td> <td>866人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">博士後期課程</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一貫制博士課程</td> <td>104人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門職学位課程</td> <td>40人</td> </tr> </table>	社会文化創造研究科	48人	医学系研究科	157人	理工学研究科	577人	有機材料システム研究科	226人	農学研究科	76人	教育実践研究科	40人	(収容定員の総数)			修士課程・博士前期課程		866人	博士後期課程		114人	一貫制博士課程		104人	専門職学位課程		40人												
		社会文化創造研究科	48人																																																																		
医学系研究科	169人																																																																				
理工学研究科	577人																																																																				
有機材料システム研究科	226人																																																																				
農学研究科	64人																																																																				
教育実践研究科	40人																																																																				
(収容定員の総数)																																																																					
修士課程・博士前期課程		866人																																																																			
博士後期課程		114人																																																																			
一貫制博士課程		104人																																																																			
専門職学位課程		40人																																																																			
社会文化創造研究科	48人																																																																				
医学系研究科	157人																																																																				
理工学研究科	577人																																																																				
有機材料システム研究科	226人																																																																				
農学研究科	76人																																																																				
教育実践研究科	40人																																																																				
(収容定員の総数)																																																																					
修士課程・博士前期課程		866人																																																																			
博士後期課程		114人																																																																			
一貫制博士課程		104人																																																																			
専門職学位課程		40人																																																																			
16	筑波大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <th>学部</th> <th>(略)</th> <th></th> </tr> <tr> <td rowspan="10">研究科等</td> <td>人間発達文化研究科</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>地域政策科学研究科</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>経済学研究科</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>共生システム理工学研究科</td> <td>138人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">修士課程・博士前期課程</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">博士後期課程</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門職学位課程</td> <td>32人</td> </tr> </table>	学部	(略)		研究科等	人間発達文化研究科	80人	地域政策科学研究科	40人	経済学研究科	44人	共生システム理工学研究科	138人	(収容定員の総数)			修士課程・博士前期課程		252人	博士後期課程		18人	専門職学位課程		32人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <th>学部</th> <th>(略)</th> <th></th> </tr> <tr> <td rowspan="10">研究科等</td> <td>人間発達文化研究科</td> <td>0人 (R5募集停止)</td> </tr> <tr> <td>地域政策科学研究科</td> <td>0人 (R5募集停止)</td> </tr> <tr> <td>経済学研究科</td> <td>0人 (R5募集停止)</td> </tr> <tr> <td>地域デザイン科学研究科</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>共生システム理工学研究科</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>食農科学研究科</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>教職実践研究科</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">修士課程・博士前期課程</td> <td>214人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">博士後期課程</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門職学位課程</td> <td>24人</td> </tr> </table>	学部	(略)		研究科等	人間発達文化研究科	0人 (R5募集停止)	地域政策科学研究科	0人 (R5募集停止)	経済学研究科	0人 (R5募集停止)	地域デザイン科学研究科	84人	共生システム理工学研究科	108人	食農科学研究科	40人	教職実践研究科	24人	(収容定員の総数)			修士課程・博士前期課程		214人	博士後期課程		18人	専門職学位課程		24人												
		学部	(略)																																																																		
研究科等	人間発達文化研究科	80人																																																																			
	地域政策科学研究科	40人																																																																			
	経済学研究科	44人																																																																			
	共生システム理工学研究科	138人																																																																			
	(収容定員の総数)																																																																				
	修士課程・博士前期課程		252人																																																																		
	博士後期課程		18人																																																																		
	専門職学位課程		32人																																																																		
	学部	(略)																																																																			
	研究科等	人間発達文化研究科	0人 (R5募集停止)																																																																		
地域政策科学研究科		0人 (R5募集停止)																																																																			
経済学研究科		0人 (R5募集停止)																																																																			
地域デザイン科学研究科		84人																																																																			
共生システム理工学研究科		108人																																																																			
食農科学研究科		40人																																																																			
教職実践研究科		24人																																																																			
(収容定員の総数)																																																																					
修士課程・博士前期課程		214人																																																																			
博士後期課程		18人																																																																			
専門職学位課程		24人																																																																			
16	筑波大学	別表1 学群、学術院(研究科含む)及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学群</td> <td>人文・文化学群</td> <td>960人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>社会・国際学群</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人間学群</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生命環境学群</td> <td>1,020人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理工学群</td> <td>2,100人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>情報学群</td> <td>980人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医学群</td> <td>1,103人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体育専門学群</td> <td>960人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>芸術専門学群</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td>8,663人</td> </tr> </table>	学群	人文・文化学群	960人		社会・国際学群	660人		人間学群	480人		生命環境学群	1,020人		理工学群	2,100人		情報学群	980人		医学群	1,103人		体育専門学群	960人		芸術専門学群	400人	(収容定員の総数)		8,663人	別表1 学群、学術院(研究科含む)及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学群</td> <td>人文・文化学群</td> <td>960人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>社会・国際学群</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人間学群</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生命環境学群</td> <td>1,020人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理工学群</td> <td>2,100人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>情報学群</td> <td>980人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医学群</td> <td>1,139人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体育専門学群</td> <td>960人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>芸術専門学群</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td>8,699人</td> </tr> </table>	学群	人文・文化学群	960人		社会・国際学群	660人		人間学群	480人		生命環境学群	1,020人		理工学群	2,100人		情報学群	980人		医学群	1,139人		体育専門学群	960人		芸術専門学群	400人	(収容定員の総数)		8,699人						
		学群	人文・文化学群	960人																																																																	
	社会・国際学群	660人																																																																			
	人間学群	480人																																																																			
	生命環境学群	1,020人																																																																			
	理工学群	2,100人																																																																			
	情報学群	980人																																																																			
	医学群	1,103人																																																																			
	体育専門学群	960人																																																																			
	芸術専門学群	400人																																																																			
(収容定員の総数)		8,663人																																																																			
学群	人文・文化学群	960人																																																																			
	社会・国際学群	660人																																																																			
	人間学群	480人																																																																			
	生命環境学群	1,020人																																																																			
	理工学群	2,100人																																																																			
	情報学群	980人																																																																			
	医学群	1,139人																																																																			
	体育専門学群	960人																																																																			
	芸術専門学群	400人																																																																			
(収容定員の総数)		8,699人																																																																			

番号	法人名	現行		変更案	
		人文社会ビジネス科学学術院 833人 理工情報生命学術院 2,988人 人間総合科学学術院 1,970人 人文社会科学研究科 (R2募集停止) 0人 生命環境科学研究科 (R2募集停止) 0人 人間総合科学研究科 (R2募集停止) 0人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 3,630人 博士後期課程 1,593人 一貫制博士課程 400人 専門職学位課程 168人	人文社会ビジネス科学学術院 833人 理工情報生命学術院 2,988人 人間総合科学学術院 1,970人 人文社会科学研究科 (R2募集停止) 0人 生命環境科学研究科 (R2募集停止) 0人 (削除) (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 3,630人 博士後期課程 1,593人 一貫制博士課程 400人 専門職学位課程 168人		
21	千葉大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 学部 国際教養学部 360人 文学部 700人 法政経学部 1,480人 教育学部 1,560人 理学部 800人 工学部 2,600人 園芸学部 760人 医学部 617人 薬学部 460人 看護学部 320人 (収容定員の総数) <u>9,657人</u>	別表1 学部、研究科等及び収容定員 学部 国際教養学部 360人 文学部 700人 法政経学部 1,480人 教育学部 1,560人 理学部 800人 工学部 2,600人 園芸学部 760人 医学部 634人 薬学部 460人 看護学部 320人 (収容定員の総数) <u>9,674人</u>		
		研究科等 人文公共学府 141人 専門法務研究科 120人 教育学研究科 158人 融合理工学府 1,522人 園芸学研究科 264人 医学薬学府 671人 看護学研究科 125人 総合国際学位プログラム【10人】 (連携協力研究科等である人文公共学府の内数) (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,916人 博士後期課程 453人 一貫制博士課程 472人 専門職学位課程 160人	研究科等 人文公共学府 141人 専門法務研究科 120人 教育学研究科 158人 融合理工学府 1,561人 園芸学研究科 334人 医学薬学府 831人 看護学研究科 125人 総合国際学位プログラム【10人】 (連携協力研究科等である人文公共学府の内数) (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,986人 博士後期課程 492人 一貫制博士課程 632人 専門職学位課程 160人		
22	東京大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 学部 法学部 1,600人 医学部 810人 工学部 3,772人 文学部 1,420人 理学部 1,120人 農学部 1,220人 経済学部 1,360人 教養学部 560人 教育学部 380人 薬学部 336人 (収容定員の総数) <u>12,578人</u>	別表1 学部、研究科等及び収容定員 学部 法学部 1,600人 医学部 812人 工学部 3,772人 文学部 1,420人 理学部 1,120人 農学部 1,220人 経済学部 1,360人 教養学部 560人 教育学部 380人 薬学部 336人 (収容定員の総数) <u>12,580人</u>		
		別表1 学部、研究科等及び収容定員 学部 医学部 910人 歯学部 467人 (収容定員の総数) <u>1,377人</u>	別表1 学部、研究科等及び収容定員 学部 医学部 926人 歯学部 467人 (収容定員の総数) <u>1,393人</u>		
23	東京医科歯科大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 学部 医学部 910人 歯学部 467人 (収容定員の総数) <u>1,377人</u>	別表1 学部、研究科等及び収容定員 学部 医学部 926人 歯学部 467人 (収容定員の総数) <u>1,393人</u>		

番号	法人名	現行	変更案								
26	東京農工大学	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 農学府 388人 工学府 940人 生物システム応用科学府 222人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,146人 博士後期課程 234人 一貫制博士課程 90人 専門職学位課程 80人 </td> </tr> </table>	学部	農学府 388人 工学府 940人 生物システム応用科学府 222人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,146人 博士後期課程 234人 一貫制博士課程 90人 専門職学位課程 80人	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 農学府 388人 工学府 983人 生物システム応用科学府 222人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,180人 博士後期課程 243人 一貫制博士課程 90人 専門職学位課程 80人 </td> </tr> </table>	学部	農学府 388人 工学府 983人 生物システム応用科学府 222人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,180人 博士後期課程 243人 一貫制博士課程 90人 専門職学位課程 80人				
学部	農学府 388人 工学府 940人 生物システム応用科学府 222人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,146人 博士後期課程 234人 一貫制博士課程 90人 専門職学位課程 80人										
学部	農学府 388人 工学府 983人 生物システム応用科学府 222人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,180人 博士後期課程 243人 一貫制博士課程 90人 専門職学位課程 80人										
31	電気通信大学	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>研究科等</td> <td> 情報理工学研究科 1,177人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,000人 博士後期課程 177人 </td> </tr> </table>	研究科等	情報理工学研究科 1,177人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,000人 博士後期課程 177人	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>研究科等</td> <td> 情報理工学研究科 1,197人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,020人 博士後期課程 177人 </td> </tr> </table>	研究科等	情報理工学研究科 1,197人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,020人 博士後期課程 177人				
研究科等	情報理工学研究科 1,177人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,000人 博士後期課程 177人										
研究科等	情報理工学研究科 1,197人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,020人 博士後期課程 177人										
32	一橋大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 商学部 1,100人 経済学部 1,100人 法学部 680人 社会学部 940人 (新規) (収容定員の総数) 3,820人 </td> </tr> <tr> <td>研究科等</td> <td> 経営管理研究科 524人 経済学研究科 230人 法学研究科 471人 社会学研究科 303人 言語社会研究科 161人 (新規) 国際・公共政策教育部 110人 (収容定員の総数) 修士課程 862人 博士後期課程 456人 専門職学位課程 481人 </td> </tr> </table>	学部	商学部 1,100人 経済学部 1,100人 法学部 680人 社会学部 940人 (新規) (収容定員の総数) 3,820人	研究科等	経営管理研究科 524人 経済学研究科 230人 法学研究科 471人 社会学研究科 303人 言語社会研究科 161人 (新規) 国際・公共政策教育部 110人 (収容定員の総数) 修士課程 862人 博士後期課程 456人 専門職学位課程 481人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 商学部 1,032人 経済学部 1,032人 法学部 636人 社会学部 880人 ソーシャル・データ サイエンス学部 240人 (収容定員の総数) 3,820人 </td> </tr> <tr> <td>研究科等</td> <td> 経営管理研究科 515人 経済学研究科 224人 法学研究科 462人 社会学研究科 291人 言語社会研究科 155人 ソーシャル・データ サイエンス研究科 42人 国際・公共政策教育部 110人 (収容定員の総数) 修士課程 904人 博士後期課程 414人 専門職学位課程 481人 </td> </tr> </table>	学部	商学部 1,032人 経済学部 1,032人 法学部 636人 社会学部 880人 ソーシャル・データ サイエンス学部 240人 (収容定員の総数) 3,820人	研究科等	経営管理研究科 515人 経済学研究科 224人 法学研究科 462人 社会学研究科 291人 言語社会研究科 155人 ソーシャル・データ サイエンス研究科 42人 国際・公共政策教育部 110人 (収容定員の総数) 修士課程 904人 博士後期課程 414人 専門職学位課程 481人
学部	商学部 1,100人 経済学部 1,100人 法学部 680人 社会学部 940人 (新規) (収容定員の総数) 3,820人										
研究科等	経営管理研究科 524人 経済学研究科 230人 法学研究科 471人 社会学研究科 303人 言語社会研究科 161人 (新規) 国際・公共政策教育部 110人 (収容定員の総数) 修士課程 862人 博士後期課程 456人 専門職学位課程 481人										
学部	商学部 1,032人 経済学部 1,032人 法学部 636人 社会学部 880人 ソーシャル・データ サイエンス学部 240人 (収容定員の総数) 3,820人										
研究科等	経営管理研究科 515人 経済学研究科 224人 法学研究科 462人 社会学研究科 291人 言語社会研究科 155人 ソーシャル・データ サイエンス研究科 42人 国際・公共政策教育部 110人 (収容定員の総数) 修士課程 904人 博士後期課程 414人 専門職学位課程 481人										
34	新潟大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 人文学部 852人 教育学部 720人 法学部 690人 経済科学部 1,420人 経済学部 (R2募集停止) 0人 理学部 820人 医学部 1,313人 歯学部 357人 工学部 2,160人 農学部 720人 創生学部 260人 (収容定員の総数) 9,312人 </td> </tr> </table>	学部	人文学部 852人 教育学部 720人 法学部 690人 経済科学部 1,420人 経済学部 (R2募集停止) 0人 理学部 820人 医学部 1,313人 歯学部 357人 工学部 2,160人 農学部 720人 創生学部 260人 (収容定員の総数) 9,312人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 人文学部 852人 教育学部 720人 法学部 690人 経済科学部 1,420人 理学部 820人 医学部 1,353人 歯学部 357人 工学部 2,160人 農学部 720人 創生学部 260人 (収容定員の総数) 9,352人 </td> </tr> </table>	学部	人文学部 852人 教育学部 720人 法学部 690人 経済科学部 1,420人 理学部 820人 医学部 1,353人 歯学部 357人 工学部 2,160人 農学部 720人 創生学部 260人 (収容定員の総数) 9,352人				
学部	人文学部 852人 教育学部 720人 法学部 690人 経済科学部 1,420人 経済学部 (R2募集停止) 0人 理学部 820人 医学部 1,313人 歯学部 357人 工学部 2,160人 農学部 720人 創生学部 260人 (収容定員の総数) 9,312人										
学部	人文学部 852人 教育学部 720人 法学部 690人 経済科学部 1,420人 理学部 820人 医学部 1,353人 歯学部 357人 工学部 2,160人 農学部 720人 創生学部 260人 (収容定員の総数) 9,352人										
38	金沢大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学域</td> <td> 融合学域 360人 人間社会学域 2,692人 理工学域 2,476人 医薬保健学域 1,895人 (収容定員の総数) 7,423人 </td> </tr> </table>	学域	融合学域 360人 人間社会学域 2,692人 理工学域 2,476人 医薬保健学域 1,895人 (収容定員の総数) 7,423人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学域</td> <td> 融合学域 500人 人間社会学域 2,672人 理工学域 2,396人 医薬保健学域 1,887人 (収容定員の総数) 7,455人 </td> </tr> </table>	学域	融合学域 500人 人間社会学域 2,672人 理工学域 2,396人 医薬保健学域 1,887人 (収容定員の総数) 7,455人				
学域	融合学域 360人 人間社会学域 2,692人 理工学域 2,476人 医薬保健学域 1,895人 (収容定員の総数) 7,423人										
学域	融合学域 500人 人間社会学域 2,672人 理工学域 2,396人 医薬保健学域 1,887人 (収容定員の総数) 7,455人										

番号	法人名	現行	変更案								
40	山梨大学	別表 学部、研究科等及び収容定員	別表 学部、研究科等及び収容定員								
		<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 教育学部 480人 医学部 890人 工学部 1,500人 生命環境学部 620人 (収容定員の総数) 3,490人 </td> </tr> </table>	学部	教育学部 480人 医学部 890人 工学部 1,500人 生命環境学部 620人 (収容定員の総数) 3,490人	<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 教育学部 480人 医学部 910人 工学部 1,500人 生命環境学部 620人 (収容定員の総数) 3,510人 </td> </tr> </table>	学部	教育学部 480人 医学部 910人 工学部 1,500人 生命環境学部 620人 (収容定員の総数) 3,510人				
学部	教育学部 480人 医学部 890人 工学部 1,500人 生命環境学部 620人 (収容定員の総数) 3,490人										
学部	教育学部 480人 医学部 910人 工学部 1,500人 生命環境学部 620人 (収容定員の総数) 3,510人										
43	静岡大学	別表 1 学部、研究科等及び収容定員	別表 1 学部、研究科等及び収容定員								
		<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 人文社会科学部 1,810人 教育学部 1,200人 情報学部 980人 理学部 960人 工学部 2,200人 農学部 760人 (収容定員の総数) 7,910人 </td> </tr> <tr> <td>研究科</td> <td> 人文社会科学研究科 72人 教育学研究科 102人 総合科学技術研究科 1,078人 光医学研究科 15人 自然科学系教育部 135人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,150人 博士後期課程 162人 専門職学位課程 90人 </td> </tr> </table>	学部	人文社会科学部 1,810人 教育学部 1,200人 情報学部 980人 理学部 960人 工学部 2,200人 農学部 760人 (収容定員の総数) 7,910人	研究科	人文社会科学研究科 72人 教育学研究科 102人 総合科学技術研究科 1,078人 光医学研究科 15人 自然科学系教育部 135人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,150人 博士後期課程 162人 専門職学位課程 90人	<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 人文社会科学部 1,670人 教育学部 1,040人 情報学部 940人 理学部 920人 工学部 2,160人 農学部 720人 グローバル共創科学部 460人 (収容定員の総数) 7,910人 </td> </tr> <tr> <td>研究科</td> <td> 人文社会科学研究科 72人【2人】 教育学研究科 102人 総合科学技術研究科 1,078人【12人】 光医学研究科 15人 自然科学系教育部 135人 山岳流域研究院 14人 【 】内の数字は、人文社会科学研究科及び総合科学技術研究科の収容定員のうち、研究科等連係課程実施基本組織である山岳流域研究院の収容定員を内数で表している。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,150人 博士後期課程 162人 専門職学位課程 90人 </td> </tr> </table>	学部	人文社会科学部 1,670人 教育学部 1,040人 情報学部 940人 理学部 920人 工学部 2,160人 農学部 720人 グローバル共創科学部 460人 (収容定員の総数) 7,910人	研究科	人文社会科学研究科 72人【2人】 教育学研究科 102人 総合科学技術研究科 1,078人【12人】 光医学研究科 15人 自然科学系教育部 135人 山岳流域研究院 14人 【 】内の数字は、人文社会科学研究科及び総合科学技術研究科の収容定員のうち、研究科等連係課程実施基本組織である山岳流域研究院の収容定員を内数で表している。
学部	人文社会科学部 1,810人 教育学部 1,200人 情報学部 980人 理学部 960人 工学部 2,200人 農学部 760人 (収容定員の総数) 7,910人										
研究科	人文社会科学研究科 72人 教育学研究科 102人 総合科学技術研究科 1,078人 光医学研究科 15人 自然科学系教育部 135人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,150人 博士後期課程 162人 専門職学位課程 90人										
学部	人文社会科学部 1,670人 教育学部 1,040人 情報学部 940人 理学部 920人 工学部 2,160人 農学部 720人 グローバル共創科学部 460人 (収容定員の総数) 7,910人										
研究科	人文社会科学研究科 72人【2人】 教育学研究科 102人 総合科学技術研究科 1,078人【12人】 光医学研究科 15人 自然科学系教育部 135人 山岳流域研究院 14人 【 】内の数字は、人文社会科学研究科及び総合科学技術研究科の収容定員のうち、研究科等連係課程実施基本組織である山岳流域研究院の収容定員を内数で表している。										
	(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,150人 博士後期課程 162人 専門職学位課程 90人										
44	浜松医科大学	別表 学部、研究科等及び収容定員	別表 学部、研究科等及び収容定員								
		<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 医学部 900人 (収容定員の総数) 900人 </td> </tr> </table>	学部	医学部 900人 (収容定員の総数) 900人	<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 医学部 915人 (収容定員の総数) 915人 </td> </tr> </table>	学部	医学部 915人 (収容定員の総数) 915人				
学部	医学部 900人 (収容定員の総数) 900人										
学部	医学部 915人 (収容定員の総数) 915人										
49	三重大学	別表 1 学部、研究科等及び収容定員	別表 1 学部、研究科等及び収容定員								
		<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> (略) 医学部 990人 (略) (収容定員の総数) 5,550人 </td> </tr> </table>	学部	(略) 医学部 990人 (略) (収容定員の総数) 5,550人	<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> (略) 医学部 1,010人 (略) (収容定員の総数) 5,570人 </td> </tr> </table>	学部	(略) 医学部 1,010人 (略) (収容定員の総数) 5,570人				
学部	(略) 医学部 990人 (略) (収容定員の総数) 5,550人										
学部	(略) 医学部 1,010人 (略) (収容定員の総数) 5,570人										
51	滋賀医科大学	別表 学部、研究科等及び収容定員	別表 学部、研究科等及び収容定員								
		<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 医学部 860人 (収容定員の総数) 860人 </td> </tr> </table>	学部	医学部 860人 (収容定員の総数) 860人	<table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 医学部 865人 (収容定員の総数) 865人 </td> </tr> </table>	学部	医学部 865人 (収容定員の総数) 865人				
学部	医学部 860人 (収容定員の総数) 860人										
学部	医学部 865人 (収容定員の総数) 865人										

番号	法人名	現行	変更案																																																																																																																																														
52	京都大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員	別表1 学部、研究科等及び収容定員																																																																																																																																														
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="20">研究科等</td> <td>文学研究科</td> <td>385人</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>法学研究科</td> <td>594人</td> </tr> <tr> <td>経済学研究科</td> <td>231人</td> </tr> <tr> <td>理学研究科</td> <td>1,134人</td> </tr> <tr> <td>医学研究科</td> <td>1,084人</td> </tr> <tr> <td>薬学研究科</td> <td>238人</td> </tr> <tr> <td>工学研究科</td> <td>1,967人</td> </tr> <tr> <td>農学研究科</td> <td>876人</td> </tr> <tr> <td>人間・環境学研究科</td> <td>532人</td> </tr> <tr> <td>エネルギー科学研究科</td> <td>365人</td> </tr> <tr> <td>アジア・アフリカ地域研究研究科</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>情報学研究科</td> <td>558人</td> </tr> <tr> <td>生命科学研究科</td> <td>249人</td> </tr> <tr> <td>総合生存学館</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>地球環境学舎</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>公共政策教育部</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>経営管理教育部</td> <td>221人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修士課程・博士前期課程</td> <td>4,604人</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>2,607人</td> </tr> <tr> <td>一貫制博士課程</td> <td>1,032人</td> </tr> </table>	研究科等	文学研究科	385人	教育学研究科	159人	法学研究科	594人	経済学研究科	231人	理学研究科	1,134人	医学研究科	1,084人	薬学研究科	238人	工学研究科	1,967人	農学研究科	876人	人間・環境学研究科	532人	エネルギー科学研究科	365人	アジア・アフリカ地域研究研究科	150人	情報学研究科	558人	生命科学研究科	249人	総合生存学館	100人	地球環境学舎	148人	公共政策教育部	80人	経営管理教育部	221人	(収容定員の総数)			修士課程・博士前期課程	4,604人	博士後期課程	2,607人	一貫制博士課程	1,032人	<table border="1"> <tr> <td rowspan="20">研究科等</td> <td>文学研究科</td> <td>385人</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>法学研究科</td> <td>594人</td> </tr> <tr> <td>経済学研究科</td> <td>231人</td> </tr> <tr> <td>理学研究科</td> <td>1,134人</td> </tr> <tr> <td>医学研究科</td> <td>1,084人</td> </tr> <tr> <td>薬学研究科</td> <td>238人</td> </tr> <tr> <td>工学研究科</td> <td>1,967人</td> </tr> <tr> <td>農学研究科</td> <td>876人</td> </tr> <tr> <td>人間・環境学研究科</td> <td>532人</td> </tr> <tr> <td>エネルギー科学研究科</td> <td>365人</td> </tr> <tr> <td>アジア・アフリカ地域研究研究科</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>情報学研究科</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td>生命科学研究科</td> <td>249人</td> </tr> <tr> <td>総合生存学館</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>地球環境学舎</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>公共政策教育部</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>経営管理教育部</td> <td>221人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修士課程・博士前期課程</td> <td>4,706人</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>2,607人</td> </tr> <tr> <td>一貫制博士課程</td> <td>1,032人</td> </tr> </table>	研究科等	文学研究科	385人	教育学研究科	159人	法学研究科	594人	経済学研究科	231人	理学研究科	1,134人	医学研究科	1,084人	薬学研究科	238人	工学研究科	1,967人	農学研究科	876人	人間・環境学研究科	532人	エネルギー科学研究科	365人	アジア・アフリカ地域研究研究科	150人	情報学研究科	660人	生命科学研究科	249人	総合生存学館	100人	地球環境学舎	148人	公共政策教育部	80人	経営管理教育部	221人	(収容定員の総数)			修士課程・博士前期課程	4,706人	博士後期課程	2,607人	一貫制博士課程	1,032人																																																		
研究科等	文学研究科	385人																																																																																																																																															
	教育学研究科	159人																																																																																																																																															
	法学研究科	594人																																																																																																																																															
	経済学研究科	231人																																																																																																																																															
	理学研究科	1,134人																																																																																																																																															
	医学研究科	1,084人																																																																																																																																															
	薬学研究科	238人																																																																																																																																															
	工学研究科	1,967人																																																																																																																																															
	農学研究科	876人																																																																																																																																															
	人間・環境学研究科	532人																																																																																																																																															
	エネルギー科学研究科	365人																																																																																																																																															
	アジア・アフリカ地域研究研究科	150人																																																																																																																																															
	情報学研究科	558人																																																																																																																																															
	生命科学研究科	249人																																																																																																																																															
	総合生存学館	100人																																																																																																																																															
	地球環境学舎	148人																																																																																																																																															
	公共政策教育部	80人																																																																																																																																															
	経営管理教育部	221人																																																																																																																																															
	(収容定員の総数)																																																																																																																																																
	修士課程・博士前期課程	4,604人																																																																																																																																															
博士後期課程	2,607人																																																																																																																																																
一貫制博士課程	1,032人																																																																																																																																																
研究科等	文学研究科	385人																																																																																																																																															
	教育学研究科	159人																																																																																																																																															
	法学研究科	594人																																																																																																																																															
	経済学研究科	231人																																																																																																																																															
	理学研究科	1,134人																																																																																																																																															
	医学研究科	1,084人																																																																																																																																															
	薬学研究科	238人																																																																																																																																															
	工学研究科	1,967人																																																																																																																																															
	農学研究科	876人																																																																																																																																															
	人間・環境学研究科	532人																																																																																																																																															
	エネルギー科学研究科	365人																																																																																																																																															
	アジア・アフリカ地域研究研究科	150人																																																																																																																																															
	情報学研究科	660人																																																																																																																																															
	生命科学研究科	249人																																																																																																																																															
	総合生存学館	100人																																																																																																																																															
	地球環境学舎	148人																																																																																																																																															
	公共政策教育部	80人																																																																																																																																															
	経営管理教育部	221人																																																																																																																																															
	(収容定員の総数)																																																																																																																																																
	修士課程・博士前期課程	4,706人																																																																																																																																															
博士後期課程	2,607人																																																																																																																																																
一貫制博士課程	1,032人																																																																																																																																																
55	大阪大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員	別表1 学部、研究科等及び収容定員																																																																																																																																														
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="11">学部</td> <td>文学部</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td>人間科学部</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>外国語学部</td> <td>2,340人</td> </tr> <tr> <td>法学部</td> <td>1,020人</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>900人</td> </tr> <tr> <td>理学部</td> <td>1,020人</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td>1,305人</td> </tr> <tr> <td>歯学部</td> <td>318人</td> </tr> <tr> <td>薬学部</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td>3,280人</td> </tr> <tr> <td>基礎工学部</td> <td>1,740人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td>13,631人</td> </tr> <tr> <td rowspan="19">研究科</td> <td>人文学研究科</td> <td>517人</td> </tr> <tr> <td>文学研究科 (R4募集停止)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>人間科学研究科</td> <td>304人</td> </tr> <tr> <td>法学研究科</td> <td>106人</td> </tr> <tr> <td>経済学研究科</td> <td>241人</td> </tr> <tr> <td>理学研究科</td> <td>910人</td> </tr> <tr> <td>医学系研究科</td> <td>959人</td> </tr> <tr> <td>歯学研究科</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>薬学研究科</td> <td>250人</td> </tr> <tr> <td>工学研究科</td> <td>2,174人</td> </tr> <tr> <td>基礎工学研究科</td> <td>744人</td> </tr> <tr> <td>言語文化研究科 (R4募集停止)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>国際公共政策研究科</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>情報科学研究科</td> <td>449人</td> </tr> <tr> <td>生命機能研究科</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>高等司法研究科</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修士課程・博士前期課程</td> <td>4,166人</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>1,938人</td> </tr> <tr> <td>一貫制博士課程</td> <td>1,163人</td> </tr> <tr> <td>専門職学位課程</td> <td>240人</td> </tr> </table>	学部	文学部	660人	人間科学部	568人	外国語学部	2,340人	法学部	1,020人	経済学部	900人	理学部	1,020人	医学部	1,305人	歯学部	318人	薬学部	480人	工学部	3,280人	基礎工学部	1,740人	(収容定員の総数)		13,631人	研究科	人文学研究科	517人	文学研究科 (R4募集停止)	0人	人間科学研究科	304人	法学研究科	106人	経済学研究科	241人	理学研究科	910人	医学系研究科	959人	歯学研究科	160人	薬学研究科	250人	工学研究科	2,174人	基礎工学研究科	744人	言語文化研究科 (R4募集停止)	0人	国際公共政策研究科	133人	情報科学研究科	449人	生命機能研究科	275人	高等司法研究科	240人	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科	45人	(収容定員の総数)			修士課程・博士前期課程	4,166人	博士後期課程	1,938人	一貫制博士課程	1,163人	専門職学位課程	240人	<table border="1"> <tr> <td rowspan="11">学部</td> <td>文学部</td> <td>660人</td> </tr> <tr> <td>人間科学部</td> <td>568人</td> </tr> <tr> <td>外国語学部</td> <td>2,340人</td> </tr> <tr> <td>法学部</td> <td>1,020人</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>900人</td> </tr> <tr> <td>理学部</td> <td>1,020人</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td>1,267人</td> </tr> <tr> <td>歯学部</td> <td>318人</td> </tr> <tr> <td>薬学部</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td>3,304人</td> </tr> <tr> <td>基礎工学部</td> <td>1,756人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td>13,633人</td> </tr> <tr> <td rowspan="19">研究科</td> <td>人文学研究科</td> <td>517人</td> </tr> <tr> <td>文学研究科 (R4募集停止)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>人間科学研究科</td> <td>304人</td> </tr> <tr> <td>法学研究科</td> <td>106人</td> </tr> <tr> <td>経済学研究科</td> <td>241人</td> </tr> <tr> <td>理学研究科</td> <td>910人</td> </tr> <tr> <td>医学系研究科</td> <td>959人</td> </tr> <tr> <td>歯学研究科</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>薬学研究科</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td>工学研究科</td> <td>2,174人</td> </tr> <tr> <td>基礎工学研究科</td> <td>744人</td> </tr> <tr> <td>言語文化研究科 (R4募集停止)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>国際公共政策研究科</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>情報科学研究科</td> <td>449人</td> </tr> <tr> <td>生命機能研究科</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>高等司法研究科</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修士課程・博士前期課程</td> <td>4,046人</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>1,938人</td> </tr> <tr> <td>一貫制博士課程</td> <td>1,163人</td> </tr> <tr> <td>専門職学位課程</td> <td>240人</td> </tr> </table>	学部	文学部	660人	人間科学部	568人	外国語学部	2,340人	法学部	1,020人	経済学部	900人	理学部	1,020人	医学部	1,267人	歯学部	318人	薬学部	480人	工学部	3,304人	基礎工学部	1,756人	(収容定員の総数)		13,633人	研究科	人文学研究科	517人	文学研究科 (R4募集停止)	0人	人間科学研究科	304人	法学研究科	106人	経済学研究科	241人	理学研究科	910人	医学系研究科	959人	歯学研究科	160人	薬学研究科	130人	工学研究科	2,174人	基礎工学研究科	744人	言語文化研究科 (R4募集停止)	0人	国際公共政策研究科	133人	情報科学研究科	449人	生命機能研究科	275人	高等司法研究科	240人	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科	45人	(収容定員の総数)			修士課程・博士前期課程	4,046人	博士後期課程	1,938人	一貫制博士課程	1,163人
学部	文学部	660人																																																																																																																																															
	人間科学部	568人																																																																																																																																															
	外国語学部	2,340人																																																																																																																																															
	法学部	1,020人																																																																																																																																															
	経済学部	900人																																																																																																																																															
	理学部	1,020人																																																																																																																																															
	医学部	1,305人																																																																																																																																															
	歯学部	318人																																																																																																																																															
	薬学部	480人																																																																																																																																															
	工学部	3,280人																																																																																																																																															
	基礎工学部	1,740人																																																																																																																																															
(収容定員の総数)		13,631人																																																																																																																																															
研究科	人文学研究科	517人																																																																																																																																															
	文学研究科 (R4募集停止)	0人																																																																																																																																															
	人間科学研究科	304人																																																																																																																																															
	法学研究科	106人																																																																																																																																															
	経済学研究科	241人																																																																																																																																															
	理学研究科	910人																																																																																																																																															
	医学系研究科	959人																																																																																																																																															
	歯学研究科	160人																																																																																																																																															
	薬学研究科	250人																																																																																																																																															
	工学研究科	2,174人																																																																																																																																															
	基礎工学研究科	744人																																																																																																																																															
	言語文化研究科 (R4募集停止)	0人																																																																																																																																															
	国際公共政策研究科	133人																																																																																																																																															
	情報科学研究科	449人																																																																																																																																															
	生命機能研究科	275人																																																																																																																																															
	高等司法研究科	240人																																																																																																																																															
	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科	45人																																																																																																																																															
	(収容定員の総数)																																																																																																																																																
	修士課程・博士前期課程	4,166人																																																																																																																																															
博士後期課程	1,938人																																																																																																																																																
一貫制博士課程	1,163人																																																																																																																																																
専門職学位課程	240人																																																																																																																																																
学部	文学部	660人																																																																																																																																															
	人間科学部	568人																																																																																																																																															
	外国語学部	2,340人																																																																																																																																															
	法学部	1,020人																																																																																																																																															
	経済学部	900人																																																																																																																																															
	理学部	1,020人																																																																																																																																															
	医学部	1,267人																																																																																																																																															
	歯学部	318人																																																																																																																																															
	薬学部	480人																																																																																																																																															
	工学部	3,304人																																																																																																																																															
	基礎工学部	1,756人																																																																																																																																															
(収容定員の総数)		13,633人																																																																																																																																															
研究科	人文学研究科	517人																																																																																																																																															
	文学研究科 (R4募集停止)	0人																																																																																																																																															
	人間科学研究科	304人																																																																																																																																															
	法学研究科	106人																																																																																																																																															
	経済学研究科	241人																																																																																																																																															
	理学研究科	910人																																																																																																																																															
	医学系研究科	959人																																																																																																																																															
	歯学研究科	160人																																																																																																																																															
	薬学研究科	130人																																																																																																																																															
	工学研究科	2,174人																																																																																																																																															
	基礎工学研究科	744人																																																																																																																																															
	言語文化研究科 (R4募集停止)	0人																																																																																																																																															
	国際公共政策研究科	133人																																																																																																																																															
	情報科学研究科	449人																																																																																																																																															
	生命機能研究科	275人																																																																																																																																															
	高等司法研究科	240人																																																																																																																																															
	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科	45人																																																																																																																																															
	(収容定員の総数)																																																																																																																																																
	修士課程・博士前期課程	4,046人																																																																																																																																															
博士後期課程	1,938人																																																																																																																																																
一貫制博士課程	1,163人																																																																																																																																																
専門職学位課程	240人																																																																																																																																																
58	神戸大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員	別表1 学部、研究科等及び収容定員																																																																																																																																														
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="11">研究科等</td> <td>人文学研究科</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>国際文化学研究科</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td>人間発達環境学研究科</td> <td>229人</td> </tr> <tr> <td>法学研究科</td> <td>368人</td> </tr> <tr> <td>経済学研究科</td> <td>226人</td> </tr> <tr> <td>経営学研究科</td> <td>336人</td> </tr> <tr> <td>理学研究科</td> <td>325人</td> </tr> <tr> <td>医学研究科</td> <td>450人</td> </tr> <tr> <td>保健学研究科</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td>工学研究科</td> <td>758人</td> </tr> </table>	研究科等	人文学研究科	148人	国際文化学研究科	139人	人間発達環境学研究科	229人	法学研究科	368人	経済学研究科	226人	経営学研究科	336人	理学研究科	325人	医学研究科	450人	保健学研究科	203人	工学研究科	758人	<table border="1"> <tr> <td rowspan="11">研究科等</td> <td>人文学研究科</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>国際文化学研究科</td> <td>139人</td> </tr> <tr> <td>人間発達環境学研究科</td> <td>229人</td> </tr> <tr> <td>法学研究科</td> <td>368人</td> </tr> <tr> <td>経済学研究科</td> <td>226人</td> </tr> <tr> <td>経営学研究科</td> <td>336人</td> </tr> <tr> <td>理学研究科</td> <td>325人</td> </tr> <tr> <td>医学研究科</td> <td>504人</td> </tr> <tr> <td>保健学研究科</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td>工学研究科</td> <td>758人</td> </tr> </table>	研究科等	人文学研究科	148人	国際文化学研究科	139人	人間発達環境学研究科	229人	法学研究科	368人	経済学研究科	226人	経営学研究科	336人	理学研究科	325人	医学研究科	504人	保健学研究科	203人	工学研究科	758人																																																																																																				
研究科等	人文学研究科	148人																																																																																																																																															
	国際文化学研究科	139人																																																																																																																																															
	人間発達環境学研究科	229人																																																																																																																																															
	法学研究科	368人																																																																																																																																															
	経済学研究科	226人																																																																																																																																															
	経営学研究科	336人																																																																																																																																															
	理学研究科	325人																																																																																																																																															
	医学研究科	450人																																																																																																																																															
	保健学研究科	203人																																																																																																																																															
	工学研究科	758人																																																																																																																																															
	研究科等	人文学研究科	148人																																																																																																																																														
国際文化学研究科		139人																																																																																																																																															
人間発達環境学研究科		229人																																																																																																																																															
法学研究科		368人																																																																																																																																															
経済学研究科		226人																																																																																																																																															
経営学研究科		336人																																																																																																																																															
理学研究科		325人																																																																																																																																															
医学研究科		504人																																																																																																																																															
保健学研究科		203人																																																																																																																																															
工学研究科		758人																																																																																																																																															

番号	法人名	現行	変更案																
		システム情報学研究科 182人 農学研究科 309人 海事科学研究科 183人 国際協力研究科 209人 科学技術イノベーション研究科 110人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 2,512人 博士後期課程 885人 一貫制博士課程 400人 専門職学位課程 378人	システム情報学研究科 196人 農学研究科 309人 海事科学研究科 183人 国際協力研究科 209人 科学技術イノベーション研究科 110人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 2,556人 博士後期課程 909人 一貫制博士課程 400人 専門職学位課程 378人																
61	和歌山大学	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>教育学部 660人 経済学部 1,220人 システム工学部 1,260人 観光学部 480人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 3,620人</td> </tr> <tr> <td>研究科等</td> <td>教育学研究科 60人 経済学研究科 76人 システム工学研究科 282人 観光学研究科 46人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 362人 博士後期課程 42人 専門職学位課程 60人</td> </tr> </table>	学部	教育学部 660人 経済学部 1,220人 システム工学部 1,260人 観光学部 480人	(収容定員の総数) 3,620人		研究科等	教育学研究科 60人 経済学研究科 76人 システム工学研究科 282人 観光学研究科 46人	(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 362人 博士後期課程 42人 専門職学位課程 60人		別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>教育学部 660人 経済学部 1,220人 【40人】 システム工学部 1,260人 【60人】 観光学部 480人 【20人】 社会インフォマティクス学環 【120人】</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 3,620人</td> </tr> <tr> <td>研究科等</td> <td>教育学研究科 60人 経済学研究科 76人 システム工学研究科 282人 観光学研究科 50人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 346人 博士後期課程 42人 専門職学位課程 80人</td> </tr> </table> <p>【 】は、学部等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。</p>	学部	教育学部 660人 経済学部 1,220人 【40人】 システム工学部 1,260人 【60人】 観光学部 480人 【20人】 社会インフォマティクス学環 【120人】	(収容定員の総数) 3,620人		研究科等	教育学研究科 60人 経済学研究科 76人 システム工学研究科 282人 観光学研究科 50人	(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 346人 博士後期課程 42人 専門職学位課程 80人	
学部	教育学部 660人 経済学部 1,220人 システム工学部 1,260人 観光学部 480人																		
(収容定員の総数) 3,620人																			
研究科等	教育学研究科 60人 経済学研究科 76人 システム工学研究科 282人 観光学研究科 46人																		
(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 362人 博士後期課程 42人 専門職学位課程 60人																			
学部	教育学部 660人 経済学部 1,220人 【40人】 システム工学部 1,260人 【60人】 観光学部 480人 【20人】 社会インフォマティクス学環 【120人】																		
(収容定員の総数) 3,620人																			
研究科等	教育学研究科 60人 経済学研究科 76人 システム工学研究科 282人 観光学研究科 50人																		
(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 346人 博士後期課程 42人 専門職学位課程 80人																			
62	鳥取大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>地域学部 680人 医学部 1,169人 工学部 1,800人 農学部 1,090人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 4,739人</td> </tr> </table>	学部	地域学部 680人 医学部 1,169人 工学部 1,800人 農学部 1,090人	(収容定員の総数) 4,739人		別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>地域学部 680人 医学部 1,194人 工学部 1,800人 農学部 1,090人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 4,764人</td> </tr> </table>	学部	地域学部 680人 医学部 1,194人 工学部 1,800人 農学部 1,090人	(収容定員の総数) 4,764人									
学部	地域学部 680人 医学部 1,169人 工学部 1,800人 農学部 1,090人																		
(収容定員の総数) 4,739人																			
学部	地域学部 680人 医学部 1,194人 工学部 1,800人 農学部 1,090人																		
(収容定員の総数) 4,764人																			
63	島根大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>法文学部 760人 教育学部 520人 人間科学部 320人 医学部 837人 総合理工学部 1,624人 生物資源科学部 830人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 4,891人</td> </tr> </table>	学部	法文学部 760人 教育学部 520人 人間科学部 320人 医学部 837人 総合理工学部 1,624人 生物資源科学部 830人	(収容定員の総数) 4,891人		別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>法文学部 720人 教育学部 520人 人間科学部 320人 医学部 849人 総合理工学部 1,504人 材料エネルギー学部 330人 生物資源科学部 830人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 5,073人</td> </tr> </table>	学部	法文学部 720人 教育学部 520人 人間科学部 320人 医学部 849人 総合理工学部 1,504人 材料エネルギー学部 330人 生物資源科学部 830人	(収容定員の総数) 5,073人									
学部	法文学部 760人 教育学部 520人 人間科学部 320人 医学部 837人 総合理工学部 1,624人 生物資源科学部 830人																		
(収容定員の総数) 4,891人																			
学部	法文学部 720人 教育学部 520人 人間科学部 320人 医学部 849人 総合理工学部 1,504人 材料エネルギー学部 330人 生物資源科学部 830人																		
(収容定員の総数) 5,073人																			
64	岡山大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>(略) 医学部 1,277人 (略)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 9,290人</td> </tr> <tr> <td>研究科等</td> <td>(略) 自然科学研究科 846人 (略) 環境生命科学研究科 444人 医歯薬学総合研究科 653人 (略)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,570人 博士後期課程 417人 一貫制博士課程 532人 専門職学位課程 162人</td> </tr> </table>	学部	(略) 医学部 1,277人 (略)	(収容定員の総数) 9,290人		研究科等	(略) 自然科学研究科 846人 (略) 環境生命科学研究科 444人 医歯薬学総合研究科 653人 (略)	(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,570人 博士後期課程 417人 一貫制博士課程 532人 専門職学位課程 162人		別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td>(略) 医学部 1,286人 (略)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 9,299人</td> </tr> <tr> <td>研究科等</td> <td>(略) 自然科学研究科 0人 (R5募集停止) 環境生命自然科学研究科 1,290人 (略) 環境生命科学研究科 0人 (R5募集停止) 医歯薬学総合研究科 644人 (略)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,578人 博士後期課程 420人 一貫制博士課程 512人 専門職学位課程 162人</td> </tr> </table>	学部	(略) 医学部 1,286人 (略)	(収容定員の総数) 9,299人		研究科等	(略) 自然科学研究科 0人 (R5募集停止) 環境生命自然科学研究科 1,290人 (略) 環境生命科学研究科 0人 (R5募集停止) 医歯薬学総合研究科 644人 (略)	(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,578人 博士後期課程 420人 一貫制博士課程 512人 専門職学位課程 162人	
学部	(略) 医学部 1,277人 (略)																		
(収容定員の総数) 9,290人																			
研究科等	(略) 自然科学研究科 846人 (略) 環境生命科学研究科 444人 医歯薬学総合研究科 653人 (略)																		
(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,570人 博士後期課程 417人 一貫制博士課程 532人 専門職学位課程 162人																			
学部	(略) 医学部 1,286人 (略)																		
(収容定員の総数) 9,299人																			
研究科等	(略) 自然科学研究科 0人 (R5募集停止) 環境生命自然科学研究科 1,290人 (略) 環境生命科学研究科 0人 (R5募集停止) 医歯薬学総合研究科 644人 (略)																		
(収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 1,578人 博士後期課程 420人 一貫制博士課程 512人 専門職学位課程 162人																			

番号	法人名	現行	変更案																						
65	広島大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">学部</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>教育学部 1,780人 (略) 医学部 1,123人 (略) 情報科学部 330人 (収容定員の総数) 9,857人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研究科等</td> <td>人間社会科学研究科 1,369人 先進理工系科学研究科 1,286人 統合生命科学研究科 550人 医系科学研究科 615人 (収容定員の総数) (略)</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> </tr> </table>	学部	(略)	教育学部 1,780人 (略) 医学部 1,123人 (略) 情報科学部 330人 (収容定員の総数) 9,857人	研究科等	人間社会科学研究科 1,369人 先進理工系科学研究科 1,286人 統合生命科学研究科 550人 医系科学研究科 615人 (収容定員の総数) (略)	(略)	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">学部</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>教育学部 1,700人 (略) 医学部 1,136人 (略) 情報科学部 610人 (収容定員の総数) 10,070人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研究科等</td> <td>人間社会科学研究科 1,369人【内39人】 先進理工系科学研究科 1,286人【内47人】 統合生命科学研究科 550人【内30人】 医系科学研究科 615人【内7人】 スマートソサイエティ実践科学研究院【123人】 (収容定員の総数) (略) ※【内〇人】は、スマートソサイエティ実践科学研究院(研究科等連係課程実施基本組織)に活用する収容定員を内数で示す。</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> </tr> </table>	学部	(略)	教育学部 1,700人 (略) 医学部 1,136人 (略) 情報科学部 610人 (収容定員の総数) 10,070人	研究科等	人間社会科学研究科 1,369人【内39人】 先進理工系科学研究科 1,286人【内47人】 統合生命科学研究科 550人【内30人】 医系科学研究科 615人【内7人】 スマートソサイエティ実践科学研究院【123人】 (収容定員の総数) (略) ※【内〇人】は、スマートソサイエティ実践科学研究院(研究科等連係課程実施基本組織)に活用する収容定員を内数で示す。	(略)										
		学部		(略)																					
教育学部 1,780人 (略) 医学部 1,123人 (略) 情報科学部 330人 (収容定員の総数) 9,857人																									
研究科等	人間社会科学研究科 1,369人 先進理工系科学研究科 1,286人 統合生命科学研究科 550人 医系科学研究科 615人 (収容定員の総数) (略)																								
	(略)																								
学部	(略)																								
	教育学部 1,700人 (略) 医学部 1,136人 (略) 情報科学部 610人 (収容定員の総数) 10,070人																								
研究科等	人間社会科学研究科 1,369人【内39人】 先進理工系科学研究科 1,286人【内47人】 統合生命科学研究科 550人【内30人】 医系科学研究科 615人【内7人】 スマートソサイエティ実践科学研究院【123人】 (収容定員の総数) (略) ※【内〇人】は、スマートソサイエティ実践科学研究院(研究科等連係課程実施基本組織)に活用する収容定員を内数で示す。																								
	(略)																								
66	山口大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">学部</td> <td>人文学部 740人</td> </tr> <tr> <td>教育学部 720人</td> </tr> <tr> <td>経済学部 1,380人</td> </tr> <tr> <td>理学部 880人</td> </tr> <tr> <td>医学部 1,087人</td> </tr> <tr> <td>工学部 2,160人</td> </tr> <tr> <td>農学部 400人</td> </tr> <tr> <td>共同獣医学部 180人</td> </tr> <tr> <td>国際総合科学部 400人</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数) 7,947人</td> </tr> </table>	学部	人文学部 740人	教育学部 720人	経済学部 1,380人	理学部 880人	医学部 1,087人	工学部 2,160人	農学部 400人	共同獣医学部 180人	国際総合科学部 400人	(収容定員の総数) 7,947人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">学部</td> <td>人文学部 740人</td> </tr> <tr> <td>教育学部 720人</td> </tr> <tr> <td>経済学部 1,380人</td> </tr> <tr> <td>理学部 880人</td> </tr> <tr> <td>医学部 1,106人</td> </tr> <tr> <td>工学部 2,160人</td> </tr> <tr> <td>農学部 400人</td> </tr> <tr> <td>共同獣医学部 180人</td> </tr> <tr> <td>国際総合科学部 400人</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数) 7,966人</td> </tr> </table>	学部	人文学部 740人	教育学部 720人	経済学部 1,380人	理学部 880人	医学部 1,106人	工学部 2,160人	農学部 400人	共同獣医学部 180人	国際総合科学部 400人	(収容定員の総数) 7,966人
		学部		人文学部 740人																					
教育学部 720人																									
経済学部 1,380人																									
理学部 880人																									
医学部 1,087人																									
工学部 2,160人																									
農学部 400人																									
共同獣医学部 180人																									
国際総合科学部 400人																									
(収容定員の総数) 7,947人																									
学部	人文学部 740人																								
	教育学部 720人																								
	経済学部 1,380人																								
	理学部 880人																								
	医学部 1,106人																								
	工学部 2,160人																								
	農学部 400人																								
	共同獣医学部 180人																								
	国際総合科学部 400人																								
	(収容定員の総数) 7,966人																								
67	徳島大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">学部</td> <td>総合科学部 680人</td> </tr> <tr> <td>医学部 1,342人</td> </tr> <tr> <td>歯学部 315人</td> </tr> <tr> <td>薬学部 480人</td> </tr> <tr> <td>理工学部 2,450人</td> </tr> <tr> <td>生物資源産業学部 406人</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数) 5,673人</td> </tr> </table>	学部	総合科学部 680人	医学部 1,342人	歯学部 315人	薬学部 480人	理工学部 2,450人	生物資源産業学部 406人	(収容定員の総数) 5,673人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">学部</td> <td>総合科学部 680人</td> </tr> <tr> <td>医学部 1,354人</td> </tr> <tr> <td>歯学部 315人</td> </tr> <tr> <td>薬学部 480人</td> </tr> <tr> <td>理工学部 2,570人</td> </tr> <tr> <td>生物資源産業学部 406人</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数) 5,805人</td> </tr> </table>	学部	総合科学部 680人	医学部 1,354人	歯学部 315人	薬学部 480人	理工学部 2,570人	生物資源産業学部 406人	(収容定員の総数) 5,805人						
		学部		総合科学部 680人																					
医学部 1,342人																									
歯学部 315人																									
薬学部 480人																									
理工学部 2,450人																									
生物資源産業学部 406人																									
(収容定員の総数) 5,673人																									
学部	総合科学部 680人																								
	医学部 1,354人																								
	歯学部 315人																								
	薬学部 480人																								
	理工学部 2,570人																								
	生物資源産業学部 406人																								
	(収容定員の総数) 5,805人																								
69	香川大学	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">学部</td> <td>教育学部 640人</td> </tr> <tr> <td>法学部 660人</td> </tr> <tr> <td>経済学部 1,040人</td> </tr> <tr> <td>医学部 929人</td> </tr> <tr> <td>創造工学部 1,360人</td> </tr> <tr> <td>農学部 600人</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数) 5,229人</td> </tr> </table>	学部	教育学部 640人	法学部 660人	経済学部 1,040人	医学部 929人	創造工学部 1,360人	農学部 600人	(収容定員の総数) 5,229人	別表 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">学部</td> <td>教育学部 640人</td> </tr> <tr> <td>法学部 660人</td> </tr> <tr> <td>経済学部 1,040人</td> </tr> <tr> <td>医学部 943人</td> </tr> <tr> <td>創造工学部 1,360人</td> </tr> <tr> <td>農学部 600人</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数) 5,243人</td> </tr> </table>	学部	教育学部 640人	法学部 660人	経済学部 1,040人	医学部 943人	創造工学部 1,360人	農学部 600人	(収容定員の総数) 5,243人						
		学部		教育学部 640人																					
法学部 660人																									
経済学部 1,040人																									
医学部 929人																									
創造工学部 1,360人																									
農学部 600人																									
(収容定員の総数) 5,229人																									
学部	教育学部 640人																								
	法学部 660人																								
	経済学部 1,040人																								
	医学部 943人																								
	創造工学部 1,360人																								
	農学部 600人																								
(収容定員の総数) 5,243人																									

番号	法人名	現行	変更案																																																										
70	愛媛大学	<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">研究科等</td> <td>人文社会科学研究科</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>医学系研究科</td> <td>150人【内4人】</td> </tr> <tr> <td>理工学研究科</td> <td>569人</td> </tr> <tr> <td>農学研究科</td> <td>144人【内6人】</td> </tr> <tr> <td>連合農学研究科</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>医農融合公衆衛生学環 (R4設置) 【10人】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修士課程・博士前期課程</td> <td>728人【内10人】</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>一貫制博士課程</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>専門職学位課程</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【内 人】は、医農融合公衆衛生学環に活用する収容定員を示す。</td> </tr> </table>	研究科等	人文社会科学研究科	40人	教育学研究科	100人	医学系研究科	150人【内4人】	理工学研究科	569人	農学研究科	144人【内6人】	連合農学研究科	51人	医農融合公衆衛生学環 (R4設置) 【10人】		(収容定員の総数)		修士課程・博士前期課程	728人【内10人】	博士後期課程	126人	一貫制博士課程	120人	専門職学位課程	80人	【内 人】は、医農融合公衆衛生学環に活用する収容定員を示す。			<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">研究科等</td> <td>人文社会科学研究科</td> <td>40人【内4人】※2</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>医学系研究科</td> <td>150人【内4人】※1</td> </tr> <tr> <td>理工学研究科</td> <td>569人【内4人】※2</td> </tr> <tr> <td>農学研究科</td> <td>144人【内6人】※1 【内4人】※2</td> </tr> <tr> <td>連合農学研究科</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>医農融合公衆衛生学環</td> <td>【10人】</td> </tr> <tr> <td>地域レジリエンス学環</td> <td>【12人】</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修士課程・博士前期課程</td> <td>728人【内22人】</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>一貫制博士課程</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>専門職学位課程</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 ※1：医農融合公衆衛生学環に活用する収容定員 ※2：地域レジリエンス学環に活用する収容定員</td> </tr> </table>	研究科等	人文社会科学研究科	40人【内4人】※2	教育学研究科	100人	医学系研究科	150人【内4人】※1	理工学研究科	569人【内4人】※2	農学研究科	144人【内6人】※1 【内4人】※2	連合農学研究科	51人	医農融合公衆衛生学環	【10人】	地域レジリエンス学環	【12人】	(収容定員の総数)		修士課程・博士前期課程	728人【内22人】	博士後期課程	126人	一貫制博士課程	120人	専門職学位課程	80人	【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 ※1：医農融合公衆衛生学環に活用する収容定員 ※2：地域レジリエンス学環に活用する収容定員		
研究科等	人文社会科学研究科	40人																																																											
	教育学研究科	100人																																																											
	医学系研究科	150人【内4人】																																																											
	理工学研究科	569人																																																											
	農学研究科	144人【内6人】																																																											
	連合農学研究科	51人																																																											
	医農融合公衆衛生学環 (R4設置) 【10人】																																																												
	(収容定員の総数)																																																												
	修士課程・博士前期課程	728人【内10人】																																																											
	博士後期課程	126人																																																											
一貫制博士課程	120人																																																												
専門職学位課程	80人																																																												
【内 人】は、医農融合公衆衛生学環に活用する収容定員を示す。																																																													
研究科等	人文社会科学研究科	40人【内4人】※2																																																											
	教育学研究科	100人																																																											
	医学系研究科	150人【内4人】※1																																																											
	理工学研究科	569人【内4人】※2																																																											
	農学研究科	144人【内6人】※1 【内4人】※2																																																											
	連合農学研究科	51人																																																											
	医農融合公衆衛生学環	【10人】																																																											
	地域レジリエンス学環	【12人】																																																											
	(収容定員の総数)																																																												
	修士課程・博士前期課程	728人【内22人】																																																											
博士後期課程	126人																																																												
一貫制博士課程	120人																																																												
専門職学位課程	80人																																																												
【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 ※1：医農融合公衆衛生学環に活用する収容定員 ※2：地域レジリエンス学環に活用する収容定員																																																													
71	高知大学	<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">学部</td> <td>人文社会科学部</td> <td>1,120人</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>520人</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>980人</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td>945人</td> </tr> <tr> <td>農林海洋科学部</td> <td>800人</td> </tr> <tr> <td>地域協働学部</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数)</td> <td>4,605人</td> </tr> </table>	学部	人文社会科学部	1,120人	教育学部	520人	理工学部	980人	医学部	945人	農林海洋科学部	800人	地域協働学部	240人	(収容定員の総数)	4,605人	<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">学部</td> <td>人文社会科学部</td> <td>1,116人</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>520人</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>980人</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td>945人</td> </tr> <tr> <td>農林海洋科学部</td> <td>804人</td> </tr> <tr> <td>地域協働学部</td> <td>240人</td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数)</td> <td>4,605人</td> </tr> </table>	学部	人文社会科学部	1,116人	教育学部	520人	理工学部	980人	医学部	945人	農林海洋科学部	804人	地域協働学部	240人	(収容定員の総数)	4,605人																												
学部	人文社会科学部	1,120人																																																											
	教育学部	520人																																																											
	理工学部	980人																																																											
	医学部	945人																																																											
	農林海洋科学部	800人																																																											
	地域協働学部	240人																																																											
	(収容定員の総数)	4,605人																																																											
学部	人文社会科学部	1,116人																																																											
	教育学部	520人																																																											
	理工学部	980人																																																											
	医学部	945人																																																											
	農林海洋科学部	804人																																																											
	地域協働学部	240人																																																											
	(収容定員の総数)	4,605人																																																											

番号	法人名	現行	変更案								
73	九州大学	別表1 学部、学府等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 共創学部 420人 文学部 604人 教育学部 184人 法学部 756人 経済学部 944人 理学部 1,042人 医学部 1,219人 歯学部 318人 薬学部 376人 工学部 3,152人 芸術工学部 748人 農学部 904人 (収容定員の総数) 10,667人 </td> </tr> <tr> <td>学府及び研究科等連係課程実施基本組織</td> <td> 人文科学府 187人 地球社会統合科学府 225人 人間環境学府 370人 法学府 185人 法務学府 135人 経済学府 256人【内5人】 理学府 429人 数理学府 168人【内43人】 システム生命科学府 270人 医学系学府 592人 歯学府 172人 薬学府 166人 工学府 1,171人 芸術工学府 330人 システム情報科学府 475人【内18人】 総合理工学府 530人 生物資源環境科学府 719人 統合新領域学府 164人 マス・フオア・イノベーション連係学府【66人】 ※【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 3,616人 博士後期課程 1,713人 一貫制博士課程 890人 専門職学位課程 325人 </td> </tr> </table>	学部	共創学部 420人 文学部 604人 教育学部 184人 法学部 756人 経済学部 944人 理学部 1,042人 医学部 1,219人 歯学部 318人 薬学部 376人 工学部 3,152人 芸術工学部 748人 農学部 904人 (収容定員の総数) 10,667人	学府及び研究科等連係課程実施基本組織	人文科学府 187人 地球社会統合科学府 225人 人間環境学府 370人 法学府 185人 法務学府 135人 経済学府 256人【内5人】 理学府 429人 数理学府 168人【内43人】 システム生命科学府 270人 医学系学府 592人 歯学府 172人 薬学府 166人 工学府 1,171人 芸術工学府 330人 システム情報科学府 475人【内18人】 総合理工学府 530人 生物資源環境科学府 719人 統合新領域学府 164人 マス・フオア・イノベーション連係学府【66人】 ※【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 3,616人 博士後期課程 1,713人 一貫制博士課程 890人 専門職学位課程 325人	別表1 学部、学府等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 共創学部 420人 文学部 604人 教育学部 184人 法学部 756人 経済学部 924人 理学部 1,042人 医学部 1,219人 歯学部 318人 薬学部 376人 工学部 3,152人 芸術工学部 748人 農学部 904人 (収容定員の総数) 10,647人 </td> </tr> <tr> <td>学府及び研究科等連係課程実施基本組織</td> <td> 人文科学府 187人 地球社会統合科学府 225人 人間環境学府 370人 法学府 185人 法務学府 135人 経済学府 256人【内5人】 理学府 429人 数理学府 168人【内43人】 システム生命科学府 270人 医学系学府 592人 歯学府 184人 薬学府 166人 工学府 1,171人 芸術工学府 330人 システム情報科学府 475人【内18人】 総合理工学府 530人 生物資源環境科学府 719人 統合新領域学府 121人 マス・フオア・イノベーション連係学府【66人】 ※【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 3,588人 博士後期課程 1,710人 一貫制博士課程 890人 専門職学位課程 325人 </td> </tr> </table>	学部	共創学部 420人 文学部 604人 教育学部 184人 法学部 756人 経済学部 924人 理学部 1,042人 医学部 1,219人 歯学部 318人 薬学部 376人 工学部 3,152人 芸術工学部 748人 農学部 904人 (収容定員の総数) 10,647人	学府及び研究科等連係課程実施基本組織	人文科学府 187人 地球社会統合科学府 225人 人間環境学府 370人 法学府 185人 法務学府 135人 経済学府 256人【内5人】 理学府 429人 数理学府 168人【内43人】 システム生命科学府 270人 医学系学府 592人 歯学府 184人 薬学府 166人 工学府 1,171人 芸術工学府 330人 システム情報科学府 475人【内18人】 総合理工学府 530人 生物資源環境科学府 719人 統合新領域学府 121人 マス・フオア・イノベーション連係学府【66人】 ※【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 3,588人 博士後期課程 1,710人 一貫制博士課程 890人 専門職学位課程 325人
		学部	共創学部 420人 文学部 604人 教育学部 184人 法学部 756人 経済学部 944人 理学部 1,042人 医学部 1,219人 歯学部 318人 薬学部 376人 工学部 3,152人 芸術工学部 748人 農学部 904人 (収容定員の総数) 10,667人								
学府及び研究科等連係課程実施基本組織	人文科学府 187人 地球社会統合科学府 225人 人間環境学府 370人 法学府 185人 法務学府 135人 経済学府 256人【内5人】 理学府 429人 数理学府 168人【内43人】 システム生命科学府 270人 医学系学府 592人 歯学府 172人 薬学府 166人 工学府 1,171人 芸術工学府 330人 システム情報科学府 475人【内18人】 総合理工学府 530人 生物資源環境科学府 719人 統合新領域学府 164人 マス・フオア・イノベーション連係学府【66人】 ※【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 3,616人 博士後期課程 1,713人 一貫制博士課程 890人 専門職学位課程 325人										
学部	共創学部 420人 文学部 604人 教育学部 184人 法学部 756人 経済学部 924人 理学部 1,042人 医学部 1,219人 歯学部 318人 薬学部 376人 工学部 3,152人 芸術工学部 748人 農学部 904人 (収容定員の総数) 10,647人										
学府及び研究科等連係課程実施基本組織	人文科学府 187人 地球社会統合科学府 225人 人間環境学府 370人 法学府 185人 法務学府 135人 経済学府 256人【内5人】 理学府 429人 数理学府 168人【内43人】 システム生命科学府 270人 医学系学府 592人 歯学府 184人 薬学府 166人 工学府 1,171人 芸術工学府 330人 システム情報科学府 475人【内18人】 総合理工学府 530人 生物資源環境科学府 719人 統合新領域学府 121人 マス・フオア・イノベーション連係学府【66人】 ※【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 3,588人 博士後期課程 1,710人 一貫制博士課程 890人 専門職学位課程 325人										
75	佐賀大学	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 教育学部 480人 芸術地域デザイン学部 450人 経済学部 1,040人 医学部 833人 理工学部 1,950人 農学部 580人 (収容定員の総数) 5,333人 </td> </tr> <tr> <td>研究科等</td> <td> 学校教育学研究科 40人 地域デザイン研究科 40人 医学系研究科 100人 先進健康科学研究科 104人 理工学研究科 394人 工学系研究科 (R3募集停止) 0人 農学研究科 64人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 542人 博士後期課程 60人 一貫制博士課程 100人 専門職学位課程 40人 </td> </tr> </table>	学部	教育学部 480人 芸術地域デザイン学部 450人 経済学部 1,040人 医学部 833人 理工学部 1,950人 農学部 580人 (収容定員の総数) 5,333人	研究科等	学校教育学研究科 40人 地域デザイン研究科 40人 医学系研究科 100人 先進健康科学研究科 104人 理工学研究科 394人 工学系研究科 (R3募集停止) 0人 農学研究科 64人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 542人 博士後期課程 60人 一貫制博士課程 100人 専門職学位課程 40人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 <table border="1"> <tr> <td>学部</td> <td> 教育学部 480人 芸術地域デザイン学部 450人 経済学部 1,040人 医学部 838人 理工学部 1,950人 農学部 580人 (収容定員の総数) 5,338人 </td> </tr> <tr> <td>研究科等</td> <td> 学校教育学研究科 40人 地域デザイン研究科 40人 医学系研究科 100人 先進健康科学研究科 104人 理工学研究科 394人 (削除) 農学研究科 64人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 542人 博士後期課程 60人 一貫制博士課程 100人 専門職学位課程 40人 </td> </tr> </table>	学部	教育学部 480人 芸術地域デザイン学部 450人 経済学部 1,040人 医学部 838人 理工学部 1,950人 農学部 580人 (収容定員の総数) 5,338人	研究科等	学校教育学研究科 40人 地域デザイン研究科 40人 医学系研究科 100人 先進健康科学研究科 104人 理工学研究科 394人 (削除) 農学研究科 64人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 542人 博士後期課程 60人 一貫制博士課程 100人 専門職学位課程 40人
		学部	教育学部 480人 芸術地域デザイン学部 450人 経済学部 1,040人 医学部 833人 理工学部 1,950人 農学部 580人 (収容定員の総数) 5,333人								
研究科等	学校教育学研究科 40人 地域デザイン研究科 40人 医学系研究科 100人 先進健康科学研究科 104人 理工学研究科 394人 工学系研究科 (R3募集停止) 0人 農学研究科 64人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 542人 博士後期課程 60人 一貫制博士課程 100人 専門職学位課程 40人										
学部	教育学部 480人 芸術地域デザイン学部 450人 経済学部 1,040人 医学部 838人 理工学部 1,950人 農学部 580人 (収容定員の総数) 5,338人										
研究科等	学校教育学研究科 40人 地域デザイン研究科 40人 医学系研究科 100人 先進健康科学研究科 104人 理工学研究科 394人 (削除) 農学研究科 64人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 542人 博士後期課程 60人 一貫制博士課程 100人 専門職学位課程 40人										

番号	法人名	現行	変更案																																																
76	長崎大学	<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>多文化社会学部</td><td>400人</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>720人</td></tr> <tr><td>経済学部</td><td>1,330人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>1,064人</td></tr> <tr><td>歯学部</td><td>300人</td></tr> <tr><td>薬学部</td><td>400人</td></tr> <tr><td>情報データ科学部</td><td>440人</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>1,320人</td></tr> <tr><td>環境科学部</td><td>530人</td></tr> <tr><td>水産学部</td><td>440人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">6,944人</td></tr> </table>	多文化社会学部	400人	教育学部	720人	経済学部	1,330人	医学部	1,064人	歯学部	300人	薬学部	400人	情報データ科学部	440人	工学部	1,320人	環境科学部	530人	水産学部	440人	(収容定員の総数)		6,944人		<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>多文化社会学部</td><td>400人</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>720人</td></tr> <tr><td>経済学部</td><td>1,210人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>1,124人</td></tr> <tr><td>歯学部</td><td>300人</td></tr> <tr><td>薬学部</td><td>400人</td></tr> <tr><td>情報データ科学部</td><td>480人</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>1,320人</td></tr> <tr><td>環境科学部</td><td>530人</td></tr> <tr><td>水産学部</td><td>480人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">6,964人</td></tr> </table>	多文化社会学部	400人	教育学部	720人	経済学部	1,210人	医学部	1,124人	歯学部	300人	薬学部	400人	情報データ科学部	480人	工学部	1,320人	環境科学部	530人	水産学部	480人	(収容定員の総数)		6,964人	
多文化社会学部	400人																																																		
教育学部	720人																																																		
経済学部	1,330人																																																		
医学部	1,064人																																																		
歯学部	300人																																																		
薬学部	400人																																																		
情報データ科学部	440人																																																		
工学部	1,320人																																																		
環境科学部	530人																																																		
水産学部	440人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
6,944人																																																			
多文化社会学部	400人																																																		
教育学部	720人																																																		
経済学部	1,210人																																																		
医学部	1,124人																																																		
歯学部	300人																																																		
薬学部	400人																																																		
情報データ科学部	480人																																																		
工学部	1,320人																																																		
環境科学部	530人																																																		
水産学部	480人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
6,964人																																																			
77	熊本大学	<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>文学部</td><td>700人</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>880人</td></tr> <tr><td>法学部</td><td>860人</td></tr> <tr><td>理学部</td><td>800人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>1,243人</td></tr> <tr><td>薬学部</td><td>470人</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>2,142人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">7,095人</td></tr> </table>	文学部	700人	教育学部	880人	法学部	860人	理学部	800人	医学部	1,243人	薬学部	470人	工学部	2,142人	(収容定員の総数)		7,095人		<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>文学部</td><td>700人</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>880人</td></tr> <tr><td>法学部</td><td>860人</td></tr> <tr><td>理学部</td><td>800人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>1,248人</td></tr> <tr><td>薬学部</td><td>470人</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>2,182人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">7,140人</td></tr> </table>	文学部	700人	教育学部	880人	法学部	860人	理学部	800人	医学部	1,248人	薬学部	470人	工学部	2,182人	(収容定員の総数)		7,140人													
文学部	700人																																																		
教育学部	880人																																																		
法学部	860人																																																		
理学部	800人																																																		
医学部	1,243人																																																		
薬学部	470人																																																		
工学部	2,142人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
7,095人																																																			
文学部	700人																																																		
教育学部	880人																																																		
法学部	860人																																																		
理学部	800人																																																		
医学部	1,248人																																																		
薬学部	470人																																																		
工学部	2,182人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
7,140人																																																			
78	大分大学	<p>別表 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>教育学部</td><td>540人</td></tr> <tr><td>経済学部</td><td>1,180人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>852人</td></tr> <tr><td>理工学部</td><td>1,560人</td></tr> <tr><td>福祉健康科学部</td><td>400人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">4,532人</td></tr> </table>	教育学部	540人	経済学部	1,180人	医学部	852人	理工学部	1,560人	福祉健康科学部	400人	(収容定員の総数)		4,532人		<p>別表 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>教育学部</td><td>600人</td></tr> <tr><td>経済学部</td><td>1,100人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>1,002人</td></tr> <tr><td>理工学部</td><td>1,440人</td></tr> <tr><td>福祉健康科学部</td><td>400人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">4,542人</td></tr> </table>	教育学部	600人	経済学部	1,100人	医学部	1,002人	理工学部	1,440人	福祉健康科学部	400人	(収容定員の総数)		4,542人																					
教育学部	540人																																																		
経済学部	1,180人																																																		
医学部	852人																																																		
理工学部	1,560人																																																		
福祉健康科学部	400人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
4,532人																																																			
教育学部	600人																																																		
経済学部	1,100人																																																		
医学部	1,002人																																																		
理工学部	1,440人																																																		
福祉健康科学部	400人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
4,542人																																																			
80	鹿児島大学	<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>法文学部</td><td>1,660人</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>760人</td></tr> <tr><td>理学部</td><td>740人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>1,130人</td></tr> <tr><td>歯学部</td><td>318人</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>1,800人</td></tr> <tr><td>農学部</td><td>820人</td></tr> <tr><td>水産学部</td><td>560人</td></tr> <tr><td>共同獣医学部</td><td>180人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">7,968人</td></tr> </table>	法文学部	1,660人	教育学部	760人	理学部	740人	医学部	1,130人	歯学部	318人	工学部	1,800人	農学部	820人	水産学部	560人	共同獣医学部	180人	(収容定員の総数)		7,968人		<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>法文学部</td><td>1,660人</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>760人</td></tr> <tr><td>理学部</td><td>740人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>1,150人</td></tr> <tr><td>歯学部</td><td>318人</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>1,800人</td></tr> <tr><td>農学部</td><td>820人</td></tr> <tr><td>水産学部</td><td>560人</td></tr> <tr><td>共同獣医学部</td><td>180人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">7,988人</td></tr> </table>	法文学部	1,660人	教育学部	760人	理学部	740人	医学部	1,150人	歯学部	318人	工学部	1,800人	農学部	820人	水産学部	560人	共同獣医学部	180人	(収容定員の総数)		7,988人					
法文学部	1,660人																																																		
教育学部	760人																																																		
理学部	740人																																																		
医学部	1,130人																																																		
歯学部	318人																																																		
工学部	1,800人																																																		
農学部	820人																																																		
水産学部	560人																																																		
共同獣医学部	180人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
7,968人																																																			
法文学部	1,660人																																																		
教育学部	760人																																																		
理学部	740人																																																		
医学部	1,150人																																																		
歯学部	318人																																																		
工学部	1,800人																																																		
農学部	820人																																																		
水産学部	560人																																																		
共同獣医学部	180人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
7,988人																																																			
82	琉球大学	<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>人文社会学部</td><td>820人</td></tr> <tr><td>国際地域創造学部</td><td>1,420人</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>560人</td></tr> <tr><td>理学部</td><td>800人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>877人</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>1,440人</td></tr> <tr><td>農学部</td><td>570人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">6,487人</td></tr> </table>	人文社会学部	820人	国際地域創造学部	1,420人	教育学部	560人	理学部	800人	医学部	877人	工学部	1,440人	農学部	570人	(収容定員の総数)		6,487人		<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="1"> <tr><td>人文社会学部</td><td>820人</td></tr> <tr><td>国際地域創造学部</td><td>1,420人</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>560人</td></tr> <tr><td>理学部</td><td>800人</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>889人</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>1,440人</td></tr> <tr><td>農学部</td><td>570人</td></tr> <tr><td colspan="2">(収容定員の総数)</td></tr> <tr><td colspan="2">6,499人</td></tr> </table>	人文社会学部	820人	国際地域創造学部	1,420人	教育学部	560人	理学部	800人	医学部	889人	工学部	1,440人	農学部	570人	(収容定員の総数)		6,499人													
人文社会学部	820人																																																		
国際地域創造学部	1,420人																																																		
教育学部	560人																																																		
理学部	800人																																																		
医学部	877人																																																		
工学部	1,440人																																																		
農学部	570人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
6,487人																																																			
人文社会学部	820人																																																		
国際地域創造学部	1,420人																																																		
教育学部	560人																																																		
理学部	800人																																																		
医学部	889人																																																		
工学部	1,440人																																																		
農学部	570人																																																		
(収容定員の総数)																																																			
6,499人																																																			

番号	法人名	現行	変更案
		人文社会科学研究所 12人 (人文社会科学研究所<博士前期課程>R4募集停止) 観光科学研究科 (R4募集停止) 0人 地域共創研究所 70人 教育学研究所 40人 医学研究所 150人 保健学研究所 29人 理工学研究所 326人 農学研究所 70人 法務研究所 48人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 480人 博士後期課程 57人 一貫制博士課程 120人 専門職学位課程 88人	人文社会科学研究所 12人 (削除) (削除) 地域共創研究所 70人 教育学研究所 40人 医学研究所 150人 保健学研究所 29人 理工学研究所 326人 農学研究所 70人 法務研究所 48人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 480人 博士後期課程 57人 一貫制博士課程 120人 専門職学位課程 88人
84	総合研究大学院大学	別表 学部、研究科等及び収容定員 研究科 文化科学研究科 45人 物理科学研究科 95人 高エネルギー加速器科学研究科 45人 複合科学研究科 70人 生命科学研究所 99人 先端科学研究科 28人 (収容定員の総数) 博士後期課程 177人 一貫制博士課程 205人	別表 学部、研究科等及び収容定員 院(研究科含む) 文化科学研究科 (R5募集停止) 0人 物理科学研究科 (R5募集停止) 0人 高エネルギー加速器科学研究科 (R5募集停止) 0人 複合科学研究科 (R5募集停止) 0人 生命科学研究所 (R5募集停止) 0人 先端科学研究科 (R5募集停止) 0人 先端学術院 476人 (収容定員の総数) 博士後期課程 186人 一貫制博士課程 290人
92	北海道国立大学機構	別表1 学部、研究科等及び収容定員 【北見工業大学】 研究科等 工学研究所 264人 (収容定員の総数) 博士前期課程 240人 博士後期課程 24人	別表1 学部、研究科等及び収容定員 【北見工業大学】 研究科等 工学研究所 276人 (収容定員の総数) 博士前期課程 240人 博士後期課程 36人

・募集停止に伴う学部・研究科名の削除のみ 3法人

番号	法人名	学部・研究科名
18	宇都宮大学	教育学部 国際学研究科 工学研究科
35	長岡技術科学大学	技術経営研究科
53	京都教育大学	教育学研究科

○ 教育関係共同利用拠点の認定・改組等に伴う変更 6 法人

番号	法人名	変更内容		変更理由
		変更前	変更案	
15	茨城大学	別表2 (教育関係共同利用拠点)		・令和5年度の再認定時に教育研究内容をより拡張・体系化したことに伴い、拠点の名称を変更したため
		教育関係共同利用拠点	湖沼環境・生態系と人の関わりを多角的に理解する水圏環境科学フィールド教育拠点 (地球・地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション)	
16	筑波大学	別表2 共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点		・令和5年1月にセンターの改組に伴い認定施設の名称が変更となったため
		教育関係共同利用拠点	(略) ダイバーシティ&インクルージョン教育拠点 (ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター)	
21	千葉大学	別表2 共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点		・令和4年度末をもって教育関係共同利用拠点の認定の有効期間が終了となるため
		教育関係共同利用拠点	看護学教育研究共同利用拠点 (看護学研究院附属看護実践・教育・研究共創センター) 教職員の組織的な研修等の共同利用拠点 (教育・学修支援専門職養成) (アカデミック・リンク・センター)	
41	信州大学	別表2 教育関係共同利用拠点		・令和5年度の再認定時に対象農場を追加したことに伴い、拠点の名称を変更したため
		教育関係共同利用拠点	中部高冷地域における農業・環境教育共同利用拠点—高冷地野菜、畜産と環境を組み合わせたフィールド教育— (信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター—野辺山農場)	
65	広島大学	別表2 共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点		・令和5年度の再認定時にデジタルの活用など実習を発展させたことに伴い、拠点の名称を変更したため
		教育関係共同利用拠点	(略) ・生物の多様性や発生と進化を学ぶ・しまなみ海道広域海洋生物教育共同利用国際拠点 (統合生命科学研究所)	
77	熊本大学	別表2 共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点		・令和5年4月にセンターの改組に伴い認定施設の名称が変更となるため
		教育関係共同利用拠点	教授システム学に基づく大学教員の教育実践力開発拠点 (教授システム学研究センター) 有明海・八代海・天草諸島の生物と化石の実体験を通して学ぶ教育拠点 (くまもと水循環・減災研究教育センター 合津マリンステーション)	